HITACHI

日立BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー

形名

BCS-DH2200

取扱説明書



このたびは日立BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に **「使用上のご注意」をお読みください。本体は、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。**
お読みになったあとは、保証書とともに〈いつでも見られる所に〉大切に保管してください。

もくじ

はじめに

準備

準備（つづき）

基本操作

基本操作（つづき）

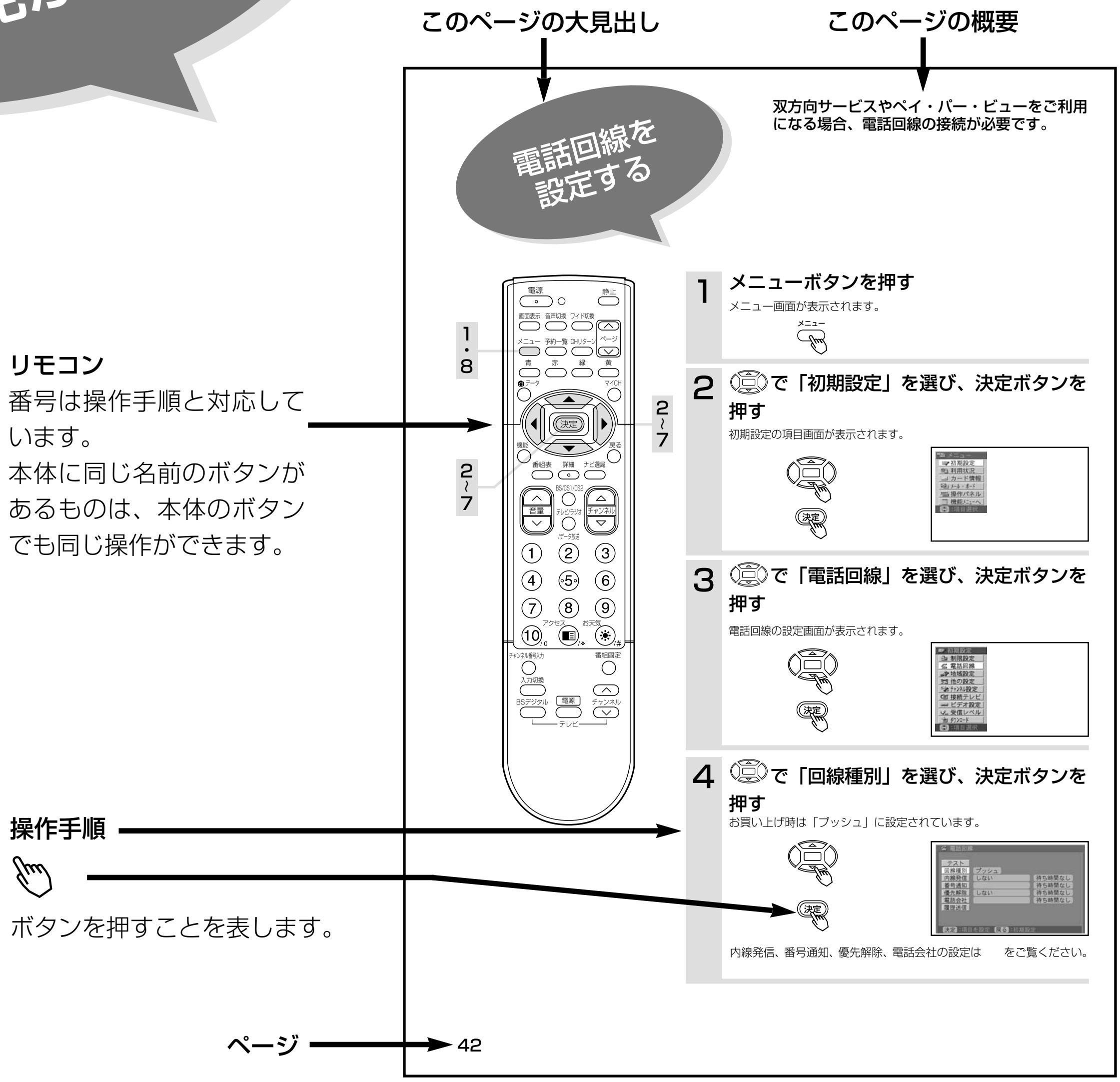
応用操作

各種設定

ご参考

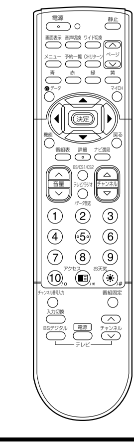
この説明書の見かた

この説明書は、下記のようになっています。
（※違うパターンもありますが、基本的には同じです。）
この説明書のもくじは、2 、3 にあります。

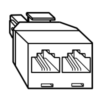


付属品を確かめましょう

付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



リモコン送信機
…1個

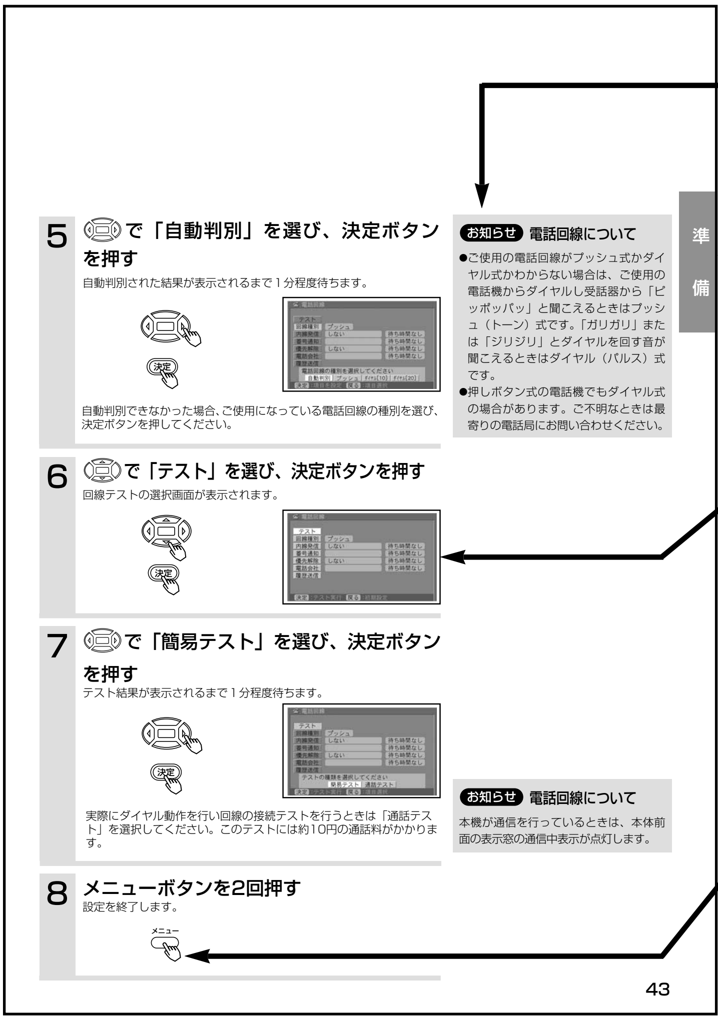


モジュラー分配器
…1個

下記の説明にない記号について

⚠警告
⚠注意
安全上、守っていただきたいことを記載しています。

重要 操作の前に読んでいただきたいことを記載しています。

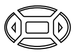


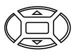
お知らせ
このページの操作に関連するお知らせです。（知っておいていただきたいこと）

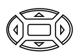
インデックス
章ごとに位置を変えてあります。ページをめくりながら探すとき便利です。

画面表示
この操作で選ぶところが白くなっています。
（実際の画面では、選択している項目は水色で表示されます。）

ボタン
この操作で押すボタンです。
カーソルボタンは、下記のようになっています。

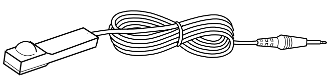
 左右方向の操作

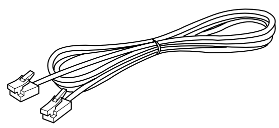
 上下方向の操作

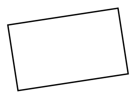
 上下左右いずれかの操作

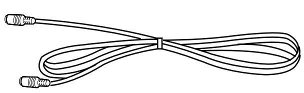
記載されている画面表示例について

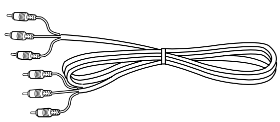
この取扱説明書に記載されている画面表示例は、説明の補足として画面の一部を記載しています。操作の途中で記載されていない画面が出ることがあります。また、実際の画面と記載されている画面表示例と異なることがありますが、故障ではありません。


ビデオコントローラー
…1個


モジュラーケーブル
（10m）…1本


B-CASカード
（BS・110度CSデジタル放送用ICカード）
…1枚


S映像コード
（1.5m）…1本


映像・音声コード
（1.5m）…1本

単3形乾電池 ……………2個
取扱説明書 ………………1冊
保証書 ……………………1枚

使用上のご注意

ご使用のまえによくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告	この表示の欄は、「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は絵表示の一例です。）

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

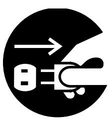
安全上のご注意

⚠ 警告

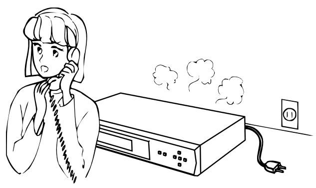
■異常が発生したときはすぐに使用をやめてください

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

・**故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！**

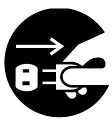


電源プラグを
コンセントから抜くこと



煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。

・**内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたり、カバーが破損したら、電源プラグを抜く！**



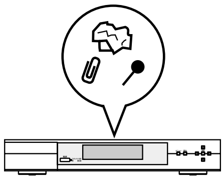
電源プラグを
コンセントから抜くこと

●イラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意

⚠ 警告

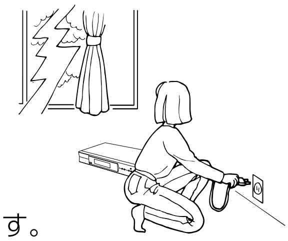
■ 異物を入れない



禁止

通風孔やB-CASカード挿入口などから本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
●特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴り出したら、本機やケーブルには触れない



接触禁止

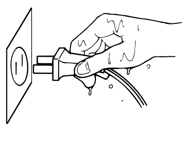
感電の原因となります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しない

禁止

たこ足配線などで、定格を超えて使用すると、火災や感電の原因となります。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



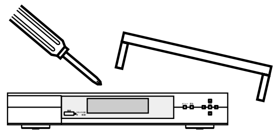
ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱による火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となることがあります。
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ カバーを外したり、改造しない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

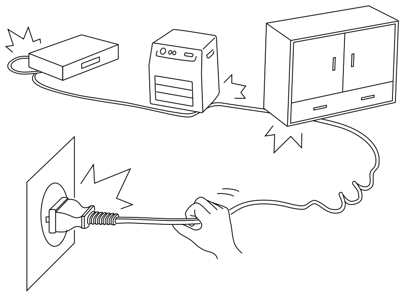
■ 風呂場、シャワー室では使用しない

風呂場やシャワー室での使用禁止

火災や感電の原因となります。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止



傷つけたり、加工したり、本機の下敷にしたり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたりねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。
●電源コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 電源プラグにほこりが付着しないよう、定期的に掃除をしてください

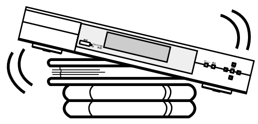
湿気などで絶縁不良となり火災・感電の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

安全上のご注意

⚠ 警告

■ 不安定な場所に置かない

禁止



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと倒れたり、落ちたりしてけがの原因となります。

■ 本機に水が入ったり、ぬらしたりしない

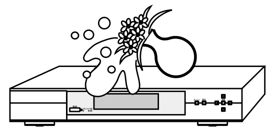
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 本機の上に水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止



本機内部に水などが入ると、火災・感電の原因となります。
万一、入った場合はすぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器）

■ サービス用スロットのふたは取り外さない

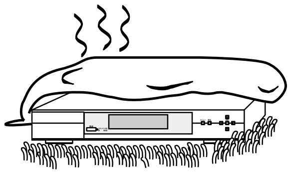
●サービス用スロットのふたは、お子様が誤って飲むことがないようにしてください。

●万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

■ 通風孔をふさがない

禁止



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

●本機を壁から10cm以上の間隔をおいて据えつけてください。

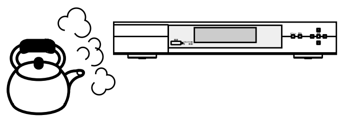
●押し入れ、ラック、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。

●あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所に置かない

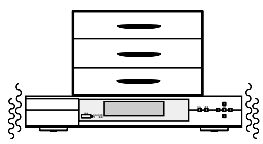
禁止



調理台や加湿器のそばなどに置くと火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機の上に重い物を置かない

禁止



倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

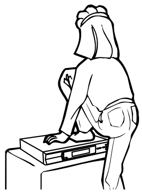
⚠ 注意

■ 移動させる場合は、接続線をはずす

コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
●本機に衝撃を与えないでください。

■ 本機に乗らない



禁止

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●特に小さなお子様にはご注意ください。

■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定外の電池を使用しない

禁止

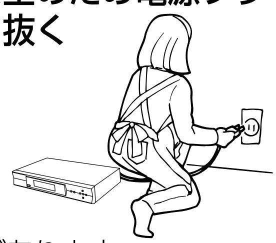
間違えますと、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

電源プラグを
コンセントから抜くこと

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因となることがあります。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを
コンセントから抜くこと

感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜く

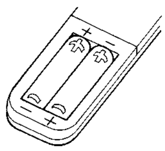
コードを引っぱったり、はさみやペンチで切ったりしないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しない

禁止

B-CASカード挿入口には、正規のB-CASカード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

■ 電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）を間違えて入れない



禁止

機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください

●送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
●特に受信用アンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ 1年に一度は内部の清掃を販売店にご依頼ください

内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

お守りください

お手入れについて

キャビネット表面の清掃は柔らかい布で
指紋など油脂類の汚れ、ひどい汚れは水でうすめた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
特に次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。
(アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など)

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない
キャビネットの変質や塗装がはがれます。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。
(キャビネットの変質の原因)

お知らせ
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

設置されるとき

高温になるところに置かない
キャビネットの変形や故障の原因になります。
- 直射日光や熱器具の近くなど

壁などから10cm以上はあける
空気の対流で壁などにほこりの付着を少なくします。

見る距離と部屋の明るさは
画面の縦の長さの5～7倍程度、また新聞の読める明るさで。
暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

機器相互のかんしょうに注意
重さによる変形や、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音などを避ける。

接続は電源を"切"にしてから
各機器の説明書に従って、接続してください。
(テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、ゲーム機器、ビデオディスク機器など)

アンテナは定期的な点検を
風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
映りが悪くなった場合は販売店にご相談を。

良好な画面で見るために
アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

ご使用になるとき

適度の音量で隣り近所への配慮を
特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなど生活環境を守りましょう。

液もれが生じたとき (リモコンの電池)
電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れる。もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

長時間連続してテレビを見ていると目が疲れます
時々、画面から離れて目を休めてください。

長時間動かない画像を映さない
本機に接続されたテレビやプロジェクターに、動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

お知らせ

●電話回線の接続が必要です

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS)の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

●本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（1032MHz～2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

●本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にBSデジタル放送および110度CSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

●天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

●視聴記録の送信について

B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS〔(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

●操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は本体前面のとびら内にあるリセットボタンを押してください。

本製品には、ACCESS 社製BS・110度デジタル放送向けブラウザ NetFront for DTV を搭載しています。
Net Front は株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

ご使用のまえに下記の内容を必ずお読みください。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■付属のB-CASカードはBSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CASカスタマーセンターへご連絡ください。なお、お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により、視聴または録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■本機から電話回線を通じて通信を行うと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。

デジタル放送について

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送は、それぞれ東経110度に位置する放送衛星および通信衛星を利用したデジタル放送です。本機では、110度CS対応BSデジタルアンテナを使用することで、両方の放送を受信することができます。これらのデジタル放送では、次のような特長があります。

デジタルハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線1125本（有効1080本）飛び越し走査の1125i（1080i）と走査線750本（有効720本）順次走査の750p（720p）放送の2種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。デジタルハイビジョン放送の画質で楽しむためにはデジタルハイビジョン対応のテレビに接続する必要があります。なお、デジタルハイビジョンに対応していないテレビでも接続されるテレビに応じた画質で映像を楽しむことができます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送と比較して多チャンネル放送がおこなえます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化のほかに、独立データ放送やデジタルラジオ放送もおこなわれます。

データ放送

文字や静止画によって必要な情報を選んで画面に表示させることができる新しい放送です。テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。データ放送では、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります。

サラウンド・ステレオ

音声信号圧縮技術MPEG-2 AAC 方式の採用により、最大5.1チャンネルのサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、5.1チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくにはAAC方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、それぞれの放送に対する約1週間分の番組情報が送られてきます。本機では、この電子番組ガイドを利用し、画面上にそれぞれのデジタル放送の番組表を表示させ、番組表から番組を選んで詳細情報を表示させたり、視聴や録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

BSデジタル放送について

BSデジタル放送は、東経110度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心であり、無料放送が多いのも特長です。（一部有料放送もあります）
基本的に放送事業者ごとの放送となるため、視聴契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110度CSデジタル放送について

110度CSデジタル放送は、東経110度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BSデジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心であり、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です。（一部無料放送もあります）
110度CSデジタル放送では、視聴契約や登録などは個別の放送事業者ではなく、これらの放送事業者が属する放送プラットフォームへ申し込むこととなります。110度CSデジタル放送では、「プラットワン」「スカイパーフェクTV!2」の2つのプラットフォームがあります。これらプラットフォームごとに、ネットワークと呼ばれる放送チャンネル群を構成しております。本機では、「BSデジタル放送」「プラットワン」「スカイパーフェクTV!2」の切り換えは、リモコンのBS／CS1／CS2ボタンでおこないます。

プラットフォームとは

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送では、従来のテレビ放送とは異なり、放送番組を制作・編集する委託放送事業者と、衛星を所有して放送波を送信する受託放送事業者が分離されています。さらに110度CSデジタル放送では、多チャンネル放送サービスを運営するために、多数の委託放送事業者による個々の番組（チャンネル）を統合する機能が必要なことやEPGなどの番組情報提供を含めた放送電波の送出および顧客管理やサービス普及のための広告宣伝のために、これらの業務を委託放送事業者と受託放送事業者の間で受け持つプラットフォーム事業者があります。
110度CSデジタル放送では、「プラットワン」と「スカイパーフェクTV!2」の2つのプラットフォーム事業者があり、それぞれのプラットフォームに属する委託放送事業者の顧客管理は各プラットフォームにておこなわれます。個々のチャンネル視聴契約についてもそれぞれのプラットフォームのカスタマーセンターに申し込むことになります。

お知らせ

110度CSデジタル放送は、従来のCSデジタル放送　スカイパーフェクTV!（東経128度、124度のJSAT-3、JSAT-4を利用）とは異なる放送です。従来のスカイパーフェクTV!放送を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。

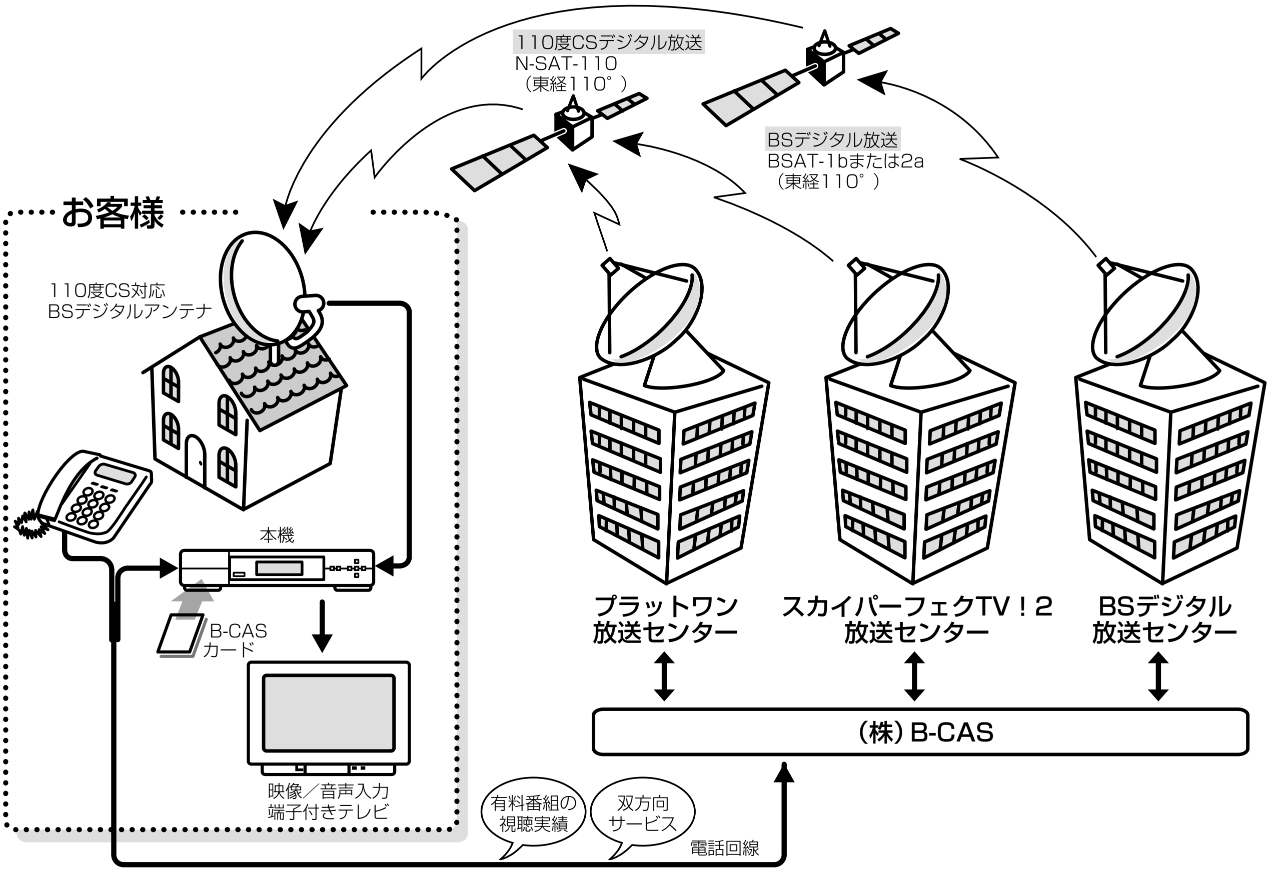
受信契約について

B-CASカードによる限定受信システム（CAS）のしくみ

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、限定受信システム（CAS）を使って視聴者の受信状況を管理します。本機に付属のB-CASカードを挿入しておくと、有料番組の契約・購入状況や双方向サービスの情報がB-CASカードに記憶されます。その情報は電話回線を使って（株）B-CASへ自動送信され、管理されます。

限定受信システム（CAS：Conditional Access Systems）とは

限定受信システム（CAS）とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル（放送内容をわからなくする技術）を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。BSデジタル放送および110度CSデジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用しているので、有料放送を契約していない視聴者もB-CASカードの登録が必要です。



B-CASカードの登録

本機に付属のB-CASカードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入・押印してポストに投かんし、B-CASカードを必ず登録してください。
（登録料は無料です）

お知らせ

一部の台紙で「BSデジタル放送用ICカード」と印刷され、また、B-CASカードの裏面に「このカードはBSデジタル放送用です」と印刷されている場合がありますが、このような場合でもB-CASカードは、BSデジタル放送および110度CSデジタル放送いずれにもご使用になれます。

受信契約について（つづき）

BSデジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

●WOWOW、スター・チャンネルなどのBSデジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、B-CASカードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。
●有料放送を視聴するには、お客様の視聴したい番組を放送している放送局へ加入申し込みをして契約する必要があります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、ポストに投かんしてください。
●詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2002年3月現在のBSデジタル放送局（ＮＨＫと有料放送局）の電話番号、ホームページアドレスおよびチャンネル番号は、次のようになっております。

BS放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス	BS放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン （101、102、103ch）	0120－151515 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　9:00～20:00（年中無休） 03－3465－1111（代表） 受付時間　9:00～23:00（平日） 9:00～22:00（土日） http://www.nhk.or.jp	WOWOW （191、192、193ch）	0570－008080（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、 045－683－8080） 受付時間　9:00～20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp
NHK衛星放送受信契約をされていない方は、NHKと衛星放送受信契約が必要です。		WOWOWテレビ放送のみが視聴申し込みが必要な放送です。ラジオ放送（491、492ch）と独立データ放送（791、792ch）は無料放送です。	
スター・チャンネルBS （200ch）	0570－010－110（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、 045－339－1555） 受付時間　10:00～20:00（年中無休） http://www.star-ch.co.jp/pc/star	セント・ギガ （333ch）	0120－336－765 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　10:00～21:00（年中無休） http://www.stgiga.co.jp
スター・チャンネルBSはテレビ放送のみが視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。		セント・ギガはラジオ放送のみが視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（633、636ch）は無料放送です。	

お知らせ

●NHKでは、BSデジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでにNHKと衛星放送受信契約されていても、本機に同梱されている「B-CASカードユーザー登録はがき」をお送りいただけない場合、または、はがきを送っても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CASカードを挿入して30日経過後、NHK－BSデジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへのご連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示されるNHKのフリーダイヤルにお電話いただき、B-CASカード番号、住所、お名前、電話番号などをお伝えいただければ、表示されなくなります。
●一部のデータ放送など、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110度CSデジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

- ●110度CSデジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、BSデジタル放送と異なり、個別のチャンネルの放送事業者毎ではなく、「プラットワン」「スカイパーフェクTV！2」の2つのプラットフォームが、それぞれに属する放送チャンネル受信契約の代行を行うこととなります。
- ●「プラットワン」「スカイパーフェクTV！2」の対象チャンネルは、「プラットワン」が000～099chと700～999ch、「スカイパーフェクTV！2」が100～699chとなります。（すべてのチャンネルで放送しているわけではありません。）
- ●110度CSデジタル放送では、チャンネル毎の受信契約のほかに、個別に契約申込されるよりも視聴料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
- ●詳しくは、視聴したい有料放送チャンネルの該当するプラットフォームのカスタマーセンターへお問い合わせください。
- ●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2002年3月現在の110度CSデジタル放送プラットフォームのカスタマーセンター電話番号とホームページアドレスは次のようになっております。

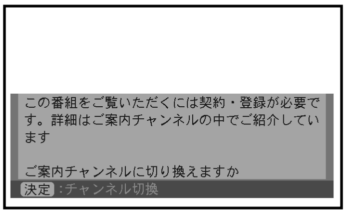
110度CSデジタル放送プラットフォーム	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス	運用開始予定日
プラットワン・カスタマーセンター	0570－001－012（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、045－227－6971） 受付　10:00～20:00（年中無休） http://www.plat-one.com	2002年3月1日
スカイパーフェクTV！2・カスタマーセンター	0570－088－222（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、045－339－0002） 受付　10:00～20:00（年中無休） http://www.skyperfectv.co.jp	2002年4月1日

新しいサービスについて

110度CSデジタル放送の開始にともない新しいサービスが予定されています。サービス開始時期や内容に関しては放送事業者へご確認ください。

【ご案内チャンネル切り換え機能】

事前に申し込みが必要な契約チャンネルを選局したとき、お客様が契約されていない場合、ご案内チャンネルを簡単に選局するための機能です。画面表示にしたがって決定ボタンを押すと「ご案内チャンネル」が選局されます。
例）



【ブックマークサービス】

ブックマークサービスは放送局がデータ放送の機能を使って行うサービスで、お客様が関心を持った内容の関連情報を簡単に呼び出すことができる機能です。

ブックマークサービスは次のような手順で利用することができます。

番組を視聴しているときに、画面にブックマークを表すアイコンなどが表示されたら、リモコンの決定ボタン（サービスによって異なる場合があります。）などでブックマークを登録することができます。

登録したブックマークから関連情報を呼び出すときは、ブックマーク表示（リスト）サービスを行っているチャンネルを選局します。登録したブックマークが表示されるので、ご覧になりたい項目を選択して選局することができます。（項目によっては選局できないこともあります。）

i.LINKについて

i.LINKの規格や特長について説明します。i.LINKを使って操作する前にお読みください。
なお、i.LINKを使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については「D-VHSビデオを操作する」82と、「D-VHSビデオを登録する」85をご覧ください。

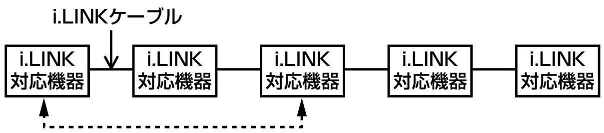
重要 本機に搭載されている i.LINK端子（MPEG(TS)）と、DVカメラやDVビデオデッキに付いているDV端子とはお使いになるケーブルや端子の形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりすることはできません。DV端子を備えた機器はDV圧縮データを、本機はMPEG2圧縮TS（トランスポート・ストリーム）データをやりとりします。また、同じMPEG2圧縮データを扱う機器であってもTSデータ以外のデータをやりとりする機器と接続すると、デジタルデータのやりとりはできません。

i.LINKとは

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本でさまざまな操作やデータのやりとりができます。また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINKでの接続について

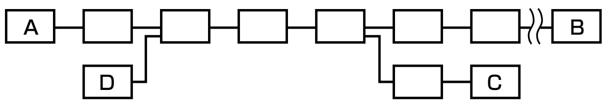
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。



2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行うことができます。

途中から分岐してつなぐこともできます

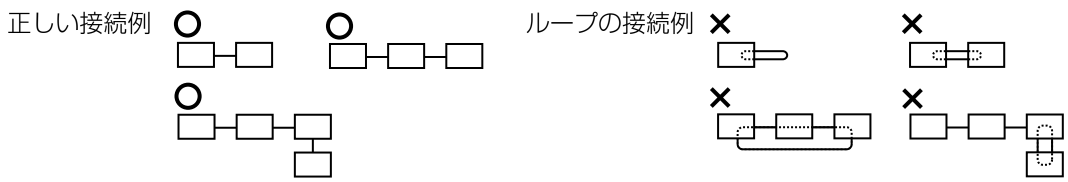
- i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合、途中から分岐してつなぐこともできます。
- i.LINK対応機器は、本機を含めて63台まで接続できます。ただし、一番長い経路の接続は17台までです。（i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用することができます。）
  ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA↔Cの経路は6ホップ、A↔Dの経路は3ホップとなります。



A↔B、A↔C、A↔D、B↔C、B↔D、C↔D
いずれの経路も最大17台の機器を接続できます。
（最大16ホップ）

接続が輪にならないようにご注意ください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないように接続してください。接続が輪（環状）になることを「ループ」と呼びます。ループがあると正しく動作しません。



お知らせ

- i.LINKは、IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ"i"はソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応した i.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像／音声／データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像／音声／データのやりとりができない場合があります。

接続についてのご注意

- i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度が i.LINK端子の周辺に表記されています。 i.LINKの最大データ転送速度は、約100／200／400Mbpsが定義されており、それぞれS100、S200、S400と表記されます。最大データ転送速度が表記と異なる場合があります。
- 本機とi.LINK対応機器を接続してお使いの場合は、使用していない他の機器のi.LINKケーブルの抜き差しや、電源のオン／オフはできるだけ行わないでください。誤動作の可能性があります。

本機と接続して動作するi.LINK対応機器

本機では、下記のi.LINK対応機器と接続したときの動作を確認しています。（2002年3月現在）

D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキ
· DT-DRX100（日立製）

本機とi.LINK対応機器との接続については、「各機器を接続する」の「i.LINK対応のD-VHSビデオの場合」30 をご覧ください。

お知らせ 日立製D-VHSデジタルハイビジョンデッキの110度CSデジタル放送対応状況について

- 一部のDT-DRX100では、110度CSデジタル放送の録画再生においてブロックノイズが発生する場合があります。
  詳しくは、113 記載のお客様ご相談窓口にお問い合わせいただきますようお願いします。
- DT-DR20000はBSデジタル放送のみの対応であり、110度CSデジタルの録画再生には対応しておりません。

リンク（LINC）とは

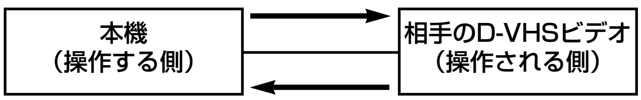
「リンクする」とは、相手の機器を一台選ぶことを意味します。本機は、ケーブルで接続しただけではi.LINK対応機器からの映像や音声を見たり録画したりすることができません。操作する前に、必ず見たり、録画したい相手の機器をリンクしてください。

重要
- **i.LINK対応機器の録画中に、i.LINKで接続している他の機器の電源を切ったり、別の機器をi.LINKで接続したりしないでください。録画中のデータが途切れることがあります。**
- **リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。**

本機（i.LINK対応機器を操作する側）は、i.LINKケーブルで接続されている機器のうち1台だけからの映像や音声を見たり録画したりすることができます。本機と相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例）D-VHSビデオをリンクするとき

①「これから操作してもいいですか？」と本機が相手のD-VHSビデオに信号を送る



②「了解です」と相手のD-VHSビデオが本機に信号を送る

この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のリンクが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。詳しくは「D-VHSビデオを操作する」82 と、「D-VHSビデオを登録する」85 をご覧ください。

お知らせ

- 本機では、他の機器を一度リンクすると、リンクの設定を変えない限りその機器をいつも自動的にリンクします。他の機器をリンクして電源を切っても、もう一度電源を入れるとその機器をリンクした状態になっています。ただし、i.LINKケーブルを抜き差しした場合は、自動的にリンクされません。
- 本機と機器Aをリンクしているときに、i.LINKで接続されている他の機器Bと機器Aをリンクさせたいときには、先に本機と機器Aとのリンクを解除してください。



- LINCとは、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。
- i.LINKケーブル経由では、i.LINKで接続している機器からのメニュー画面などは送られません。相手の機器のメニュー画面などを見る場合は、テレビの入力切換を相手の機器に切り換えてください。

このチューナーの特長

デジタル インフォウィンドウ

液晶表示のデジタル インフォウィンドウに動作状況が表示されます。（チャンネル、カレンダー、予約状況､メール、通信中表示など）また､チャンネルの受信モードにより表示窓ライトが4色に変化します。

スタイリッシュ・ナビゲーション

●ラテ欄形式のEPG（電子番組ガイド）で番組選局から録画予約まで見たい番組を簡単＆楽しくナビゲーションします。

●裏番組や次番組がすばやくわかるナビ選局を搭載しました。ジャンル別や登録したキーワードでも番組を探せます。

●よく見るチャンネルだけをプリセットしてBSもCSもすばやく選局できるマイチャンネルを搭載しました。

ワイド機能

チューナー側でワイド切り換えした映像を出力します。ハイビジョンテレビに接続している場合、黒帯のないワイド画面を再生します。
（525i（480i）放送で4 : 3番組の場合）

AVセレクター機能を兼ねたビデオ入力端子

ビデオなどの外部機器を接続できるビデオ入力端子を装備しているので、入力端子の少ないテレビにも手軽に接続できます。
（ビデオ入力はS映像および映像出力にのみ対応しています。コンポーネントビデオ出力には対応していません。）

その他

●BSデジタルのデータ放送用カラーボタン付きリモコン。

●MPEG-2 AAC対応光デジタル音声出力端子を前面・後面に搭載。

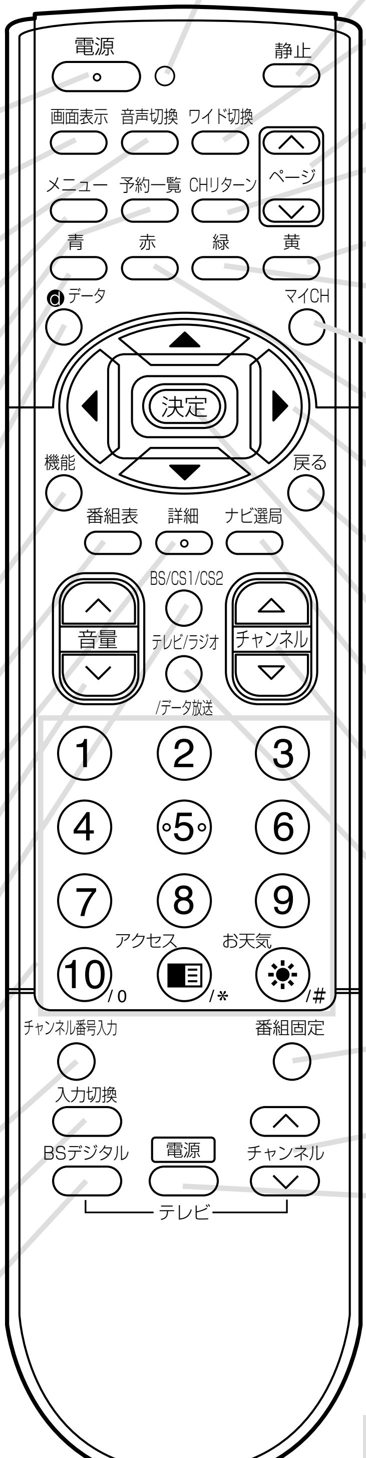
●録画予約が便利なビデオコントローラー。主要12社のビデオに対応。

各部のなまえ

□内の数字は、参照ページです。

●リモコン

リモコン操作表示ランプ
（ボタンを押すと点滅します。電池が消耗すると暗くなります。）



電源ボタン 48
画面表示ボタン 60
音声切換ボタン 57
メニューボタン 38
予約一覧ボタン 78
青ボタン 53
ⓓデータボタン 53
機能ボタン 56
番組表ボタン 66
詳細ボタン 61
テレビ音量ボタン 35
BS/CS1/CS2ボタン 51
数字ボタン 50
チャンネル番号入力ボタン 52
テレビ入力切換ボタン 35
BSデジタルボタン 35

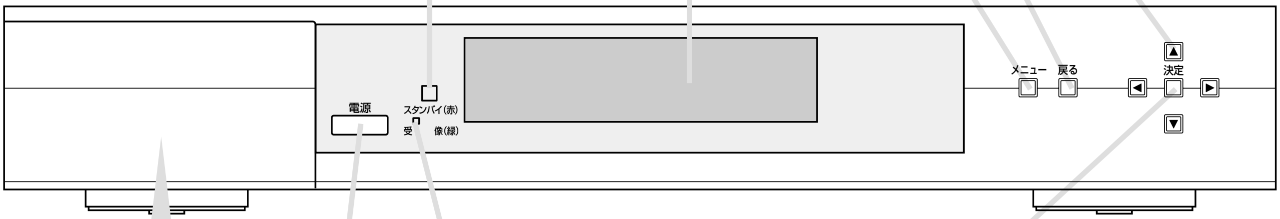
77 静止ボタン
62 ワイド切換ボタン
61 ページボタン
52 CHリターンボタン
53 黄ボタン
53 緑ボタン
64 マイCHボタン
53 赤ボタン
38 カーソルボタン
71 戻るボタン
40 決定ボタン
70 ナビ選局ボタン
51 チャンネルボタン
51 テレビ/ラジオ/データ放送ボタン
77 番組固定ボタン
35 テレビチャンネルボタン
35 テレビ電源ボタン

お知らせ 本体での操作方法について

本書では、主にリモコンを使って説明しています。
本体にあるリモコンと同じ名前のボタンは、リモコンと同じ働きをします。

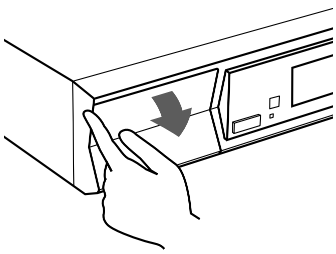
各部のなまえ（つづき）

●本体前面

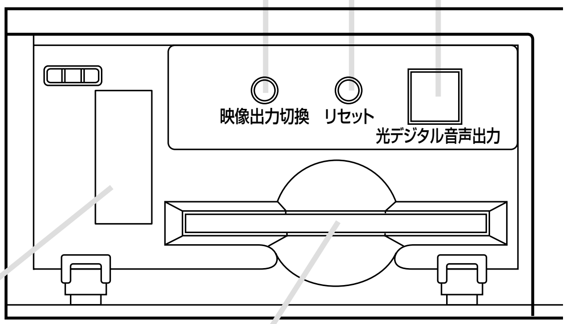


とびら内

とびらの開けかた



とびらの左側に指を引っかけ、
手前に引きます。



お守りください

サービス用スロットは、サービスマンが使用するものです。スロットのふたは取り外さないでください。

⚠警告

●サービス用スロットのふたは、お子様が誤って飲むことがないようにしてください。

●万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

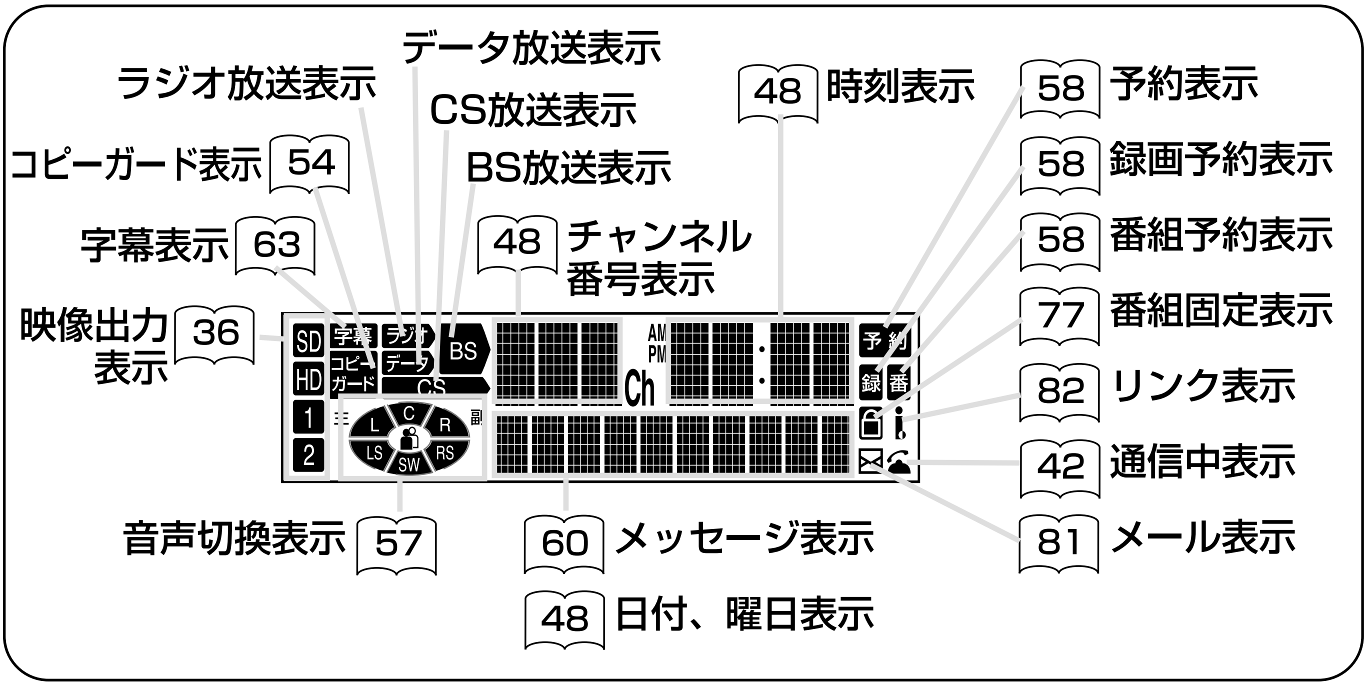
お知らせ このような場合には

●選択画面が表示されているとき、カーソルボタンや決定ボタンを押しても画面が変わらない。

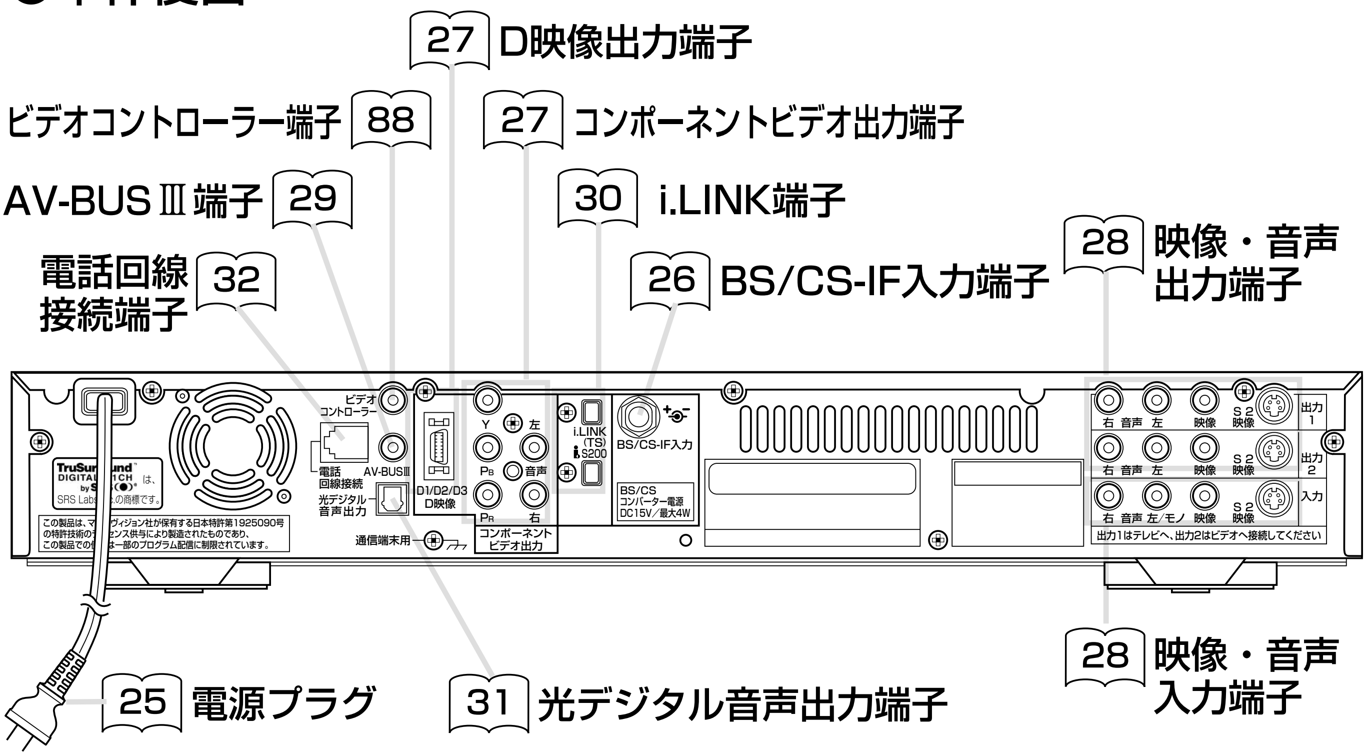
●リモコンの「静止」ボタンを押していないのに、動いていた映像が、突然静止するなど異常がおきる。

このような場合には、本体前面のとびら内にあるリセットボタンを押してください。

●表示窓

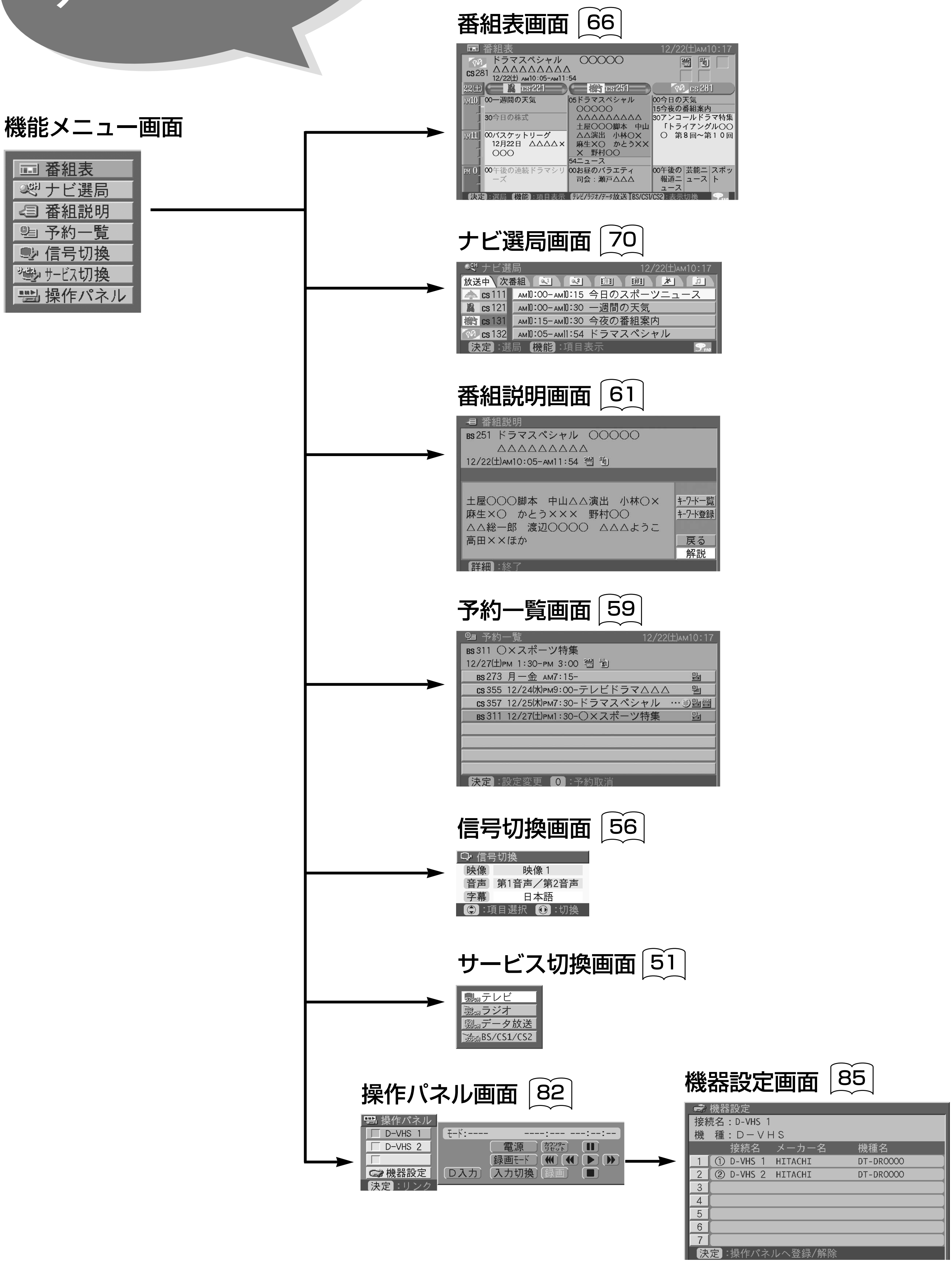

データ放送表示
ラジオ放送表示
CS放送表示
コピーガード表示 54
BS放送表示
字幕表示 63
映像出力表示 36
48 チャンネル番号表示
48 時刻表示
58 予約表示
58 録画予約表示
58 番組予約表示
77 番組固定表示
82 リンク表示
42 通信中表示
81 メール表示
音声切換表示 57
60 メッセージ表示
48 日付、曜日表示

●本体後面

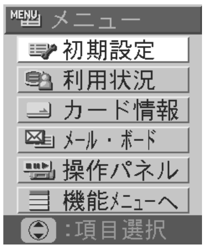

27 D映像出力端子
ビデオコントローラー端子 88
27 コンポーネントビデオ出力端子
AV-BUS Ⅲ 端子 29
30 i.LINK端子
28 映像・音声出力端子
電話回線接続端子 32
26 BS/CS-IF入力端子
25 電源プラグ
31 光デジタル音声出力端子
28 映像・音声入力端子

メニュー階層図

メニュー画面からいろいろな機能が選択できます。各機能のくわしい説明は、📖ページをご覧ください。



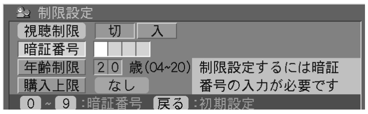
メニュー画面



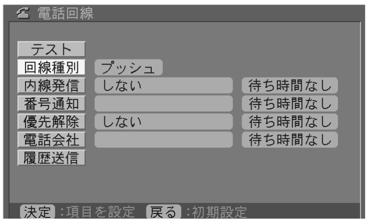
初期設定のメニュー画面



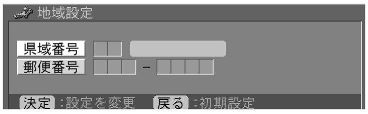
制限設定画面 96



電話回線画面 42



地域設定画面 94



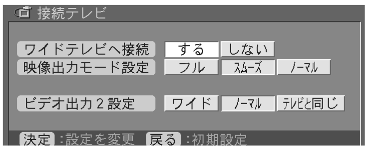
他の設定画面 100



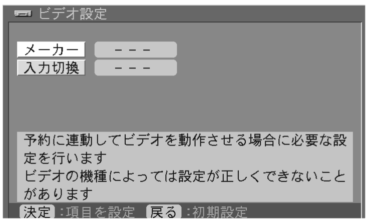
チャンネル設定画面 86



接続テレビ画面 38



ビデオ設定画面 89



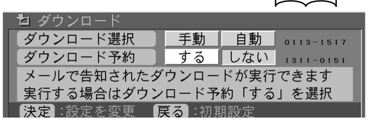
受信レベル画面 40



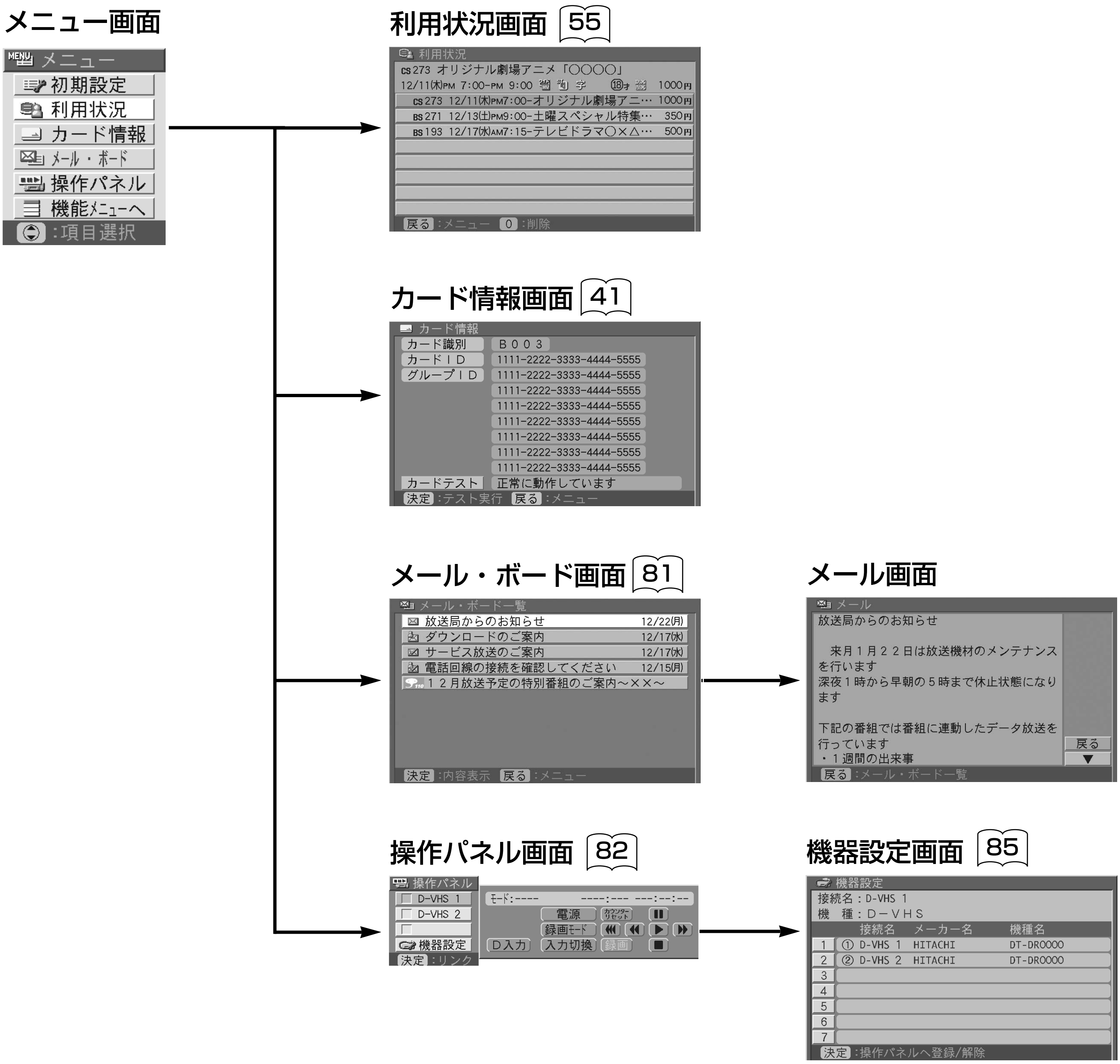
受信設定画面 102



ダウンロード画面 104



メニュー階層図（つづき）



お知らせ

▼や▲の選択肢が表示されている画面では、リモコンのページボタンを押しても表示を切り換えることができます。

番組をご覧になるまでの手順

はじめてお使いになるときに行う接続と設定について説明します。
双方向サービスや有料放送をご覧になるには、B-CASカードの登録が必要です。

準備

1 アンテナ線を接続する

26

2 テレビやビデオ、オーディオなどと接続する

27

3 電話回線を接続する

32

4 ICカードを本体に挿入する

33

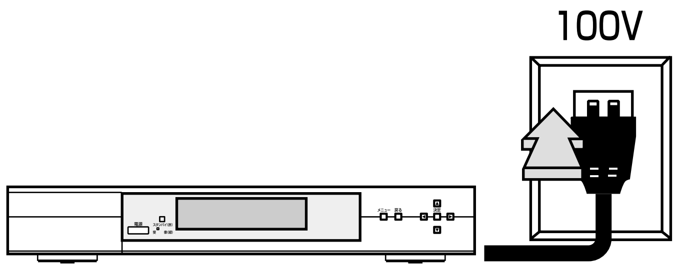
5 リモコンに乾電池を入れる

34

6 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

7 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す

通常の使用時は、電源プラグを差したままにしてください。



⚠警告

表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

8 接続テレビを設定する

36

9 アンテナを設定する

40

10 カードテストを行う

41

11 電話回線を設定する

42

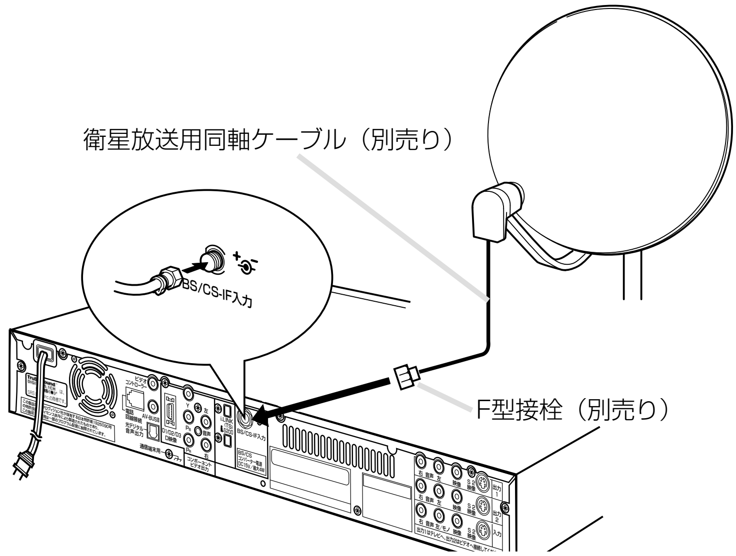
アンテナ線を接続する

⚠注意

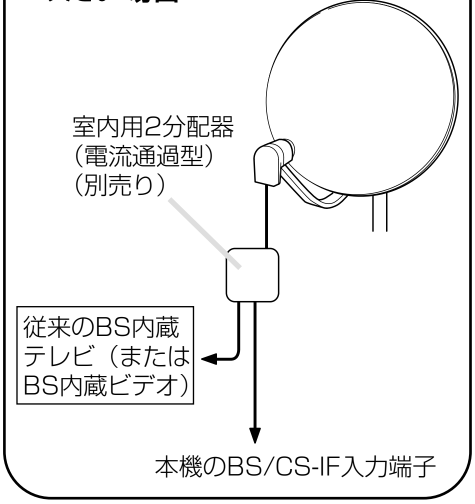
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

本機は、BS・110度CSデジタル放送用チューナーです。アンテナと本機の間は衛星放送用の同軸ケーブルでしっかり接続してください。アンテナの設置方法については、110度CS対応BSデジタルアンテナ（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

1 BS/CSアンテナ線の同軸ケーブルを BS/CS-IF入力端子に接続する



従来のBS内蔵テレビ（またはBS内蔵ビデオ）も同様に楽しみたい場合



お守りください

- ●共聴受信等で視聴される（電源供給を必要としない）場合には、「アンテナを設定する」40 をご覧になって、コンバーター電源の設定を必ず「切」にしてご使用ください。
- ●アンテナを接続するときは、安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●BS/CS-IF入力端子にF接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけすぎると本機内部が破損する場合があります。

お知らせ

- ●アナログCS用アンテナや従来のスカイパーフェクTV！用アンテナ（JCSAT-3、JCSAT-4受信用）はご使用になれなせん。110度CSデジタル放送を受信する場合は、110度CS対応BSデジタルアンテナをご使用ください。
- ●ブースターや分配器をご使用になる場合は、110度CS対応（周波数2,150MHz対応以上）であることをご確認の上、ご使用ください。従来のBS用で周波数帯域が1,335MHzのものや、CS対応でも対応周波数が1,895MHzなどの2,150MHz未満のものをご使用になった場合、110度CSデジタル放送の一部もしくはすべてのチャンネルが受信できない場合があります。
- ●マンションなどの共同受信システムの場合で、110度CSデジタル放送に対応していない場合は、110度CSデジタル放送を受信できません。
- ●マンションなどの共同受信システム（VHF/UHF/BS・CS混合）の場合、壁のアンテナ端子からUV/BS・CS分波器の間と、UV/BS・CS分波器から本機の間は衛星放送用同軸ケーブルで接続してください。
- ●BSアンテナを使用する場合は、BSデジタル放送のみの受信が可能です。この場合、従来のBSアンテナのほとんどは使用できますが、一部のBSアンテナでは性能の劣化やBSデジタル放送受信に必要な性能が確保されず、BSデジタル放送を受信した場合、安定した受信ができない場合があります。このような場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した販売店などにお問い合わせください。
- ●衛星放送の電波は微弱なため、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったり、ひどい場合は全く受信できない場合があります。これは気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。また、強風などによりアンテナの向きが変わった場合も同様に受信できなくなる場合があります。このような場合は、アンテナの向きを再度調整してください。
- ●機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、各接続機器は干渉の出ない程度に離して設置してください。また、接続コードやアンテナケーブル、電源コードも、できる限り離してください。

各機器を接続する

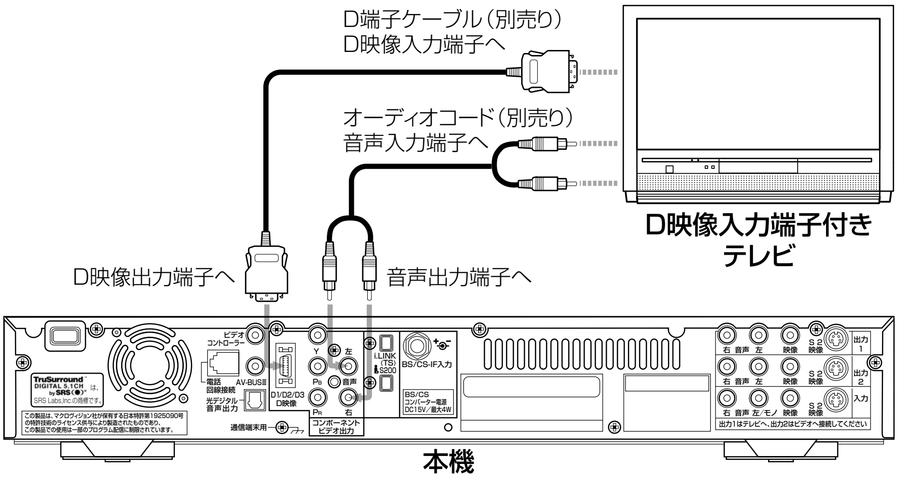
お守りください 接続時のご注意

- ●他の機器と組み合わせてご使用になるときには、それぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- ●接続の際は、各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- ●他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- ●プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因となります。
- ●プラグを抜くときはコードをひっぱらずに、プラグを持って抜いてください。

テレビとの接続

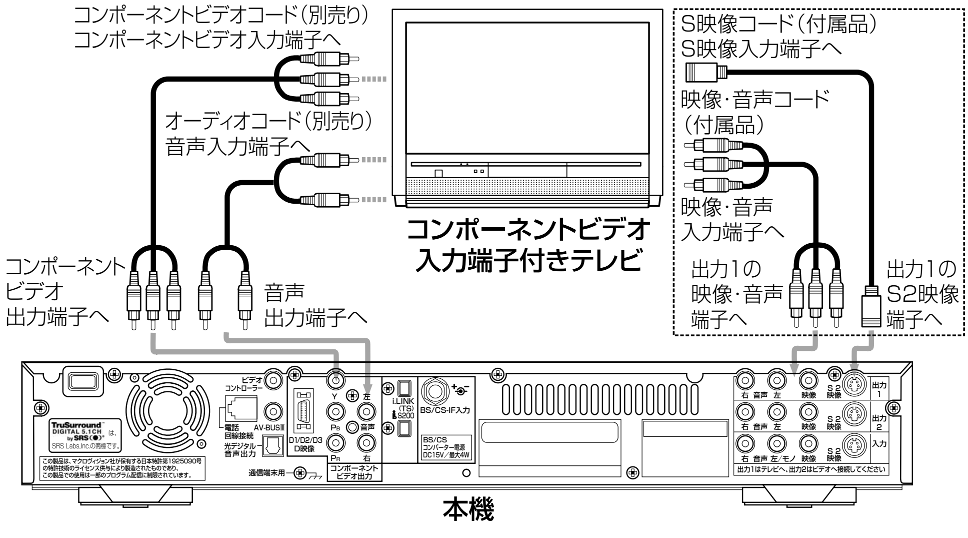
●D映像入力端子付きテレビの場合

D映像入力端子付きのテレビをご使用の際は、D映像出力端子への接続をおすすめします。
より良い画質でお楽しみいただけます。



●コンポーネントビデオ入力端子付きテレビの場合

コンポーネントビデオ入力端子付きのテレビをご使用の場合は、コンポーネントビデオ出力端子（Y、PB、PR）への接続をおすすめします。デジタルハイビジョン放送を、より良い画質でお楽しみいただけます。



お知らせ

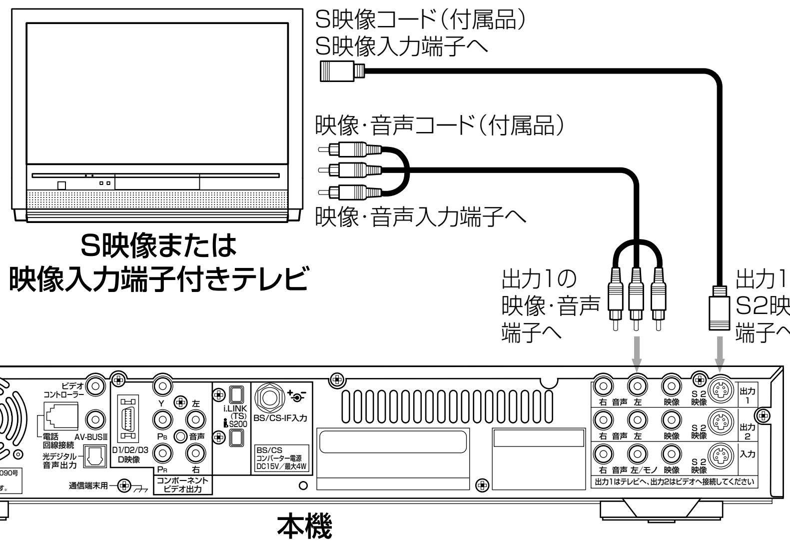
- ●D端子ケーブルまたはコンポーネントビデオコードを使用して本機とテレビを接続する場合は、接続するテレビに合わせて設定が必要です。設定が正しくない場合は、まったく映像が映らないことがあるため、接続後、必ず「接続テレビを設定する」の「コンポーネント出力を設定する」36をご覧になって、正しく設定を行ってください。
- ●i.LINK端子より入力されるハイビジョン映像で、著作権保護のためにコンポーネントビデオ出力に解像度制限をかけるものがある可能性があります。このような解像度制限のある映像はコンポーネントビデオ出力ではハイビジョン視聴ができない場合があります。このような映像をi.LINKより入力した場合、コンポーネントビデオ入力端子付きのハイビジョンテレビとの接続は、コンポーネントビデオコードの他にS映像コードもしくは映像・音声コードを出力1の映像・音声端子に接続し、解像度制限がかかった映像を視聴する場合には切り換えて視聴してください。
- ●D映像入力端子またはコンポーネントビデオ入力端子付きの4：3のテレビの中には、16：9の映像が4：3の縦長映像になる場合があります。その場合は、出力1のS2映像または映像端子をご使用ください。
- ●コンポーネントビデオ入力端子は、Y、PB、PR 端子や Y、CB、CR 端子と記載されている機器もあります。

各機器を接続する（つづき）

テレビとの接続（つづき）

●S映像または映像入力端子付きテレビの場合

S映像入力端子または映像入力端子付きのテレビと接続される場合は、出力1のS2映像端子または映像・音声端子を使用してください。



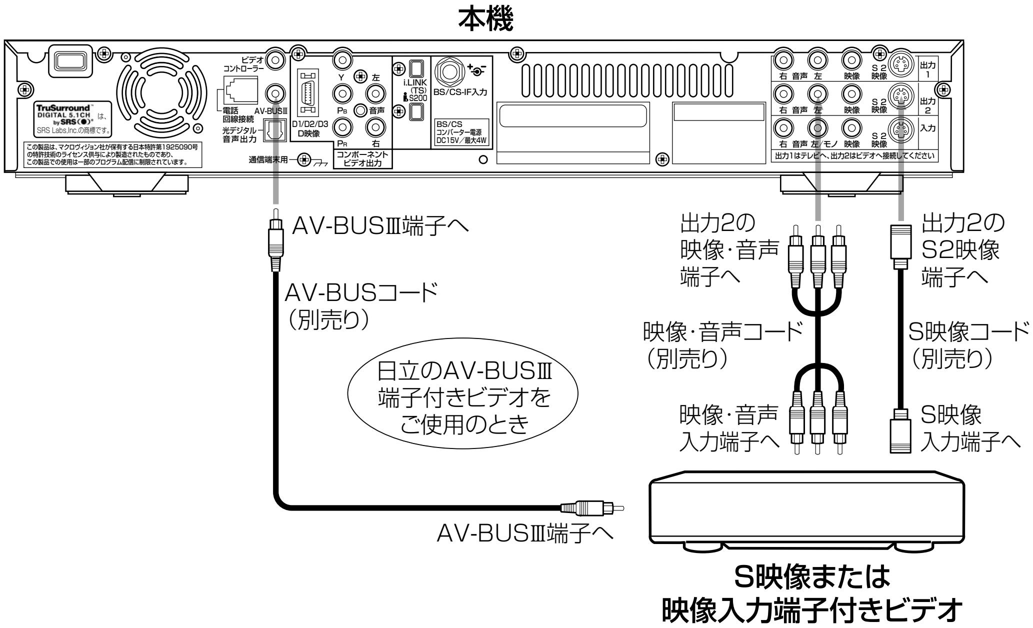
お知らせ

- ●S映像入力付きのテレビをご使用の場合は、S映像コードで接続することをおすすめします。映像コードで接続する場合に比べ、より良い画質でお楽しみいただけます。
- ●S映像コードまたは映像・音声コードを使用して本機とテレビを接続する場合も、接続するテレビに合わせて設定が必要です。接続後､必ず「接続テレビを設定する」の「コンポーネント出力を設定する」36､「接続テレビを設定する」38 をご覧になって、正しく設定を行ってください。
- ●コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。
- ●入力端子は、本機をテレビに接続する際、入力端子が足りないときなどに使用します。本機がスタンバイ状態のとき、自動的に外部入力の信号が出力1に出力されます。
- ●外部入力は、出力1のみに出力されます。外部入力時は、出力2、D映像出力およびコンポーネントビデオ出力には、なにも出力されません。またS2映像入力に接続していない場合は、S2映像には、なにも出力されません。

ビデオとの接続

●S映像または映像入力端子付きビデオの場合

S映像入力端子または映像入力端子付きのビデオと接続される場合は、出力2のS2映像端子または映像・音声端子を使用してください。



お知らせ

●S映像入力付きのビデオをご使用の場合は、S映像コードで接続することをおすすめします。映像コードで接続する場合に比べ、より良い画質でお楽しみいただけます。

●出力2のS2映像および映像からの出力は、ビデオに記録する映像を視聴するテレビに合わせてワイドかノーマルに設定することができます。39 また、出力1のS2映像および映像と同じ出力をすることもできます。接続後、必ず「接続テレビを設定する」の「ビデオ出力2設定」39をご覧になって、正しく設定を行ってください。

●番組によっては、コピーガード信号により録画が禁止されている場合があります。

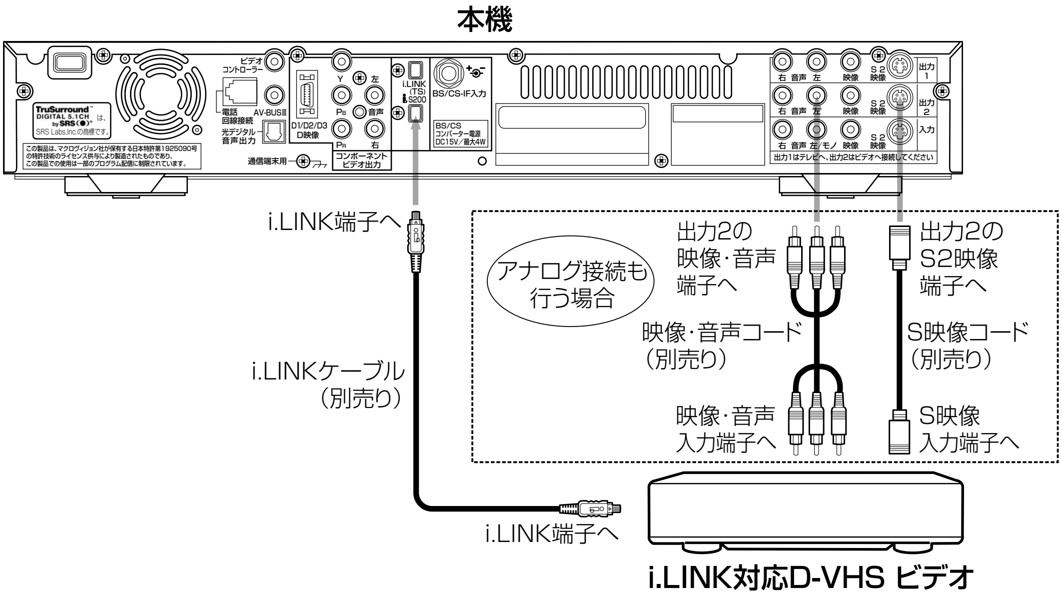
●「接続テレビ」の「ビデオ出力2設定」を「ワイド」、「ノーマル」に設定している場合、出力2の映像には、画面表示やメニュー画面、データ放送の画面、字幕などは表示されません。また、出力2の音声は、音声切換ボタンの操作に関係なく、主／副（L／R）となります。

各機器を接続する（つづき）

ビデオとの接続（つづき）

● i.LINK対応のD-VHSビデオの場合

・i.LINK端子には、i.LINK対応の当社製D-VHSデジタルハイビジョンビデオが接続できます。17
・i.LINK接続するとD-VHSビデオの基本的な操作が本機から行えます。（「D-VHSビデオを操作する」82 をご覧ください。）
　また、録画予約する機器を設定することもできます。（「マニュアル予約する」の「D-VHSビデオを選択する」80 をご覧ください。）



お知らせ

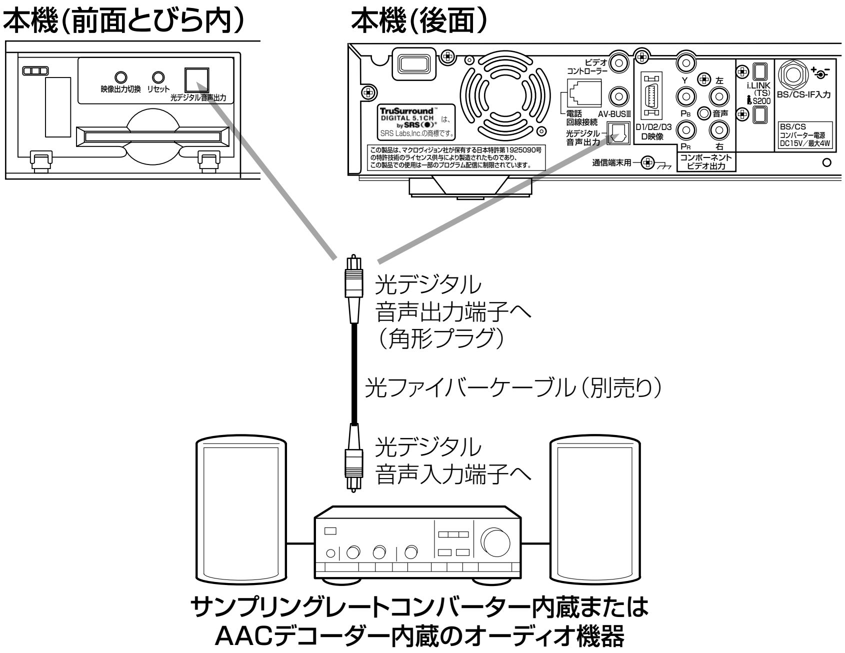
● i.LINKケーブルは市販のS200対応以上の4ピンi.LINKケーブルをご使用ください。
● i.LINKケーブルはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
●D-VHSビデオの取扱説明書もご参照ください。
● i.LINK対応機器は、2つある i.LINK端子のどちらに接続しても使用できます。
●本機とD-VHSビデオのアナログ接続を行う場合は、S映像または映像入力端子付きビデオの場合と同様に、出力2のS2映像端子または映像・音声端子を使用してください。

D-VHSビデオについて

VHS方式のビデオを基盤にした新しいVHS方式で、i.LINK対応の場合はデジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。また、従来のVHS方式での録画、再生も行えます。

光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器との接続

・光デジタル音声出力端子には、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器が接続できます。
・MPEG-2 AACフォーマット方式で出力することもできるので、AAC方式に対応したオーディオ機器にも接続できます。
・本機とデジタル音声入力端子付きのオーディオ機器の接続には、市販の光ファイバーケーブルをご使用ください。



お知らせ

●本機の光デジタル音声出力端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。光ファイバーケーブルのプラグ部を持って、そのままゆっくりと端子にまっすぐに差し込んでください。
●本機は、放送局側の音声サンプリング周波数に対応した光デジタル音声信号を出力します。このため、接続できる機器は、サンプリングレートコンバーターを内蔵したアンプやMDレコーダーなどに限定されます。
●音声切換ボタンを押しても、光デジタル音声出力の音声は変わりません。
●AAC方式の出力をご利用になるには、「他の設定」100 の「デジタル音声出力」を「AAC」に設定する必要があります。（お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。）

AAC（Advanced Audio Coding）について

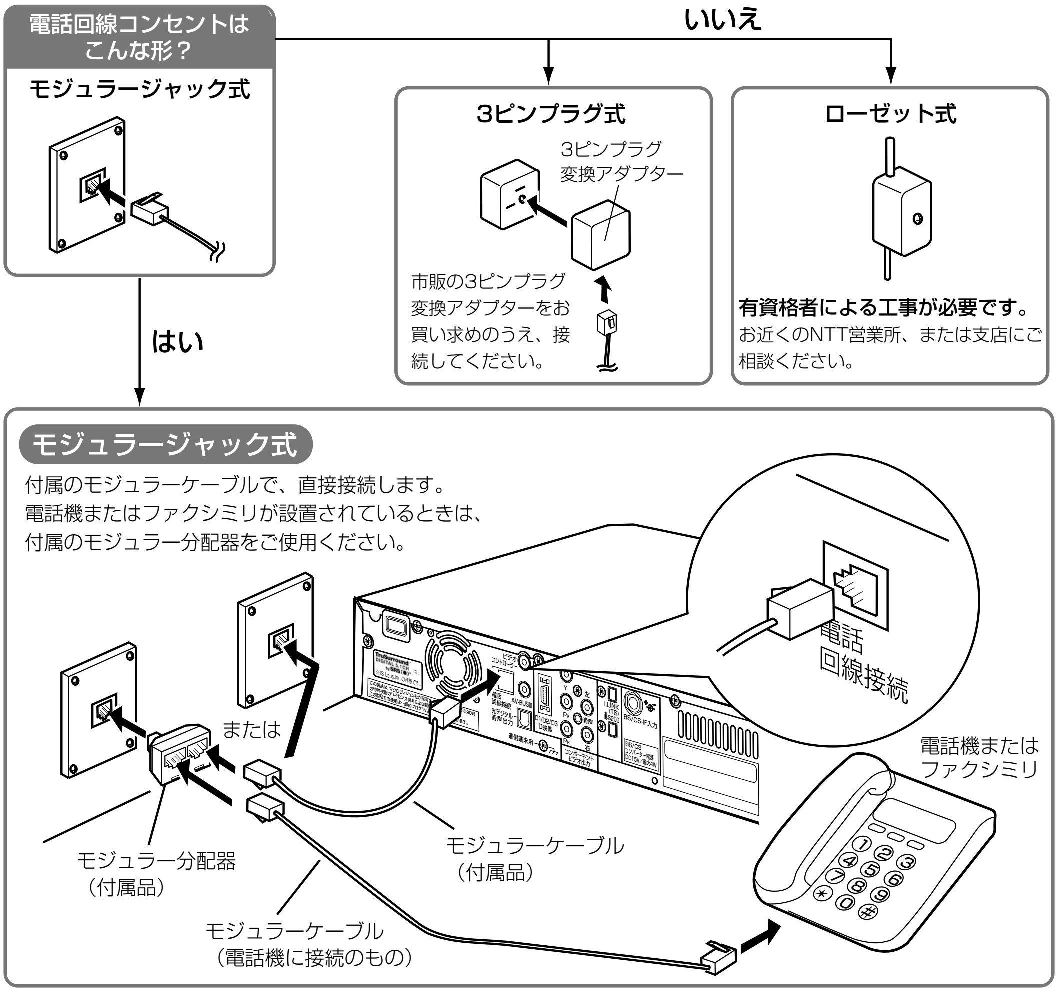
AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD（コンパクトディスク）並みの音質でデータを約1/12にまで圧縮できます。また、5チャンネル＋低音強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

電話回線を接続する

本機は、モジュラージャック式のジャックから電話回線に直接接続できるようになっています。ご使用の電話回線コンセントがモジュラージャック式でない場合は、変換アダプターまたは工事が必要です。

重要 ホームテレホンやビジネスホンをご使用の場合は、販売店かNTT営業所、または支店にご相談ください。

電話回線コンセントの種類をご確認ください



お知らせ

- ISDN回線でご使用になる場合は、ターミナルアダプターの取扱説明書をよくご覧になってください。ターミナルアダプターの種類によっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。ADSLでご使用になるときもうまく通信できないことがあります。
- ケーブル電話などでは、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ケーブル電話会社にお問い合わせください。
- 6局4芯タイプの電話機の中で、NTT仕様に準拠していない機器は、ご使用になれません。
- コードをはずすときは、プラグを持ち、ツメを押しながら抜いてください。また、プラグを差し込むときは、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- 公衆電話、共同電話、地域集団電話、自動車電話、携帯電話、PHS、船舶電話には接続できません。
- 本体前面の表示窓に「通信中表示」が点灯している場合は、電話機をご使用にならないでください。本機からの通信が正しくできないことがあります。
- キャッチホン契約されている場合は、本機が通信していても、キャッチホンが優先されます。
- ファクシミリが接続されている場合は、ファクシミリの送受信中に本機が通信を行うと、ファクシミリのデータが正しく送受信できない場合があります。
- 付属のモジュラー分配器を使用して、電話機などを接続している場合、本機が通信するとき電話機から呼出音がなる場合があります。このような場合には、市販の自動転換器をご使用になることをおすすめします。

ICカードを入れる

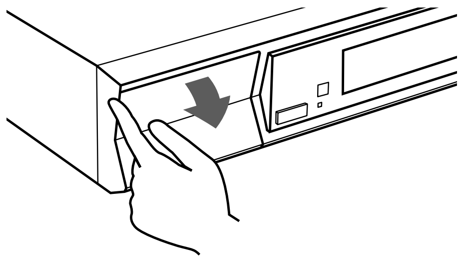
付属のB-CASカード（BS・110度CSデジタル放送用ICカード）は、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で挿入してください。

お守りください

付属のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

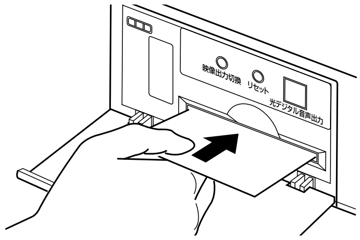
準備

1 とびらの左側に指を引っかけ、手前に引く

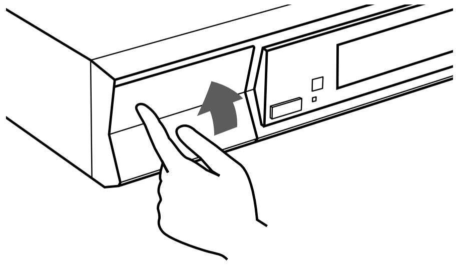


2 B-CASカードを挿入する

B-CASカードには裏表があります。表面（絵柄表示面）を上にし、B-CASカードの表面に印刷されている矢印を本機に向け、挿入が止まるまでゆっくりと押し込んでください。



3 とびらを閉める



B-CASカードを抜くときは

B-CASカードにはIC（集積回路）チップが組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたときなど必要なとき以外は、抜き差しをしないでください。万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。

お知らせ B-CASカードについて

- B-CASカードは、視聴情報などが記憶されますので、本機に挿入したままご使用ください。
- B-CASカードを破損・紛失などにより再発行される場合は費用が必要となります。（2002年3月現在）

  詳しくは（株）B-CASカスタマーセンターまでご連絡ください。（カスタマーセンターの連絡先は、B-CASカードに記載されています）

お守りください B-CASカードの取り扱いについて

- B-CASカードは奥まで正しく挿入してください。B-CASカードを正しく挿入しないと、有料放送や一部のデータ放送を視聴することができません。
- ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でふれないでください。
- B-CASカードの金属部分（集積回路の電極）に触れたり、汚れをつけたり、衝撃を加えたりしないでください。
- B-CASカードを加工したり、分解しないでください。

リモコンの使いかた

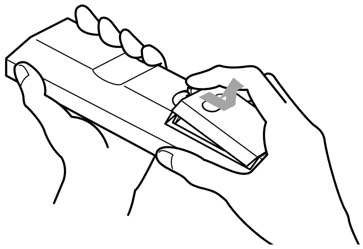
⚠注意 乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池の入れかた

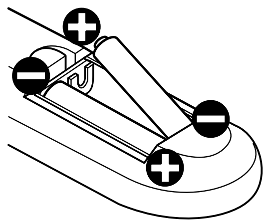
1 電池ぶたをはずす

ツメに指を引っかけ、矢印の方向にずらして開けます。



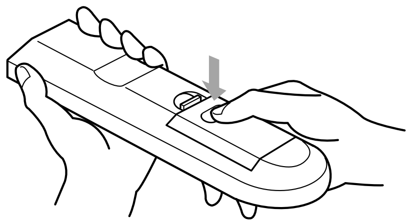
2 乾電池を入れる

付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

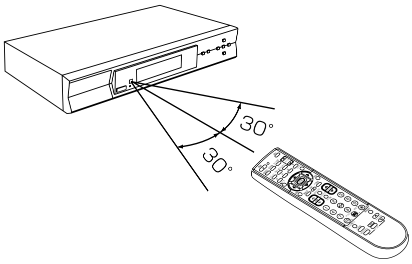


3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して閉めます。



リモコンの取り扱い



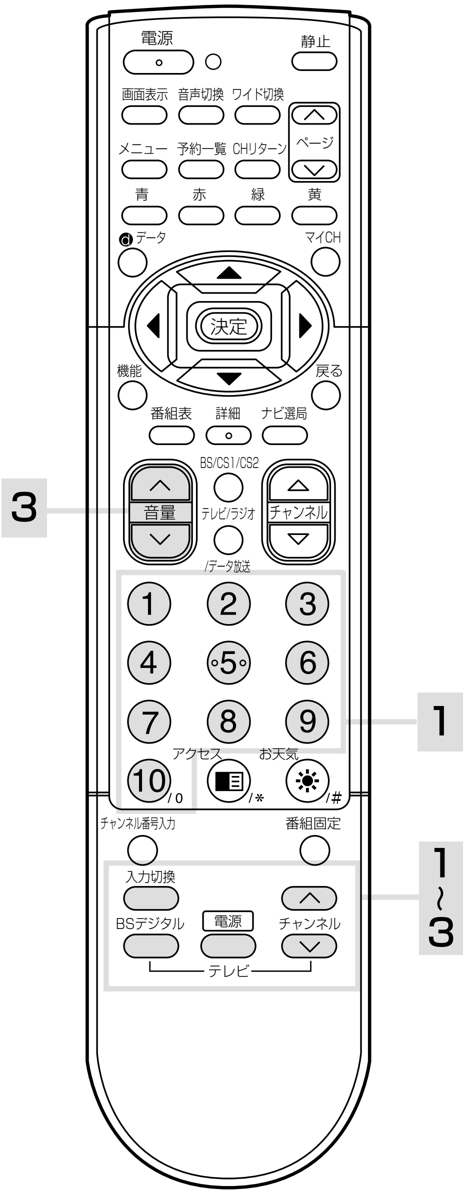
- リモコンは、本体のリモコン受信部の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
- テレビを操作するときは、テレビのリモコン受信部に向けてボタンを押してください。

お守りください リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなったり、メーカー設定が解除されてしまうときは、乾電池を交換してください。
- リモコン受信部に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないように本機の向きを変えてください。

付属のリモコンで、テレビの操作ができます。
1985年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどを操作することができます。また、日立製以外の10社のテレビも操作することができます。

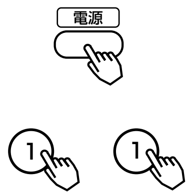
テレビを操作する



1 テレビ電源ボタンを押しながら、数字ボタンでテレビコードを設定する

ご使用のテレビのメーカーに合ったテレビコードを選んでください。

例：日立を選んだとき



メーカー	テレビコード
日　立	11
松下A	12
松下B	13
ビクター	14
ソニー	15
東　芝	16
三　菱	17
サンヨーA	18
サンヨーB	19
シャープA	21
シャープB	22
富士通ゼネラル	23
NEC	24
パイオニア	25

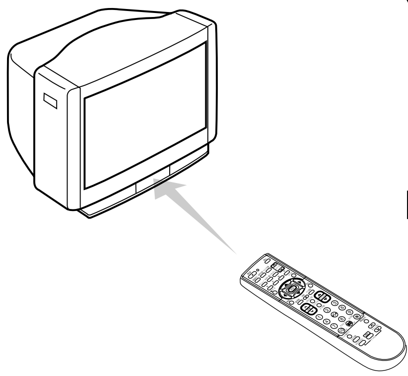
- ●設定をまちがえたときは、はじめからやり直してください。
- ●お買い上げ時は日立に設定されています。
- ●乾電池を交換した場合は、もう一度、設定してください。

2 テレビ電源ボタンを押す

テレビ電源ボタンを押してテレビの電源が「入/切」できれば、このリモコンでテレビの操作ができます。



3 リモコンをテレビに向けて、テレビ専用ボタンを押す



テレビ専用ボタン

・電源ボタン
・入力切換ボタン
・チャンネルボタン
・音量ボタン

日立製テレビ専用ボタン

・BSデジタルボタン
（リモコンにBSデジタルボタンがないテレビでは動作しません）

お知らせ

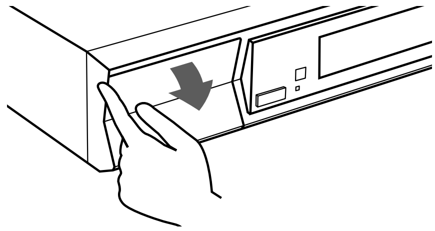
- ●松下、サンヨー、シャープはテレビコードが2種類あります。松下、シャープは電源の「入／切」できるコードを選んでください。サンヨーはチャンネルボタンが正しく動作するコードを選んでください。
- ●数字ボタンでテレビのチャンネルを選ぶことはできません。

接続テレビを設定する

コンポーネント出力を設定する

コンポーネントビデオ出力端子またはD映像出力端子を使用している場合に設定します。接続するテレビに合わせて正しく設定する必要があります。

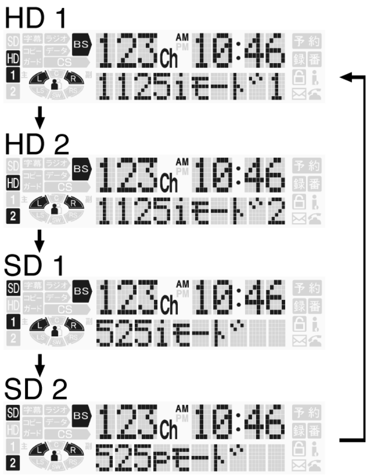
1 とびらの左側に指を引っかけ、手前に引く



2 映像出力切換ボタンを押す



映像出力切換ボタンを3秒程度押すと映像出力は次のように変わります。



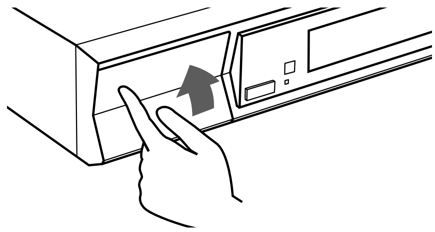
HD1: 1125i（1080i）の信号方式にのみ対応しているコンポーネントビデオ入力端子付きの機器に接続の場合に設定してください。下記の当社製ハイビジョンテレビに接続の場合、この設定にしてください。

HD2: D4またはD3映像入力端子付き機器や、525p（480p）、1125i（1080i）の各信号方式にすべて対応しているコンポーネントビデオ入力端子付きの機器に接続の場合に設定してください。

SD1: D1映像入力端子付きの機器や、525i（480i）の信号方式に対応しているコンポーネントビデオ入力端子付きの機器に接続の場合に設定してください。

SD2: D2映像入力端子付きの機器や、525p（480p）の信号方式に対応しているコンポーネントビデオ入力端子付きの機器に接続の場合に設定してください。

3 とびらを閉める



お知らせ

●映像出力をHD1またはHD2に設定した場合、750p（720p）のデジタルハイビジョン放送およびデジタル標準テレビ放送（525p（480p）および525i（480i））の場合も映像出力は1125i（1080i）固定となります。

●映像出力をSD2に設定した場合、デジタルハイビジョン放送（1125i（1080i）、750p（720p））および525i（480i）のデジタル標準テレビ放送の場合も映像出力は525p（480p）固定となります。

●映像出力をHD1に設定する当社製ハイビジョンテレビ

・C32-HD10　・C55-WX1　・C46-WX1　・C41-HD1　・C55-HD1　・C39-HD50　・C32-HD60
・C39-HD60　・C46-HD60　・C32-HMV7　・C32-HD70　・W36-HD1　・W32-HD1

コンポーネントビデオ出力およびD映像出力の映像について

本機のコンポーネントビデオ出力端子またはD映像出力端子からの映像信号は、本体前面とびら内の映像出力切換ボタンにより設定された映像出力に応じて、次のように変換されて出力されます。

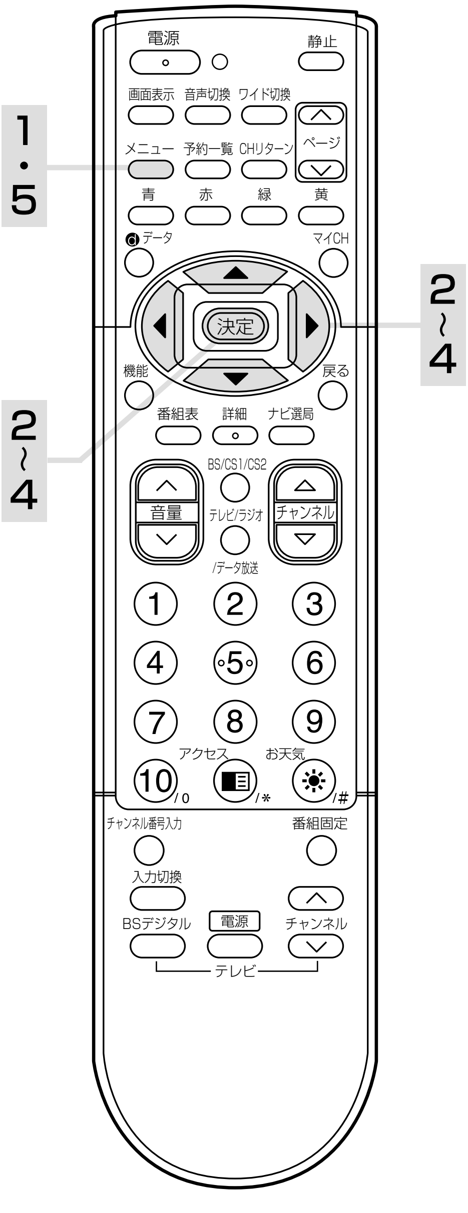
映像出力		HD1 1125i(1080i) 固定	HD2 1125i(1080i) 固定（解像度制限対応）	SD1 525i(480i) 固定	SD2 525p（480p） 固定
対象テレビ （推奨）	D映像入力仕様	ー	D4またはD3	D1	D2
	コンポーネントビデオ 入力仕様	1125i(1080i)対応 ワイドテレビ	1125i(1080i)または 750p(720p)対応 ワイドテレビ	525i(480i)対応 ワイドテレビおよび 普通のテレビ（4：3）	525p(480p)対応 ワイドテレビ
受信BS・110度CSデジタル映像信号		出力映像信号（コンポーネントビデオ出力およびD映像出力）			
HD	1125i(1080i)	HD 1125i(1080i) （運用規定による）	HD 1125i(1080i) （運用規定による）	SD 525i (480i)	SD 525p (480p)
HD	750p(720p)				
SD	525p(480p)	HD 1125i (1080i)	HD 1125i (1080i)		
SD	525i(480i)				

お知らせ

- i.LINK端子より入力されるデジタルハイビジョン映像（1125i(1080i)、750p(720p)）では、著作権保護のために、コンポーネントビデオ出力のハイビジョン信号に解像度制限をかけるものがある可能性があります。このような映像をi.LINK入力した場合、映像出力をHD2に設定した場合は、通常は1125i(1080i)固定出力ですが、解像度制限がかかると525p(480p)に自動的に切り換え、そのまま継続して視聴いただけます。D4またはD3映像入力端子付きのテレビと接続する場合は、この設定にしてご使用ください。映像出力をHD1に設定した場合は、常に1125i(1080i)出力固定のため、解像度制限がかけられた映像はコンポーネントビデオ出力では視聴できません。このような映像を視聴する場合には、出力1の映像端子を接続して、画面に表示されるメッセージにしたがって切り換えて視聴してください。
- S映像または映像入力端子付きのテレビに、S映像コードまたは映像・音声コードを接続して視聴される場合（28 の接続をした場合）、映像出力はSD1に設定してください。
- 本機は、日立製デジタルハイビジョン対応テレビと同様に、アドバンスド プログレッシブ方式を採用しているため、1125i（1080i）出力時は、525i（480i）放送受信時でもチラつきの少ない美しい画像をお楽しみいただけます。

接続テレビを設定する（つづき）

ご使用になるテレビやビデオ、接続方法に合わせて映像出力を設定することができます。

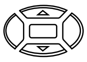


接続テレビを設定する

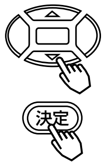
1 メニューボタンを押す

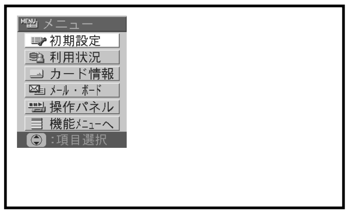
メニュー画面が表示されます。

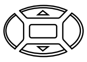


2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

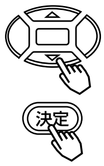
初期設定のメニュー画面が表示されます。



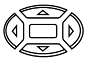


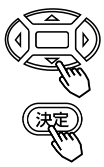
3 で「接続テレビ」を選び、決定ボタンを押す

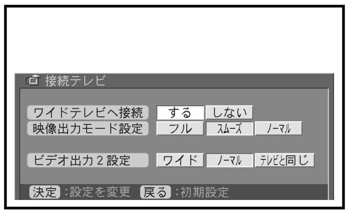
接続テレビ画面が表示されます。





4 で設定する項目を選び、決定ボタンを押す





5 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。



設定項目について

●ワイドテレビへ接続

コンポーネントビデオ出力または出力1に接続するテレビに合わせた設定ができます。

する	ワイドテレビに接続するときに選びます。
しない	普通のテレビ（4：3）と接続するときに選びます。

●映像出力モード設定

ワイド切換するときの初期設定モードを指定することができます。
（この機能は、「ワイドテレビへ接続」を「する」に設定したときに、ご使用になれます。）

フル	スクイーズ映像（横圧縮映像）のまま出力されます。
スムーズ	スムーズワイドした映像が出力されます。
ノーマル	左右に黒帯のついた画面で出力されます。

●ビデオ出力2設定

出力2からは、ビデオ録画のための映像が出力されます。ご使用になるビデオに合わせた設定ができます。

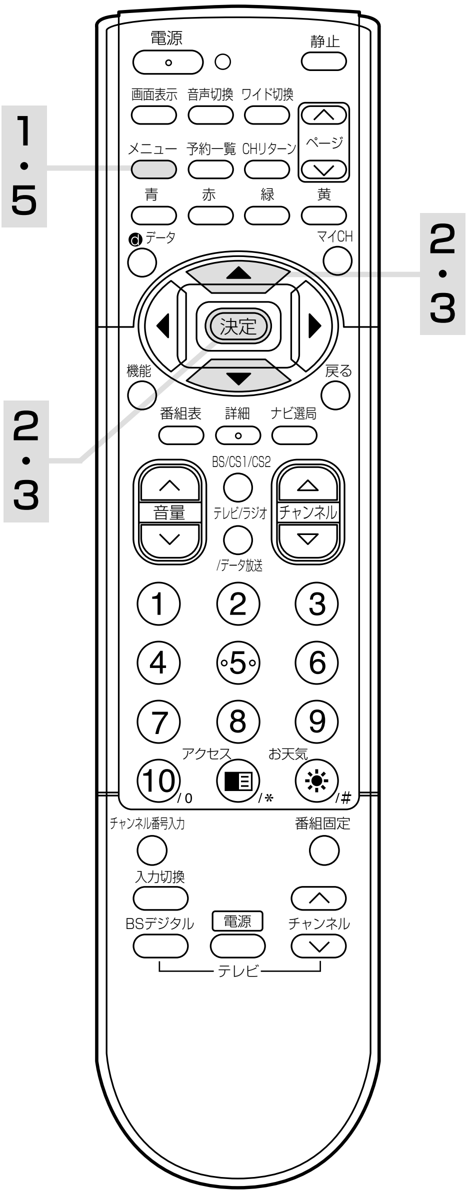
ワイド	ワイド放送の番組は、スクイーズ映像（横圧縮映像）が出力されます。
ノーマル	ワイド放送の番組は、画面の一部を切り出して出力するか、上下に黒帯のついた映像が出力されます。
テレビと同じ	出力1と同じ信号が出力されます。

お知らせ

●ワイドテレビへ接続について
・「する」に設定した場合、番組が4：3の放送のとき映像出力モード設定に従った映像が出力されます。映像出力の設定36がSD1以外のときは、「する」でご使用ください。
・「しない」に設定した場合、番組がワイド放送のときは画面の一部を切り出して出力するか、上下に黒帯のついた画面で出力されます。「しない」の設定は、映像出力の設定がSD1のときにのみ有効となります。
●映像出力モードについて
ワイド機能は、525i（480i）放送で4：3の番組を受信した場合のみ動作します。
フル、スムーズ、ノーマル以外にもワイドモードを切り換えることができます。62をご覧ください。
●ビデオ出力2設定について
設定を「ワイド」、「ノーマル」にした場合、出力2からは番組表や字幕画面、データ放送画面などは出力されません。
番組表や字幕画面、データ放送画面などを録画したい場合は、「テレビと同じ」に設定してください。

アンテナを設定する

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。



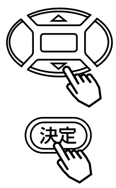
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

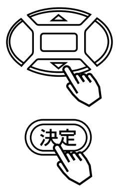
初期設定のメニュー画面が表示されます。

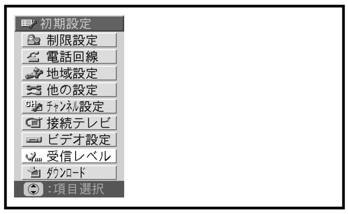




3 で「受信レベル」を選び、決定ボタンを押す

受信レベル画面が表示されます。





4 アンテナの向きを調整する

アンテナの仰角（上下の向き）・方位角（左右の向き）を調整し、数値が一番大きくなるところに設定します。



5 メニューボタンを2回押す

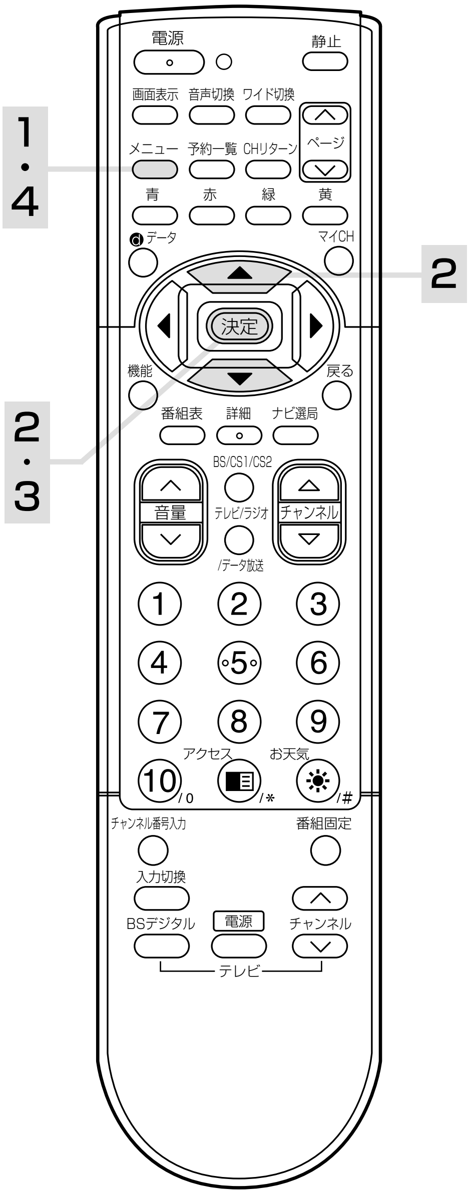
設定を終了します。



お知らせ

- ●コンバーター電源は、お買い上げ時「連動」に設定されています。
  マンションなどの共同受信の場合は、「切」でお使いください。
- ●受信レベルのピーク値は受信チャンネル、天候、季節、地域により異なることがあります。また、受信レベルとピーク値が同じにならない場合もあります。
- ●アンテナの仰角、方位角の調整方法は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

カードテストを行う



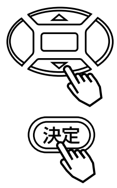
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 （上下ボタン）で「カード情報」を選び、決定ボタンを押す

カード情報画面が表示されます。





3 決定ボタンを押す

動作テスト結果が表示されます。





- ●ICカードが正常な場合は、「正常に動作しています」と表示されます。
- ●正常に動作していない場合は、「ICカードを入れる」 33 をご覧になり、ICカードが正しく挿入されているかなどをご確認ください。

4 メニューボタンを2回押す

終了します。



お知らせ

グループIDは表示されないことがあります。

電話回線を設定する

双方向サービスやペイ・パー・ビューをご利用になる場合、電話回線の接続が必要です。



1・8

2～7

2～7

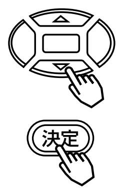
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

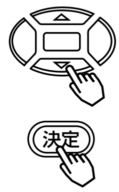
初期設定の項目画面が表示されます。





3 で「電話回線」を選び、決定ボタンを押す

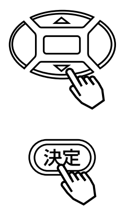
電話回線の設定画面が表示されます。

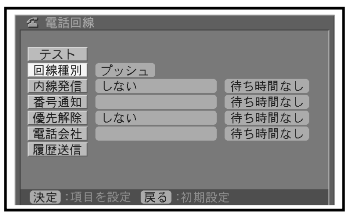




4 で「回線種別」を選び、決定ボタンを押す

お買い上げ時は「プッシュ」に設定されています。





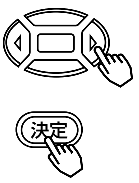
お知らせ

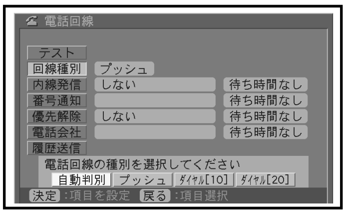
各種設定は下記でご覧ください。

内線発信 44
番号通知 45
優先解除 46
電話会社 47

5 で「自動判別」を選び、決定ボタンを押す

自動判別された結果が表示されるまで１分程度待ちます。

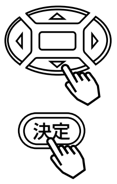


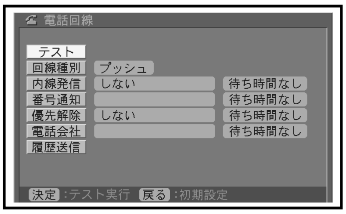


自動判別できなかった場合、ご使用になっている電話回線の種別を選び、決定ボタンを押してください。

6 で「テスト」を選び、決定ボタンを押す

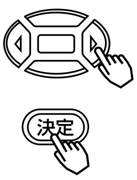
回線テストの選択画面が表示されます。

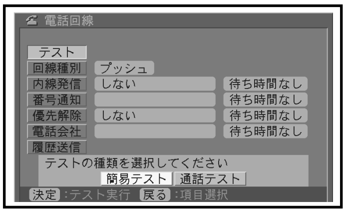




7 で「簡易テスト」を選び、決定ボタンを押す

テスト結果が表示されるまで１分程度待ちます。





実際にダイヤル動作を行い回線の接続テストを行うときは「通話テスト」を選択してください。このテストには約10円の通話料がかかります。

8 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。



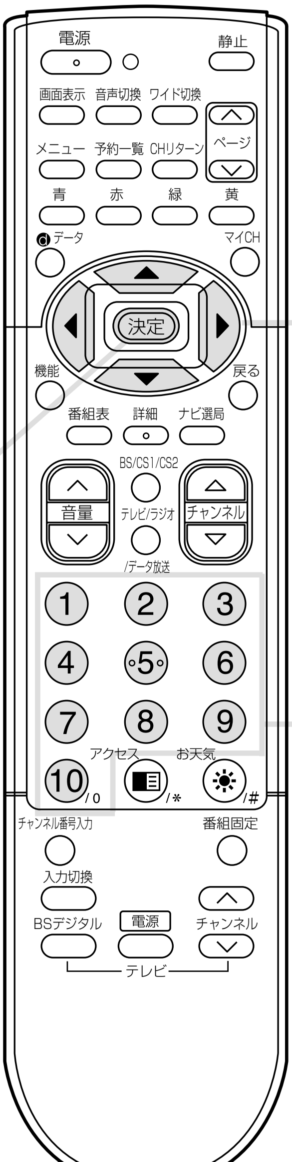
お知らせ 電話回線について

- ご使用の電話回線がプッシュ式かダイヤル式かわからない場合は、ご使用の電話機からダイヤルし受話器から「ピッポッパッ」と聞こえるときはプッシュ（トーン）式です。「ガリガリ」または「ジリジリ」とダイヤルを回す音が聞こえるときはダイヤル（パルス）式です。
- 押しボタン式の電話機でもダイヤル式の場合があります。ご不明なときは最寄りの電話局にお問い合わせください。

お知らせ 電話回線について

本機が通信を行っているときは、本体前面の表示窓の通信中表示が点灯します。

電話回線を設定する（つづき）

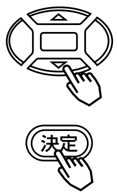


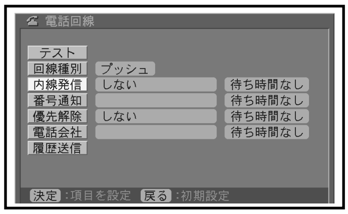
内線発信を設定する

電話回線画面 42 を表示させます。

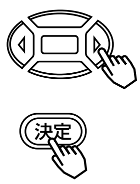
1 で「内線発信」を選び、決定ボタンを押す

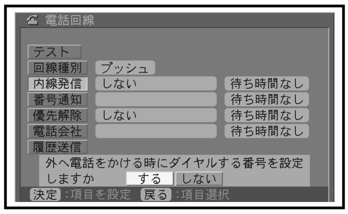
内線発信設定画面が表示されます。





2 で「する」を選び、決定ボタンを押す

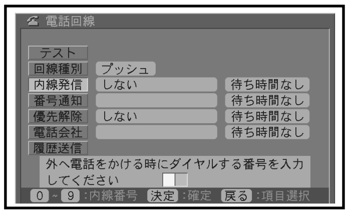




3 内線発信番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

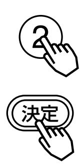
例）0発信の場合

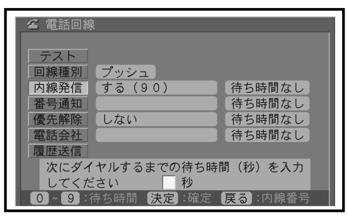




4 待ち時間を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

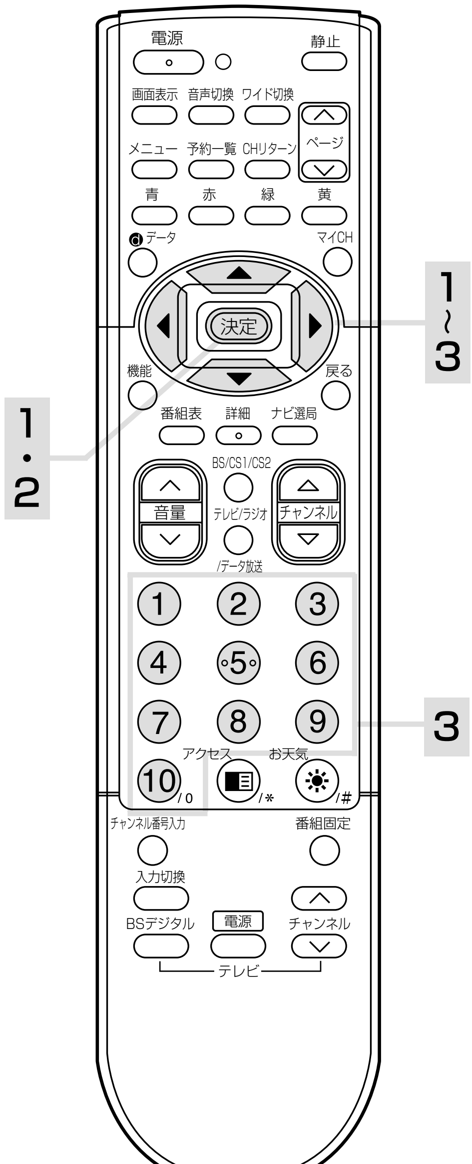
例）2秒の場合





お知らせ

- 外線へ発信できない場合は、電話装置メーカーや保守業者とご相談ください。
- 内線発信を「しない」に設定すると、設定した内線発信の内容は消去されます。

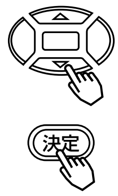


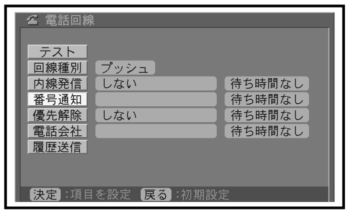
番号通知を設定する

電話回線画面 42 を表示させます。

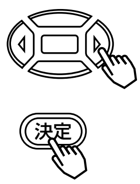
1 で「番号通知」を選び、決定ボタンを押す

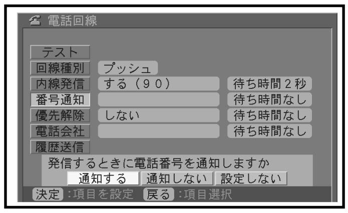
番号通知設定画面が表示されます。





2 で設定項目を選び、決定ボタンを押す



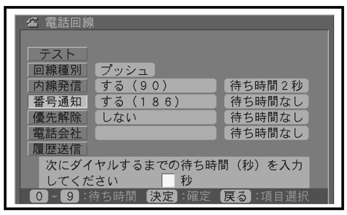


通知する　：「186」をつけてダイヤルします。
通知しない：「184」をつけてダイヤルします。
設定しない：何もつけずにダイヤルします。

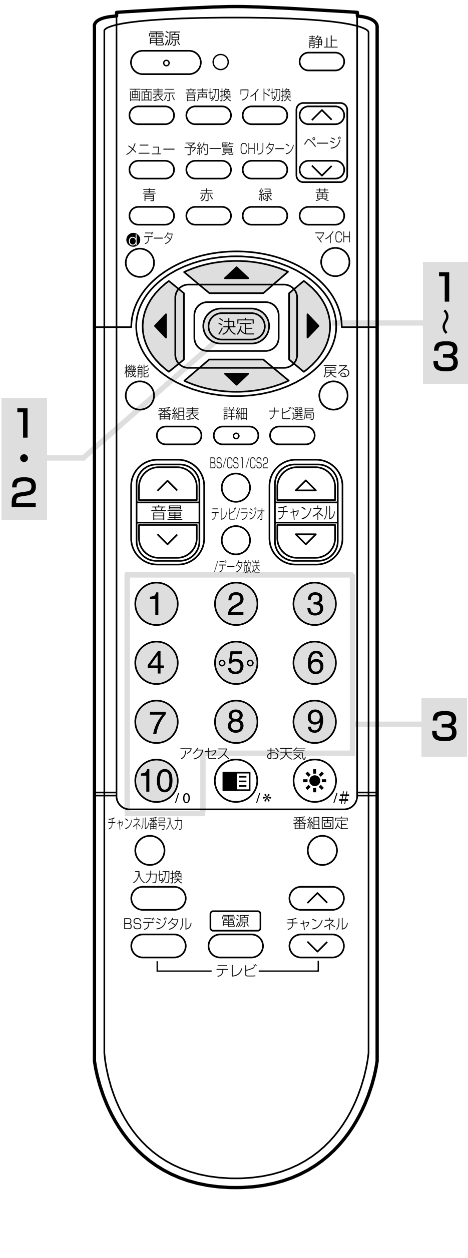
3 待ち時間を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

例）2秒の場合





電話回線を設定する（つづき）

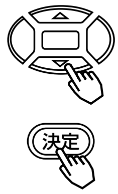


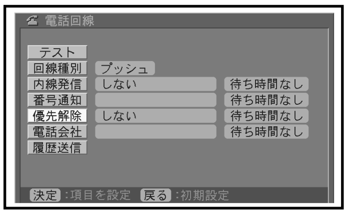
優先解除を設定する

電話回線画面 42 を表示させます。

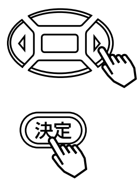
1 で「優先解除」を選び、決定ボタンを押す

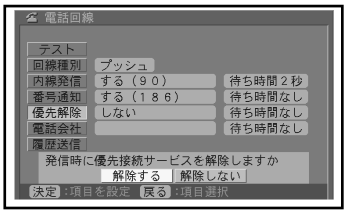
優先解除設定画面が表示されます。





2 で設定項目を選び、決定ボタンを押す



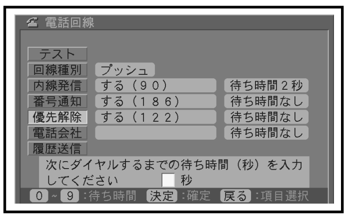


解除する　：「122」をつけてダイヤルします。
解除しない：何もつけずにダイヤルします。

3 待ち時間を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

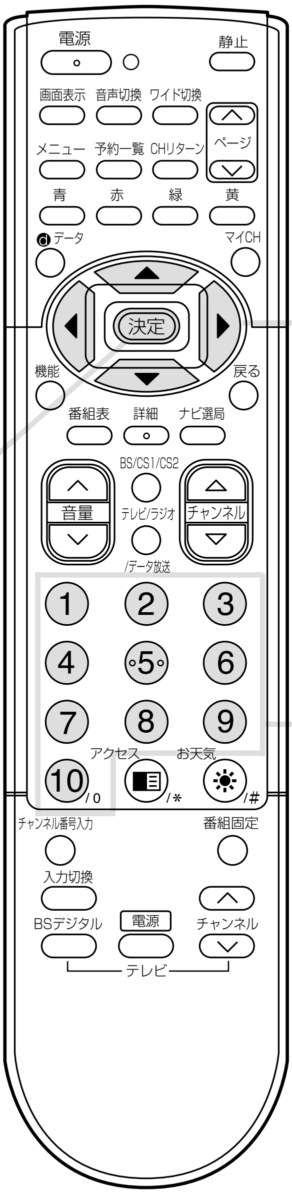
例）4秒の場合





お知らせ

マイラインプラスに加入していない場合は、「解除しない」を選択してください。

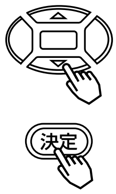


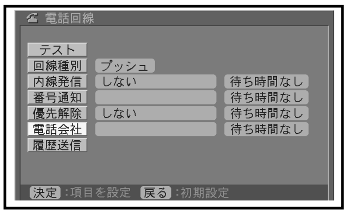
電話会社を設定する

電話回線画面 42 を表示させます。

1 で「電話会社」を選び、決定ボタンを押す

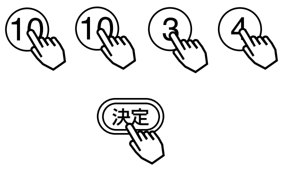
優先解除設定画面が表示されます。

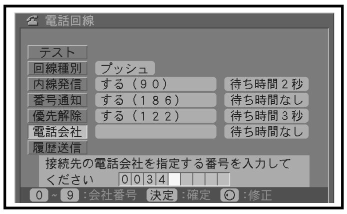




2 電話会社番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

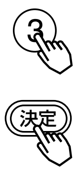
例）0034の場合

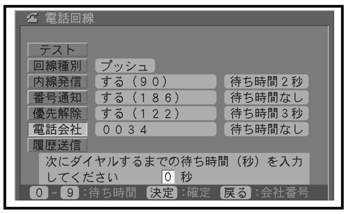




3 待ち時間を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

例）3秒の場合





お知らせ

番号を入力している途中で修正するときは、ボタンをくり返し押して、修正したいところまで戻って行ってください。

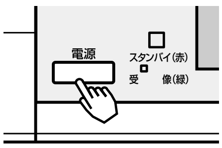
番組をご覧になるには

1 テレビの電源を入れ、テレビの入力切換で「ビデオ」を選ぶ

本機が接続されている入力を選びます。

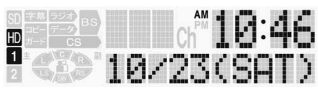
2 本機の電源を入れる

リモコンの電源ボタンでも、本機の電源を入れることができます。
本体のスタンバイ/受像ランプが緑色に点灯し、前に見ていたチャンネルが選局されます。



表示窓

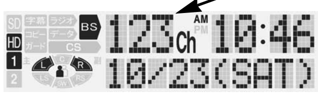
スタンバイ時



← 時刻表示
← 日付、曜日表示

時刻表示は、放送を受信すると自動的に設定されます。

受像時



チャンネル番号表示
← 時刻表示
← 日付、曜日表示

3 チャンネルや番組を選ぶ

チャンネルや番組の選びかたは、次のような方法があります。

●ワンタッチ選局 50

本機では、あらかじめ ① から ⑩0、(アクセス)*、(お天気)# ボタンにチャンネルが設定されています。

●アップダウン選局 51

チャンネルを順送り（逆送り）に選局できます。

●チャンネル番号選局 52

3桁のチャンネル番号を直接入力して選局できます。

●ＣＨリターン 52

前にご覧になっていたチャンネルを選局できます。

●マイＣＨ 64

登録しておいたチャンネルからすばやく選局できます。

●番組表 66

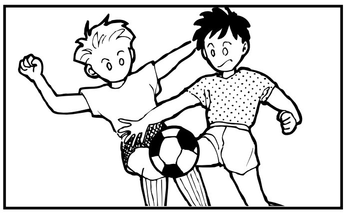
番組を確認しながら選局や予約ができます。

●ナビ選局 70

放送中の番組、次に放送される番組、あらかじめ登録したジャンル、キーワードが含まれる

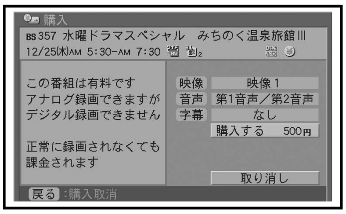
4 番組をご覧になる

●無料番組や契約済み番組



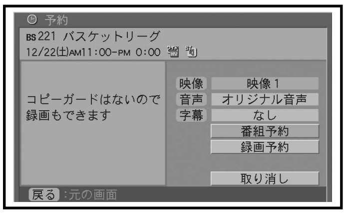
そのままご覧になれます。

●ペイ・パー・ビューや追加料金が必要な番組



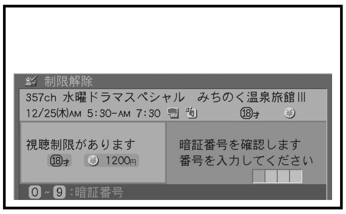
ご覧になるには購入操作が必要です。
ペイ・パー・ビュー番組を見る 54 をご覧ください。

●現在時刻以降の番組



ご覧になるには予約登録が必要です。
番組を予約する 58 をご覧ください。

●視聴制限の対象になる番組

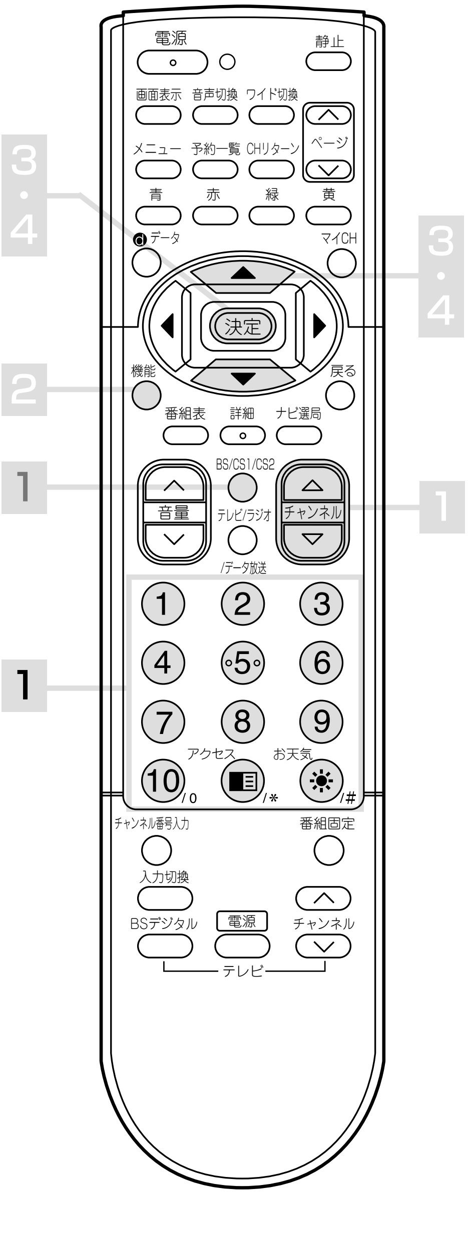


ご覧になるには暗証番号の入力が必要です。
視聴制限の対象になる番組を選んだ場合 99 をご覧ください。
設定方法については、視聴制限を設定する 96 をご覧ください。

お知らせ

- 表示窓ライトは、受信している放送に応じて色が変わります。（他の設定を設定する 100 の表示窓ライトの点灯が「連動」のとき）〔 デジタルハイビジョン放送：水色 ／ デジタル標準テレビ放送：緑色 ／ ラジオ放送・データ放送：紫色 〕
  また、録画予約実行中は、放送に関係なく、橙色に変わります。
  放送が受信できない場合や放送の種類が判別できない場合、表示窓ライトは緑色に点灯します。
- ペイ・パー・ビューとは、見たい番組を画面操作により購入を申し込み、見た分だけ料金を支払うものです。ペイ・パー・ビューの視聴には電話回線の接続が必要です。
- お買い上げ時、視聴制限は「切」に設定されています。

基本的なチャンネル選局



ワンタッチ選局

本機はお買い上げ時にあらかじめ ① から ⑩/0, アクセス /*, お天気 /# の数字ボタンにチャンネルを設定しています。数字ボタンを押せば、設定しているチャンネルを選局できます。

1 数字ボタンを押す

例） ① に設定している101チャンネルを選局するとき



番組によっては、視聴するための操作が必要になります。
ペイ・パー・ビュー番組のときは54をご覧ください。
視聴制限の対象になる番組のときは99をご覧ください。

お買い上げ時の設定

ボタン	設定チャンネル	局　名
①	101	NHK1
②	102	NHK2
③	103	NHKh
④	141	BS日テレ
⑤	151	BS朝日
⑥	161	BS-i
⑦	171	BSジャパン
⑧	181	BSフジ
⑨	191	WOWOW
⑩/0	200	スターチャンネル
アクセス /*	755	BS朝日データ
お天気 /#	910	ウェザーニューズ

BS・CS放送を切り換える場合

1 BS/CS1/CS2ボタンを押す

ボタンを押すごとに、BS、CS1（プラットワン）、CS2（スカイパーフェクTV!2）で最後に見ていたチャンネルを順送りに選局します。



お知らせ

数字ボタンに設定したチャンネルの変更ができます。
チャンネルの変更方法は「ワンタッチ選局を設定する」86 をご覧ください。

アップダウン選局

1 チャンネルボタンを押す

放送には、テレビ放送・ラジオ放送・データ放送の3つのサービスがあります。チャンネルボタンを押すと受信しているサービス（例えばテレビ放送のサービス）のチャンネルをBS、CS順送り(逆送り）に選局します。



番組によっては、視聴するための操作が必要になります。
ペイ・パー・ビュー番組のときは54をご覧ください。
視聴制限の対象になる番組のときは99をご覧ください。

お知らせ

- チャンネル設定画面で「スキップ」をチェックマークに設定したチャンネルはアップダウン選局されません。
- スキップの設定方法は、「スキップを設定する」87 をご覧ください。

サービスを切り換える場合

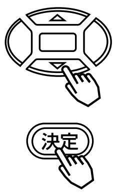
2 機能ボタンを押す

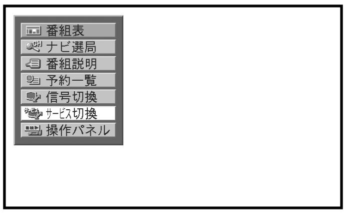
機能メニュー画面が表示されます。



3 で「サービス切換」を選び、決定ボタンを押す

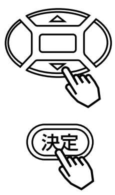
サービス切換画面が表示されます。

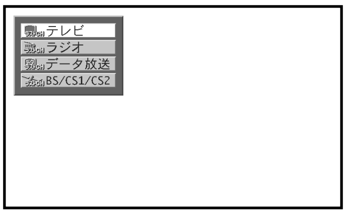




4 でサービス名を選び、決定ボタンを押す

選んだサービスの最後に見ていたチャンネルが選局されます。



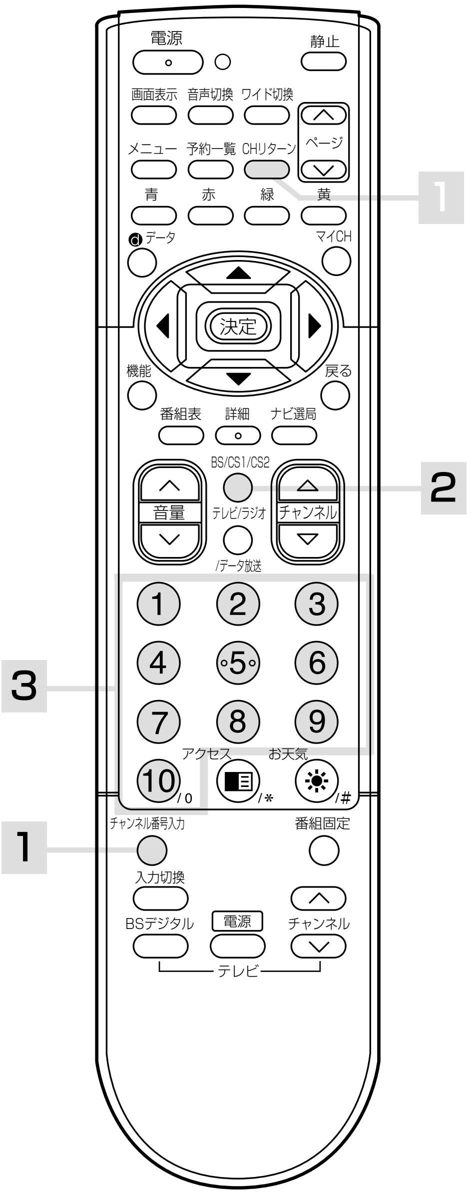


テレビ　：テレビ放送で最後に見ていたチャンネルを選局します。
ラジオ　：ラジオ放送で最後に見ていたチャンネルを選局します。
データ放送　：データ放送で最後に見ていたチャンネルを選局します。
BS/CS1/CS2　：各放送サービスで最後に見ていたチャンネルを選局します。（BS→CS1、CS1→CS2、CS2→BS）

お知らせ

サービスを切り換えるのは、テレビ／ラジオ／データ放送ボタンでも行えます。
テレビ／ラジオ／データ放送ボタン
テレビ放送、ラジオ放送、データ放送で最後に見ていたチャンネルを順送りに選局します。

基本的なチャンネル選局（つづき）

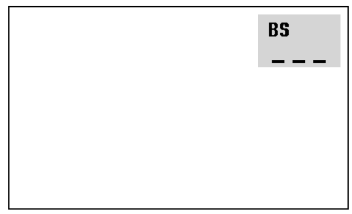


チャンネル番号選局

1 チャンネル番号入力ボタンを押す

チャンネル番号入力画面が表示されます。





2 BS/CS1/CS2ボタンを押す

ボタンを押すごとに、BS→CS→BSの順に表示が切り換わります。
チャンネル選局したい放送サービスを選択します。



3 数字ボタンを押す

チャンネル番号は3桁です。数字ボタンを3回押すと選局されます。
約5秒以内に次のボタンを押さないと、チャンネル番号入力画面が消えます。
例）123チャンネルのとき



番組によっては、視聴するための操作が必要になります。
ペイ・パー・ビュー番組のときは 54 をご覧ください。
視聴制限の対象になる番組のときは 99 をご覧ください。

CHリターン

1 CHリターンボタンを押す

前に選んでいたチャンネルに戻ります。



お知らせ

チャンネル番号選局で、数字ボタンでチャンネル番号を入力している途中でも、BS/CS1/CS2ボタンでBS・CSの選択ができます。

データ放送を見る

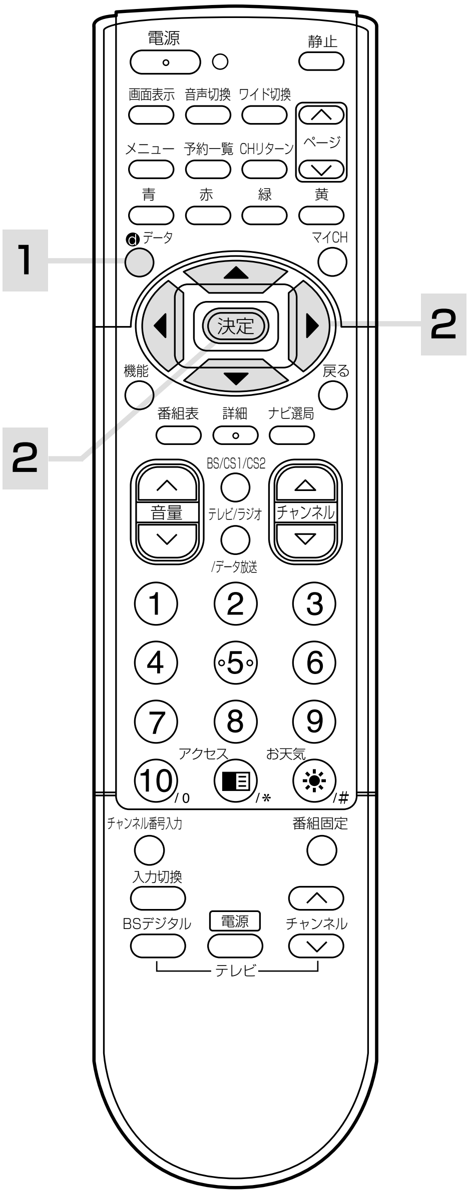
データ放送では、放送局より送られてくる画面情報に従い操作することで、いろいろな情報をご覧になることができます。
データ放送には、次のようなものがあります。

●テレビ放送やラジオ放送と一緒にデータ放送が行われるもの。

●番組自体がデータ放送のもの。（データ放送画面が自動的に表示されます。）

画面表示に［アイコン］、［アイコン］、［アイコン］いずれかが表示されます。

また、本体の表示窓に［データ］が点灯します。



データ放送画面で操作できる内容は番組により変わります。ここでは、テレビ番組に関連したデータ放送が行われた場合を例に説明しています。

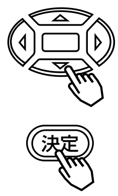
1 ⓓ データボタンを押す

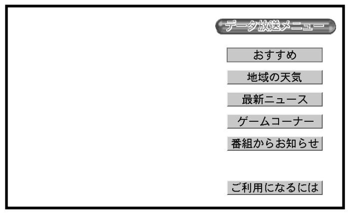
データ放送画面が表示されます。



画面表示以外のメニュー画面などを表示している場合、メニュー画面などを終了させてからⓓデータボタンを押してください。

2 ［カーソルボタン］で項目を選び、決定ボタンを押す





・項目の選択方法や選択状態を示す方法、操作するボタンなどは番組によって異なります。
・番組によっては、青、赤、緑、黄の4色ボタンや、① ～⑩ボタンを使うことがあります。
・数字を入力する画面で数字の「0」を入力する場合は、⑩ボタンを押します。

お知らせ

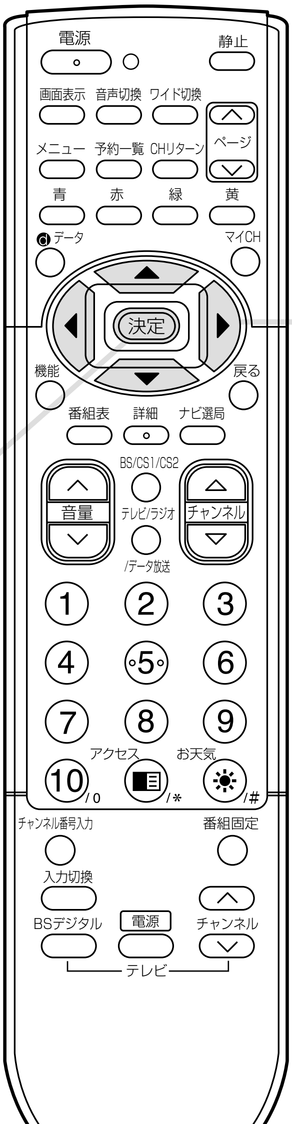
●テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示しているときに、番組表を表示すると、データ放送画面の一部または全てが表示されなくなることがあります。

●データ放送では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中は電源ボタン以外の操作ができなくなることがあります。

●データ放送画面を表示しているときは、静止ボタンは動作しません。

ペイ・パー・ビュー番組を見る

デジタル放送には無料と有料のものがあります。有料のものには、事前に申し込みが必要な契約チャンネルと、画面上で購入操作が必要になるペイ・パー・ビュー番組があります。

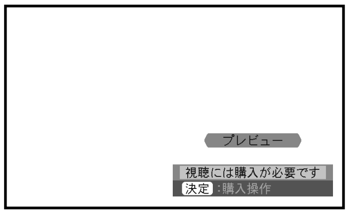


ペイ・パー・ビュー番組を選びます。

1 決定ボタンを押す

購入画面が表示されます。

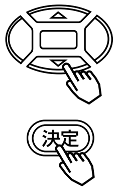


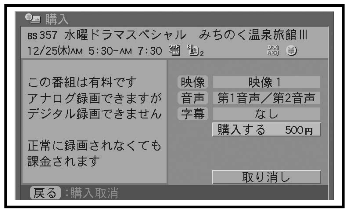


番組によっては、プレビュー（購入する前に無料で数分間視聴できる期間のこと）が表示されます。
プレビューの時間は番組で異なることがあります。
プレビューのない番組もあります。

2 で「購入する」（または、「視聴購入」、「録画購入」）を選び、決定ボタンを押す

購入確認が表示されます。



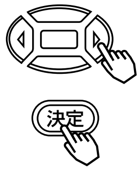


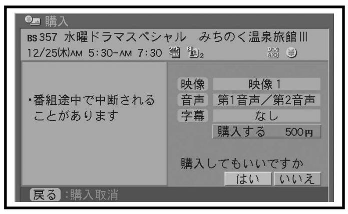
購入する：番組を購入します。但し、コピーガードにより録画できないことがあります。

追加料金を支払えば録画できる場合には、次の項目が表示されます。

視聴購入：番組を購入します。番組をご覧になれますが、コピーガードにより録画はできません。
録画購入：番組を購入します。番組をご覧になることも、録画することもできます。
取り消し：番組を購入しないで元の画面に戻ります。

3 で「はい」を選び、決定ボタンを押す





購入しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。

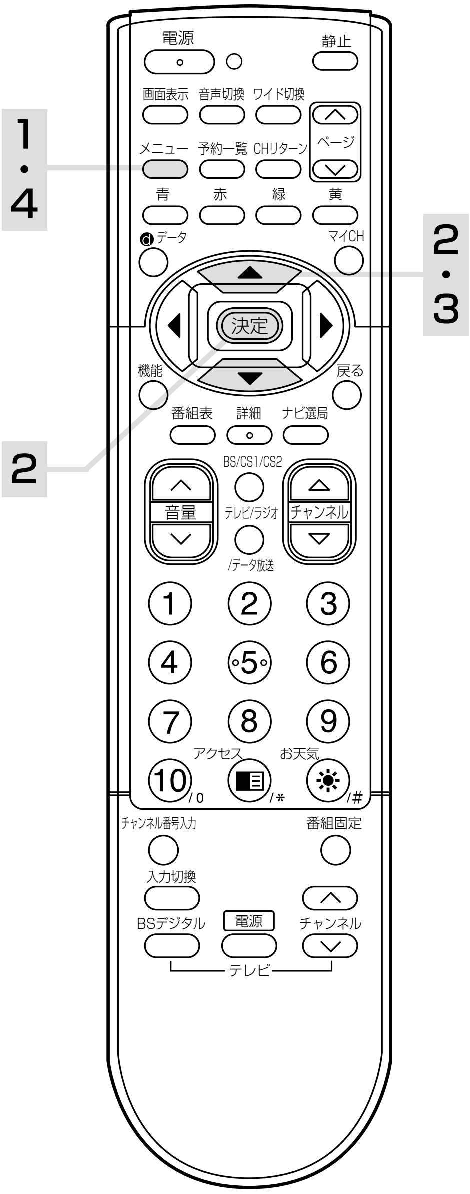
これで購入操作は完了しました。購入操作が完了した時点で課金されます。これ以後、実際に視聴しなかった場合でも料金が請求されます。

お知らせ

- コピーガードのかかっている番組では、本体前面の表示窓のコピーガード表示が点灯します。
- 購入情報が自動送信できなかった場合は、番組を購入できません。この場合、「視聴履歴を送信する」106 をご覧になり、購入情報を送信してください。

ペイ・パー・ビューの利用状況を確認する

購入したペイ・パー・ビューの記録を25番組まで確認することができます。不要になった記録を削除することもできます。



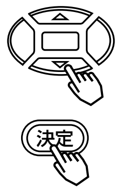
1 メニューボタンを押す

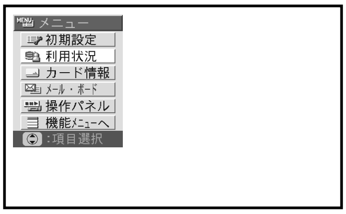
メニュー画面が表示されます。



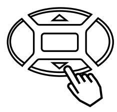
2 で「利用状況」を選び、決定ボタンを押す

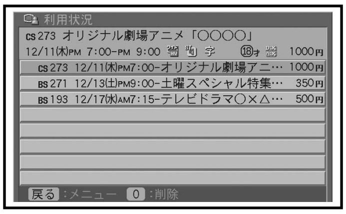
利用状況画面が表示されます。





3 内容を確認する

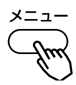




・9番組以上ある場合、ページボタンで表示を切り換えることができます。
・記録を削除したい場合、削除したい内容を で選び、⑩。ボタンを押します。削除確認では「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

4 メニューボタンを2回押す

終了します。



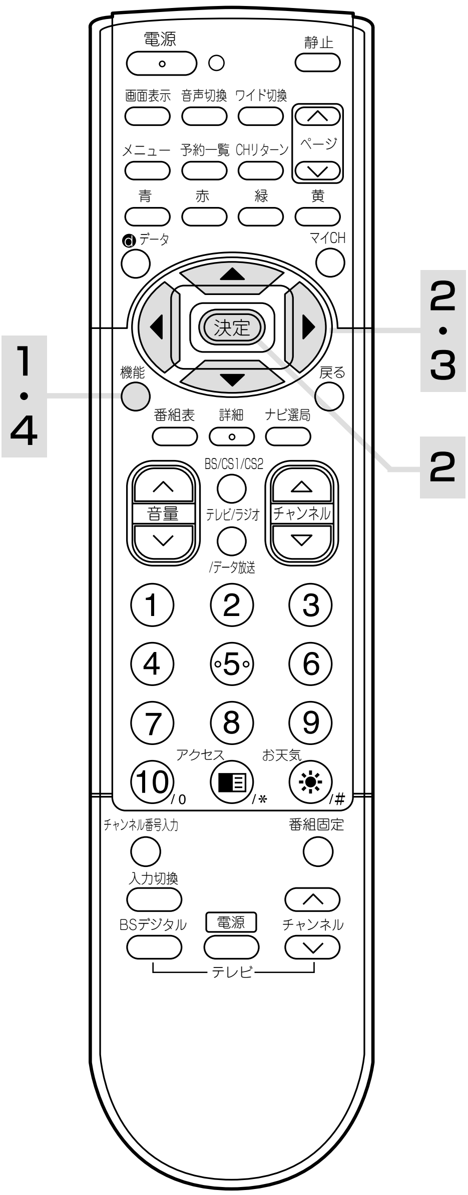
基本操作

お知らせ

●削除した記録は戻すことができません。
●表示される金額は、実際に請求される金額と異なることがあります。

映像・音声を切り換える

番組によっては、複数の映像や音声が送られることがあり、お好みのものに切り換えることができます。切り換えた映像や音声が有料の場合もあります。



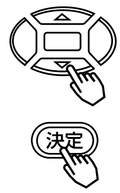
1 機能ボタンを押す

機能メニュー画面が表示されます。



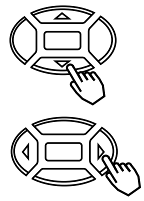
2 で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

信号切換画面が表示されます。





3 で項目を選び、で切り換える





映像：複数の映像がある場合は切り換えができます。
マルチビュー放送の場合、映像の切り換えに連動して音声も自動で切り換わります。

音声：複数の音声がある場合は切り換えができます。

例）音声1が二重音声のとき

音声1（主）→ 音声1（副）→ 音声1（主／副）→ 音声2（ステレオ）

切り換えた信号が有料の場合、購入画面が表示されます。54と同様に購入操作を行ってください。

4 機能ボタンを2回押す

切り換えを終了します。



お知らせ

- 「接続テレビ」の「ビデオ出力2設定」38を「ワイド」、「ノーマル」に設定している場合、出力2の音声は、音声切換ボタンの操作に関係なく、主／副音声が出力されます。音声2へ切り換えたときは、音声2が出力されます。
- 映像や音声の名称が放送局側から送られている場合は、送られてきた名称を表示します。

二重音声を選ぶ

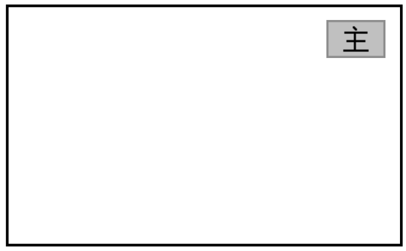
二重音声の番組を見ているとき、お好みに合わせて聞きたい音声を選ぶことができます。

1



1 音声切換ボタンを押し、聞きたい音声を選ぶ

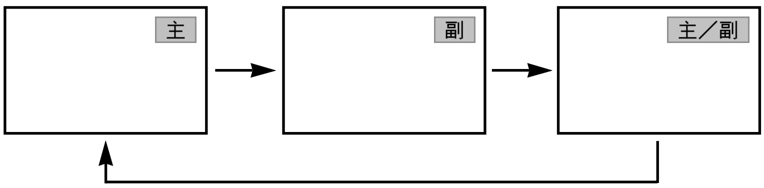




二重音声番組のとき

ボタンを押すたびに、テレビ画面と表示窓の表示が、下図のように変わります。聞きたい音声の表示を選んでください。

テレビ画面



表示窓



ステレオ番組のとき

テレビ画面

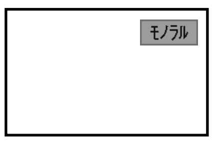


表示窓



モノラル番組のとき

テレビ画面



表示窓

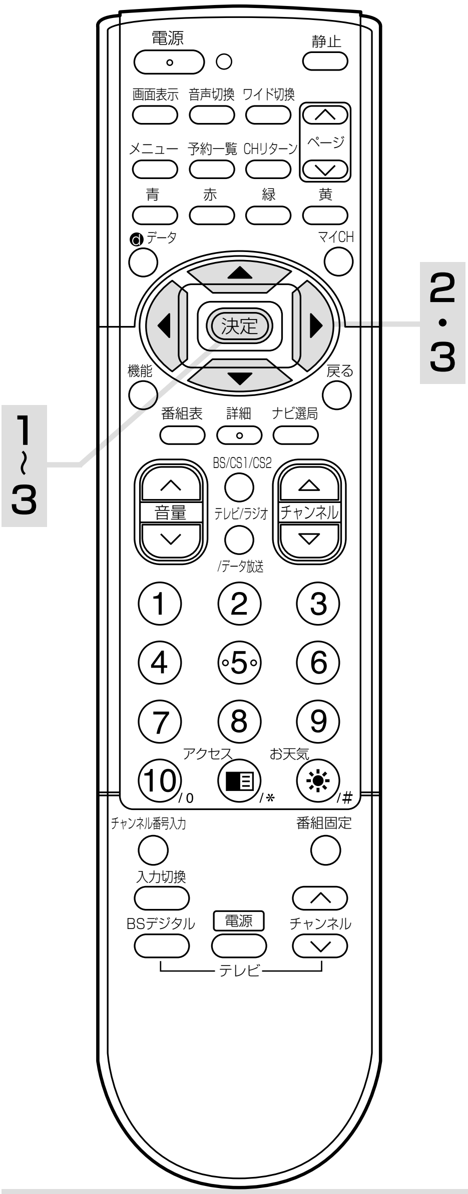


お知らせ

- ●ステレオ番組やモノラル番組のときは、音声切換ボタンを押しても、音声は切り換わりません。
- ●サラウンドステレオ番組のときは、音声モードに応じて、C,LS,RS,SWが点灯します。

番組を予約する

これから放送される番組を予約することができます。予約できる番組は25番組までです。ビデオコントローラーやi.LINKを使用すれば、ビデオ録画を連動させることができます。
設定については、ビデオ設定する88、またはD-VHSビデオを登録する85をご覧ください。
予約実行については79お知らせをご覧ください。



1 番組表 66 やナビ選局 70 などで、予約する番組を選び、決定ボタンを押す

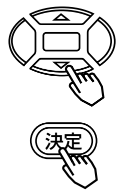
予約画面が表示されます。

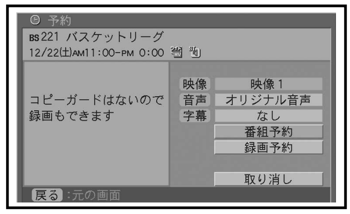




2 で「番組予約」または「録画予約」を選び、決定ボタンを押す

予約確認が表示されます。



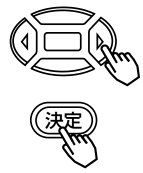


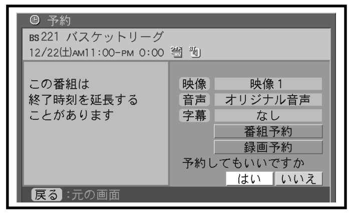
番組予約：開始時刻になると予約されたチャンネルを選局します。以降は通常の操作が行えます。

録画予約：開始時刻になると予約されたチャンネルを選局し、終了時刻まで番組固定状態（操作できない状態）になります。ビデオ録画を連動させることができます。

3 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

予約登録され、元の画面に戻ります。





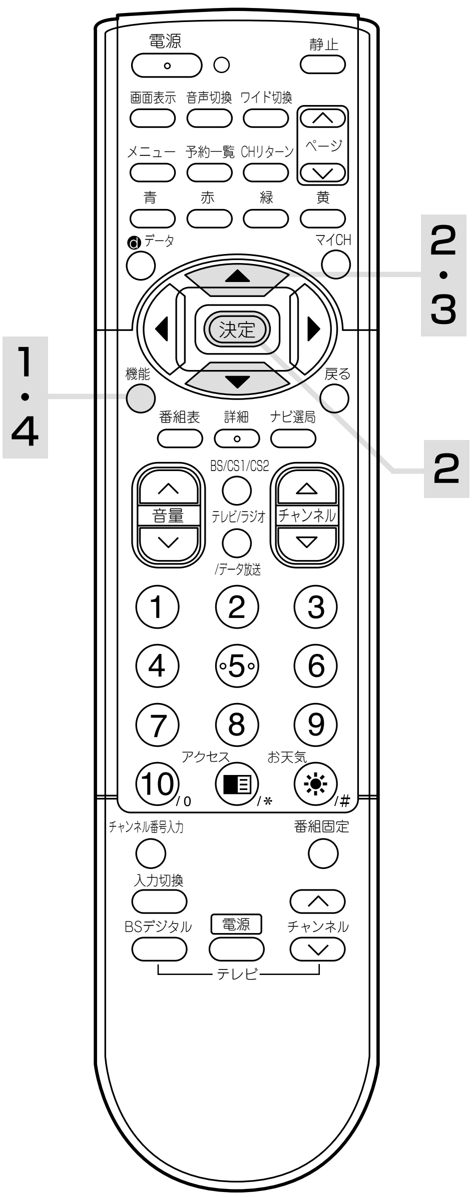
予約しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。

お知らせ

- 番組を予約すると、本体の表示窓に「予約」と、番組予約の場合は「番」が、録画予約の場合は「録」がそれぞれ点灯します。
- 予約する番組が、ペイ・パー・ビュー番組の場合、「視聴購入」、「録画購入」が表示されます。視聴購入を選ぶと番組予約、録画購入を選ぶと録画予約として登録されます。番組によっては録画購入できない場合があります。
  また、予約実行時、B-CASカードが挿入されていない、またはB-CASカードの条件によっては予約実行されません。
  実際に課金されるのは、予約実行時になります。
- 予約する番組が視聴制限の対象になる場合、制限解除画面が表示されます。
- すでに予約した番組と放送時間が重なる場合は予約できません。また、放送開始時刻の30秒前からは予約できません。
- 予約実行時の「映像」、「音声」、「字幕」を選択できる場合があります。但し、追加購入が必要になる場合や、選択するものがない場合は選択できません。
- 録画予約ではi.LINK接続された機器が優先されます。機器を変更するときは、80 をご覧ください。

予約を確認・取り消しする

予約した番組やマニュアル予約 78 した内容の確認や取り消しができます。



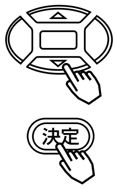
1 機能ボタンを押す

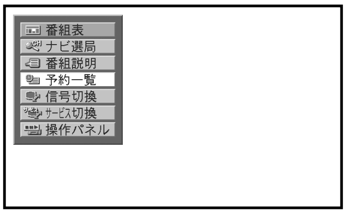
機能メニュー画面が表示されます。



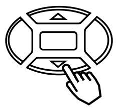
2 で「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

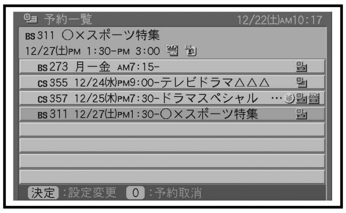
予約一覧画面が表示されます。





3 内容を確認する





・9番組以降を表示する場合、ページボタンで表示を切り換えることができます。
・予約を取り消しする場合、取り消しする予約を で選び、⑩ボタンを押します。
削除確認では「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

4 機能ボタンを2回押す

終了します。



お知らせ

●  は番組予約を、 は録画予約を、 はi.LINK接続されたD-VHSで録画予約されていることを示します。

●マニュアル予約の場合、番組名は表示されません。

●予約開始20秒前から開始後10秒の間は、予約一覧画面を表示することができません。

基本操作

番組名などを見る

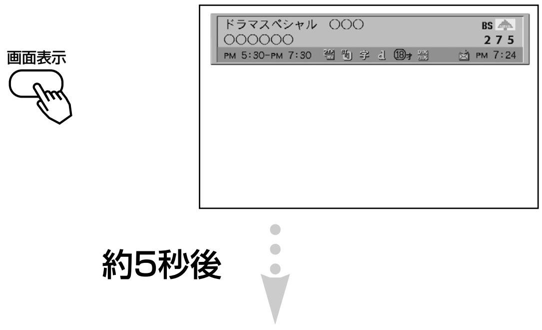
ご覧になっている番組の番組名、番組開始・終了時刻、未読メールのお知らせなどを表示します。

1



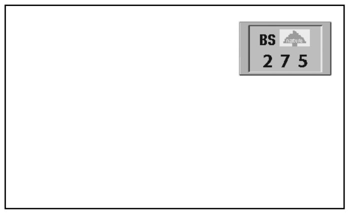
1 画面表示ボタンを押す

チャンネルを切り換えると自動的に画面表示を約10秒間表示して、消えます。（表示後、約5秒で下図のように表示は変わります。）





もう一度画面表示ボタンを押すと、表示が消えます。



光デジタル音声の情報が表示窓に約3秒点灯します。

- 光デジタル音声が出力できない場合



本体の表示窓に「OPT OUT ナシ」と表示されます。

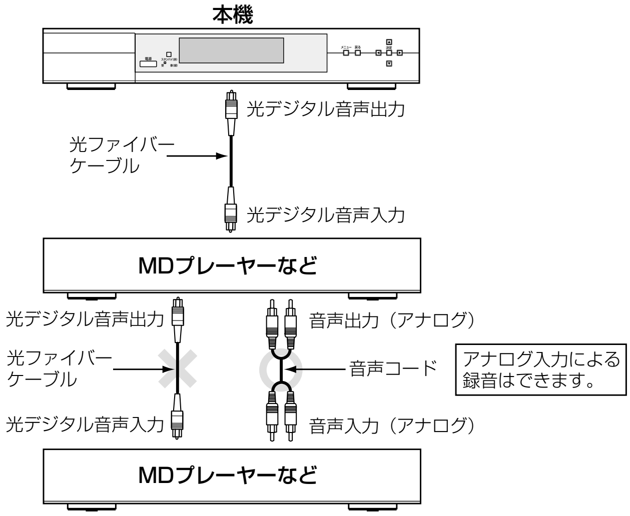
- デジタル録音が一度しかできない場合



本体の表示窓に「OPT COPY 1」と表示されます。

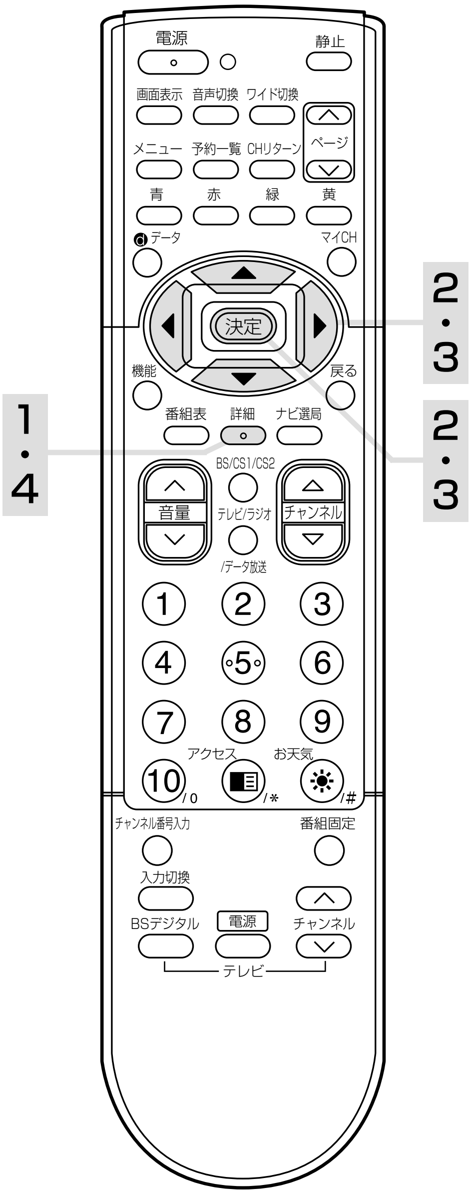
- デジタル録音に回数制限がない場合は、本体の表示窓にはなにも表示されません。

デジタル録音が一度しかできない場合、本機からのデジタル音声信号を光ファイバーケーブルを使用して、MDプレーヤーなどに録音したものをさらにデジタル入力で録音することはできません。



番組説明を見る

番組説明では、番組説明や項目毎の詳細な解説を表示します。放送局により表示される内容が異なることがあります。



1 番組表 66 やナビ選局 70 などで、番組名を選び、詳細ボタンを押す

番組説明画面が表示されます。

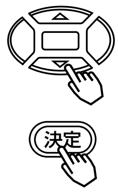


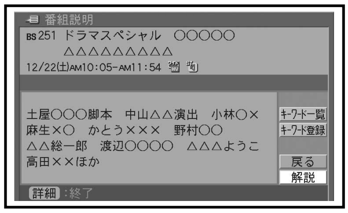


視聴中に詳細ボタンを押すと、ご覧になっている番組の番組説明が表示されます。

2 で「解説」を選び、決定ボタンを押す

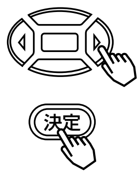
解説項目が表示されます。

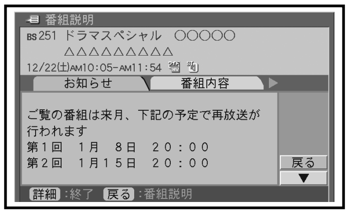




3 で見る項目を切り換えます

選択された項目の解説内容が表示されます。





・内容の続きを見るときは、[▼]を選び、決定ボタンを押します。
・[▼]や[▲]の選択肢が表示されている画面では、リモコンのページボタンを押しても表示を切り換えることができます。

4 詳細ボタンを押す

終了します。



お知らせ

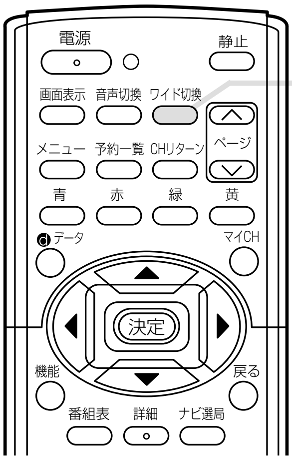
●解説がない場合や、解説を表示できない場合があります。

●番組内容やお知らせなどの解説項目は、番組によって異なることがあります。

基本操作

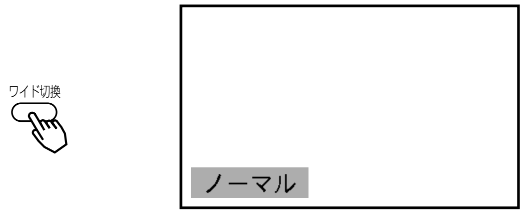
ワイド機能を楽しむ

525i（480i）放送で4：3の番組を受信した場合、お好みに合わせてワイドモードを選ぶことができます。



1 ワイド切換ボタンを押す

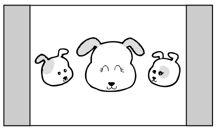
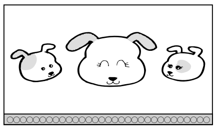
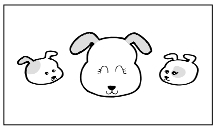
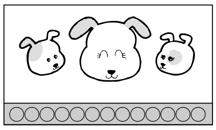
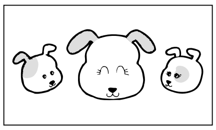
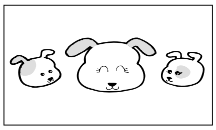
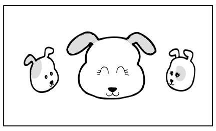
ワイド切換ボタンを押すたびにワイドモードは次のように変わります。



スムーズ → 映画1 → 映画2 → 映画1字幕 → 映画2字幕 → フル → ノーマル →（スムーズへ戻る）

・「接続テレビを設定する」38 の「映像出力モード設定」で設定したモードが初めに選択されます。
・ワイド切換できない番組のときは、「切換できません」と表示されます。

ワイドモードについて

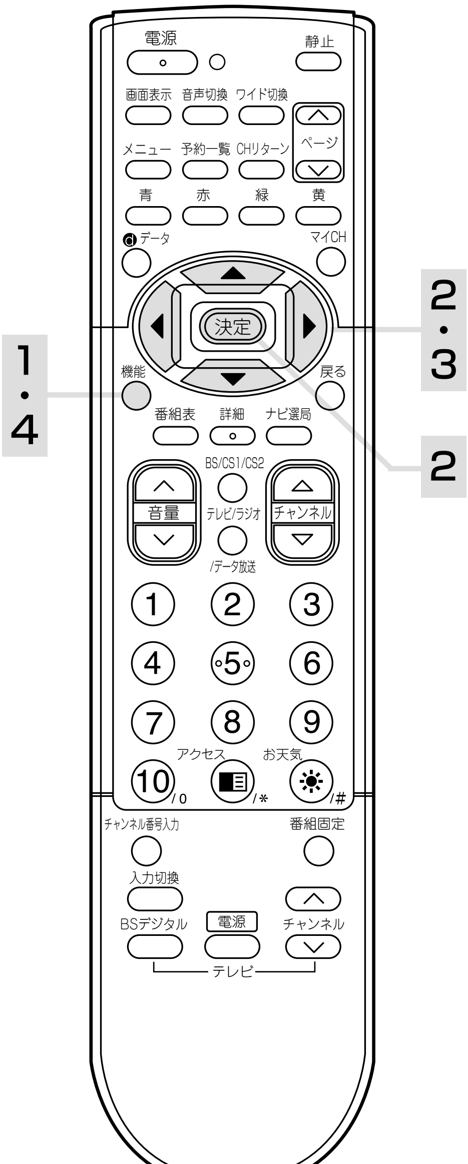
	**ノーマル（通常の状態）** 通常のテレビ放送の映像は中央に映ります。		**映画1字幕** 字幕付のビスタサイズの映像に最適です。
	**スムーズ** 4：3の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面一杯にし、垂直方向に10%拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。		**映画2字幕** 字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。
	**映画1** ビスタサイズの映画などを水平・垂直両方向に約30%拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。		**フル** 横方向を圧縮して記録された映像（スクィーズ映像）を横方向に画面一杯まで拡大します。ハイビジョン番組を楽しむときなどに使います。
	**映画2** シネスコサイズの映画などの両側を少し縮小し、画面一杯に拡大します。上下に黒い部分がなくなり迫力の画面で楽しめます。		

お知らせ

- テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選ぶと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、ワイドモードをお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- 本機のワイド機能を利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- ワイド機能は、525i（480i）放送で4：3の番組を受信した場合のみ動作します。その他の放送フォーマット1125i（1080i）などのワイド放送で、左右に黒帯がついた番組を、黒帯のない映像にする動作には対応しておりません。
- ワイド機能は、D映像出力端子、コンポーネントビデオ出力端子、出力1のS2映像・映像から出力される映像信号に対して動作する機能です。（ビデオ出力2設定が「テレビと同じ」の場合は、出力2も同様になります。）ワイドテレビのビデオ入力に接続する場合は、ワイド処理した映像をスクィーズ映像信号として出力しますので、同梱したS映像コードで本機とワイドテレビを接続してください。

字幕を切り換える

番組によっては、2種類までの字幕が送られることがあり、お好みのものに切り換えることができます。
「他の設定」100 の字幕表示で、表示する字幕をあらかじめ設定しておくこともできます。



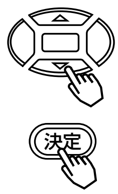
1 機能ボタンを押す

機能メニュー画面が表示されます。



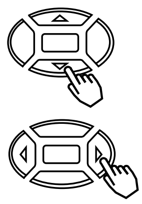
2 で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

信号切換画面が表示されます。





3 で字幕を選び、で切り換える





4 機能ボタンを2回押す

切り換えを終了します。



お知らせ

電源をスタンバイ状態にすると、「他の設定」の字幕表示で設定した状態に戻ります。

マイCHから選局する

よくご覧になるチャンネルをマイＣＨとして登録しておくと便利です。
マイＣＨは①から⑤の5グループあり、各グループに9チャンネルまで登録できます。

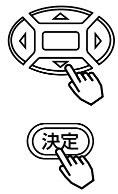


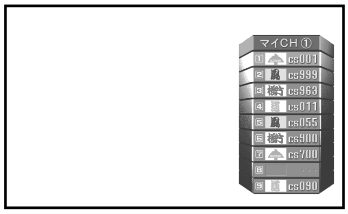
1 マイCHボタンを押す

マイCH画面が表示されます。



2 でチャンネルを選び、決定ボタンを押す





・ でマイCH①からマイCH⑤を切り換えることがあります。
・選局しない場合は、マイCHボタンを押すと表示が消えます。
・本機は、お買い上げ時にあらかじめチャンネルを設定してあるところがあります。

お買い上げ時の設定

	マイCH①	マイCH②	マイCH③	マイCH④	マイCH⑤
1	CS001	CS100	CS190	BS933	－
2	CS999	CS110	CS135	BS940	－
3	CS963	CS123	BS316	BS955	－
4	CS011	CS128	BS322	BS963	－
5	CS055	CS250	BS444	BS999	－
6	CS900	CS160	BS455	BS900	－
7	CS700	CS170	BS471	BS766	－
8	－	CS182	BS488	BS777	－
9	CS090	CS194	BS489	BS491	－

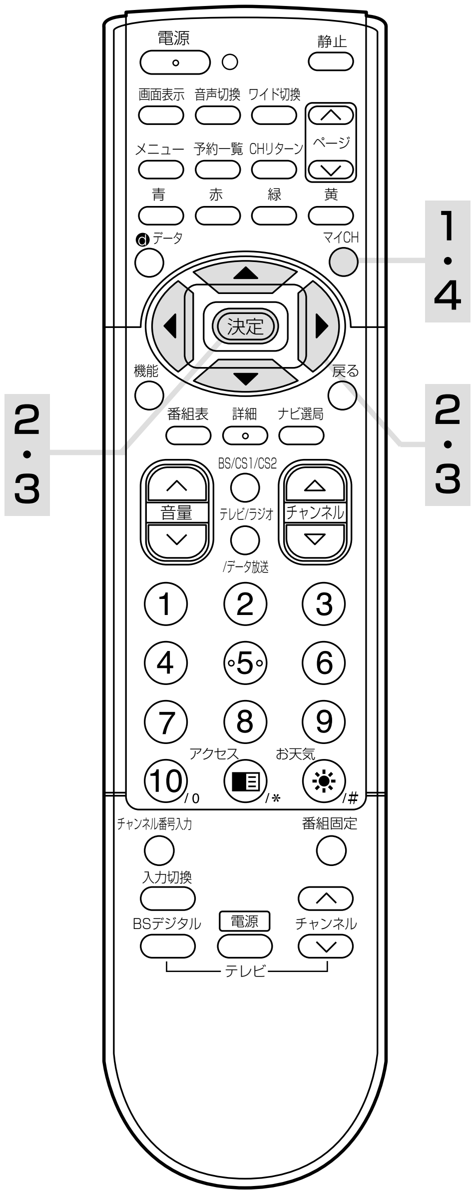
－部分は未設定の部分です。

お知らせ

あらかじめ設定されているチャンネルでも、放送開始前またはチャンネル変更などにより、選局できない場合もあります。

マイCHを登録する

視聴しているチャンネルをマイＣＨへ登録することができます。

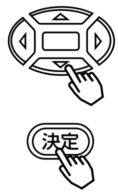


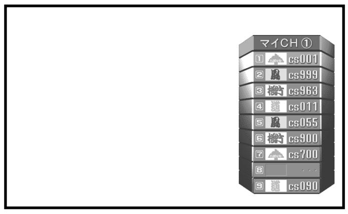
1 登録したいチャンネルを選局し、マイＣＨボタンを押す



マイＣＨ画面が表示されます。

2 で登録したい場所を選び、決定ボタンを押す

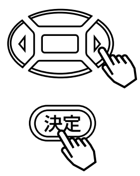


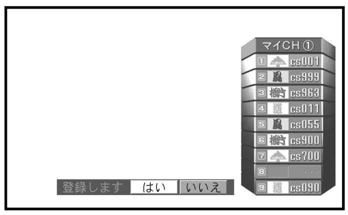


・視聴中のチャンネルのみ登録することができます。
・他のチャンネルを登録するときは、一度、そのチャンネルを選局してから登録してください。
・登録を削除するときは削除したいチャンネルを選択し、⑩を押します。

3 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

マイＣＨへ登録されます。





4 マイＣＨボタンを押す

マイＣＨ登録を終了します。

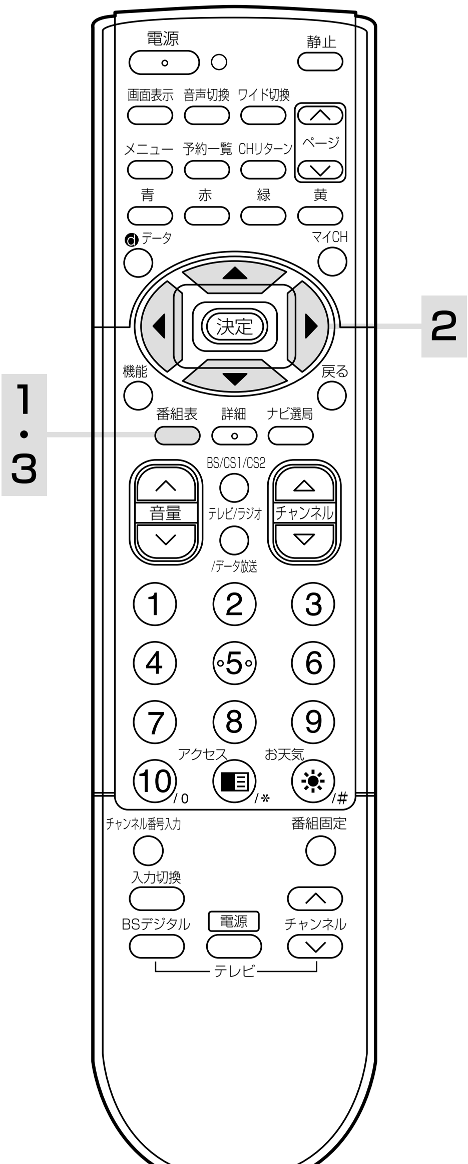


お知らせ

登録チャンネルを変更するときは、一度削除してから登録を行ってください。

番組表から選ぶ

番組表やナビ選局からいろいろな方法で番組を選ぶことができます。
テレビ、ラジオ、データ放送などサービスごとに表示します。
BS放送、CS放送の内容に切り換えることもできます。



1 番組表ボタンを押す

受信しているサービスの番組表画面が表示されます。



2 ◎ で番組を選ぶ



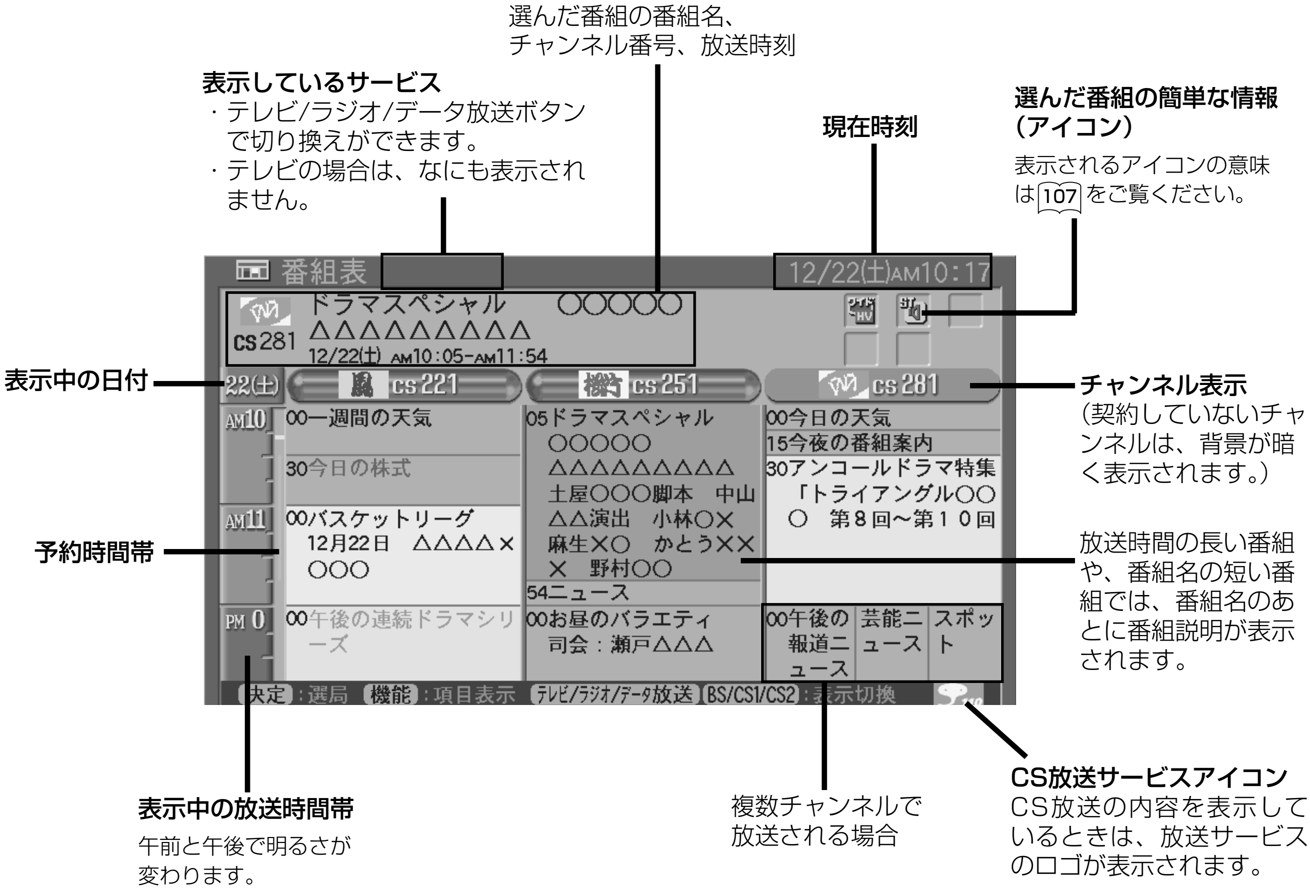
- BS/CS1/CS2ボタンで各放送サービスの内容に切り換わります。
- テレビ/ラジオ/データ放送ボタンで各サービスの内容に切り換わります。
- 放送中の番組を選び、決定ボタンを押すと選局されます。
- これから放送される番組を選び、決定ボタンを押すと、予約になります。予約の方法については 58 をご覧ください。
- 左右端から ◎ で1チャンネルごとに表示チャンネルが切り換わります。
- 上下端から ◎ で1時間ごとに、表示時間が切り換わります。
- 詳細ボタンを押すと、番組説明が表示されます。
- ページボタンを押すと表示内容を2時間単位で進めたり、戻したりできます。
- 何日か先の内容を見る場合などの便利な使い方については 68 をご覧ください。

3 番組表ボタンを押す

終了します。



●番組表の見かた

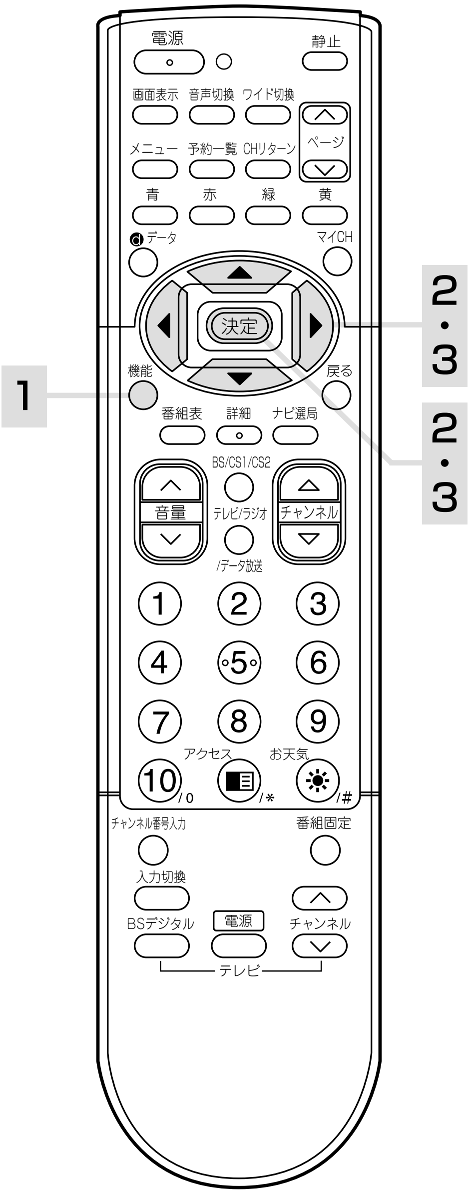


お知らせ

- ●番組情報は送られていない場合もあります。番組情報が表示されていないときは、放送中の時間でも選局できません。
- ●番組予約した番組は、番組名が青字で表示されます。
- ●録画予約した番組は、番組名が赤字で表示されます。
- ●番組間が赤く表示されている部分には、番組名を表示できない放送時間の短い番組が存在します。
- ●テレビ放送の場合、NHK BS1・BS2・ハイビジョンはそれぞれ別のチャンネルとしてチャンネル番号表示されますが、BS日テレやWOWOWなどは1番小さいチャンネル番号だけが表示されます。（表示方法を変更することはできません。）
- ●現在時刻より数時間前までの番組を表示することができます。
- ●チャンネル設定 87 で「スキップ」をチェックマークにしたチャンネルは表示されません。
- ●CS放送の内容を表示しているときは、映像と音声がでないことがあります。

番組表の便利な使いかた

番組表を便利に使うための設定や機能を選択することができます。



何日か先の内容を見る

番組表画面 66 を表示させます。

1 機能ボタンを押す

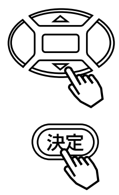
機能メニュー画面が表示されます。





2 で「日付」を選び、決定ボタンを押す

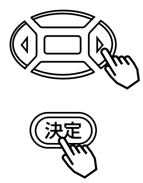
選択できる「日付」が表示されます。





3 で見たい日付を選び、決定ボタンを押す

選択した日付の内容が表示されます。





その他の便利な機能

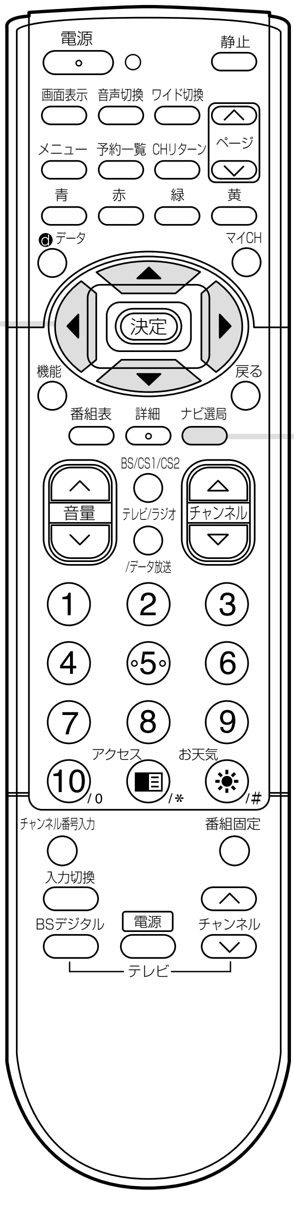
現在時刻へ	現在時刻からの表示に戻ります。
ジャンル色分け	スポーツ（薄い黄色）・映画（薄い黄緑）・ドラマ（薄い水色）を色分けして表示するかを切り換えることができます。
子画面表示	右上に子画面状態で受信中の番組の映像を表示します。 チャンネルボタンなどで表示を切り換えることはできません。
番組説明	選択中の番組の詳細を表示します。（詳細ボタンを押した場合と同じです。）
予約一覧	予約一覧画面を表示します。（予約一覧ボタンを押した場合と同じです。）

お知らせ

- ラジオやデータ放送の番組では、子画面表示にならないことがあります。また、子画面表示の設定もできません。
- テレビ番組に連動したデータ放送の場合、番組表を表示すると、データ放送画面の一部または全てが表示されなくなることがあります。

ナビ選局から選ぶ

放送中の番組と次に放送される番組、あらかじめ設定したキーワードやジャンルが含まれる番組を表示します。
テレビ、ラジオ、データ放送などサービスごとに表示します。



2

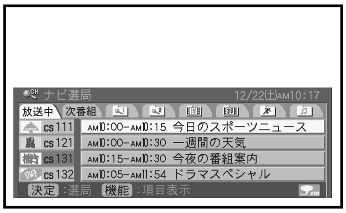
1・3

1 ナビ選局ボタンを押す

ナビ選局画面が表示されます。



2 で番組を選ぶ



- ・表示されているチャンネルは、受信している放送サービスごとになります。他の放送サービスのチャンネルを表示したいときは、BS/CS1/CS2ボタンで受信する放送サービスを切り換えてから行ってください。
- ・テレビ/ラジオ/データ放送ボタンで各サービスの内容に切り換わります。
- ・放送中の番組を選び、決定ボタンを押すと選局されます。
- ・これから放送される番組を選び、決定ボタンを押すと予約になります。
- ・上下端から で1チャンネルごとに表示チャンネルが切り換わります。
- ・ で放送中、次番組、キーワード検索、マイジャンル検索に表示を切り換えることができます。
- ・詳細ボタンを押すと、番組説明が表示されます。
- ・ページボタンを押すと、4チャンネルごとに表示を切り換えることができます。

3 ナビ選局ボタンを押す

終了します。



●ナビ選局の見かた

表示しているサービス
・テレビ/ラジオ/データ放送ボタンで切り換えができます。
・テレビの場合は、なにも表示されません。



現在時刻

チャンネル表示
(契約していないチャンネルは、背景が暗く表示されます。)

CS放送サービスアイコン
CS放送の内容を表示しているときは、放送サービスのロゴが表示されます。

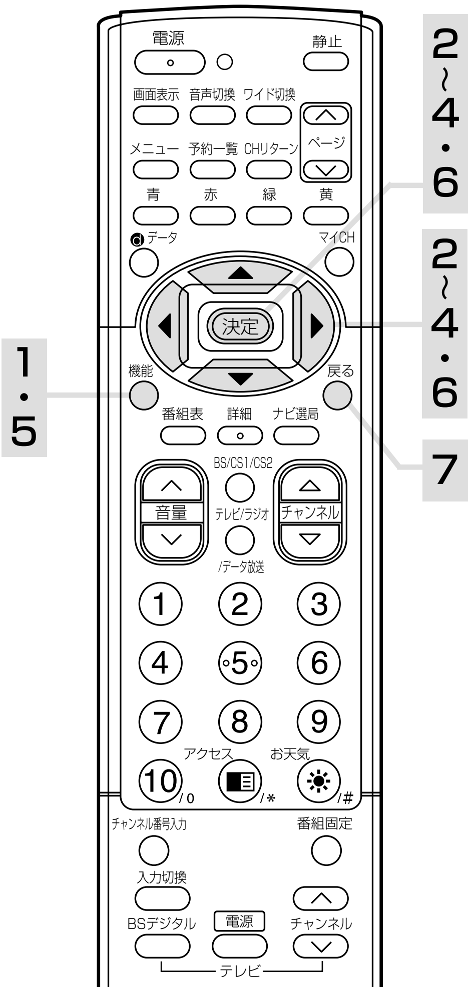
表示タグ
・ 放 送 中 ： 現在放送されている番組
・ 次 番 組 ： 次に放送される番組
・ (キーワード1)、(キーワード2) ： キーワード一覧 74 で登録したキーワードが番組説明に含まれる番組
(キーワード検索)
・ (洋)、(邦)、(スポーツ)、(音楽) ： ジャンル設定 72 で、設定したジャンルが含まれる番組
(マイジャンル検索)

応用操作

お知らせ
●キーワードを新しく登録した後は、検索した番組がしばらく表示されません。検索が終るまで5分程度かかることがあります。登録したキーワードが含まれている番組が、表示されないこともあります。
●キーワード検索、マイジャンル検索で表示される番組には、現在時刻より数時間前までの番組が表示されることがあります。
●チャンネル設定 87 で「スキップ」をチェックマークにしたチャンネルは表示されません。

マイジャンルを設定する

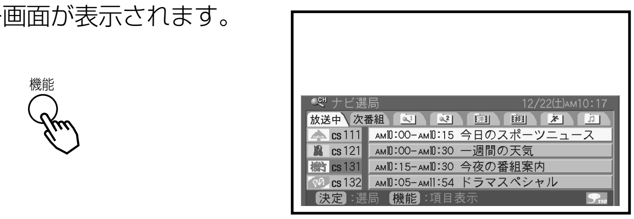
4つのマイジャンルにそれぞれ12個のジャンルを設定することができます。お買い上げ時、に洋画、に邦画、にスポーツ、に音楽が設定してあります。



ナビ選局画面 70 を表示させます。

1 機能ボタンを押す

機能メニュー画面が表示されます。



2 で「ジャンル設定」を選び、決定ボタンを押す

ジャンル設定画面が表示されます。



3 でマイジャンルを選び、決定ボタンを押す

ジャンル選択ができます。



4 でジャンル名を選び、決定ボタンを押す

選択したジャンルの略称が表示されます。



- 登録できるジャンルは12個までです。
- 設定内容を削除するときは、設定されている「ジャンル名」をもう一度選び、決定ボタンを押します。
- 他のマイジャンルを設定するときは、戻るボタンを押し手順3へ戻ります。

お知らせ

メインジャンルのジャンル名を選択した場合、サブジャンルを全て選択したのと同じことになります。略称は全選択となります。

マイジャンルアイコンを変更する

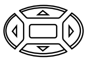
戻るボタンを押して、手順3に戻ります。

5 機能ボタンを押す

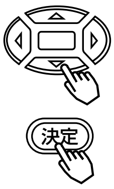
アイコン選択画面が表示されます。





6  でアイコンを選び、決定ボタンを押す

表示アイコンが変更されます。





7 戻るボタンを2回押す

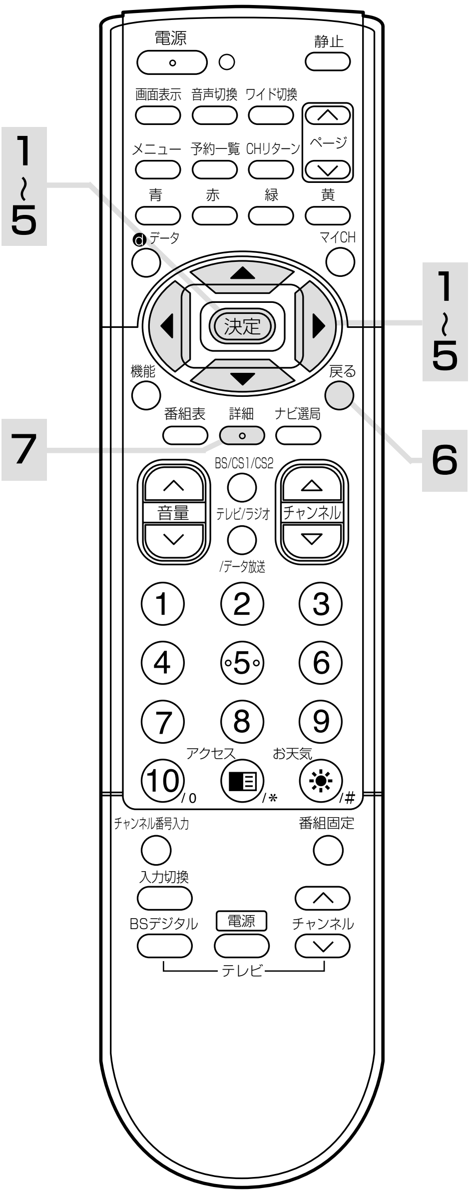
ナビ選局画面に戻ります。



応用操作

キーワードを登録する

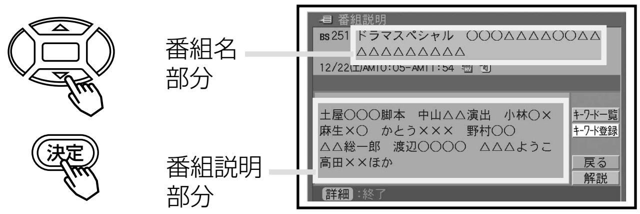
番組説明に含まれるキーワードを指定して検索することができます。キーワードは、にそれぞれ8個まで登録できます。



番組説明画面 61 を表示させます。

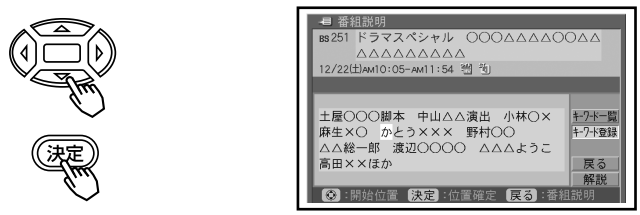
1 で「キーワード登録」を選び、決定ボタンを押す

カーソルが番組説明部分に移動します。



2 でキーワードの先頭の文字を選び、決定ボタンを押す

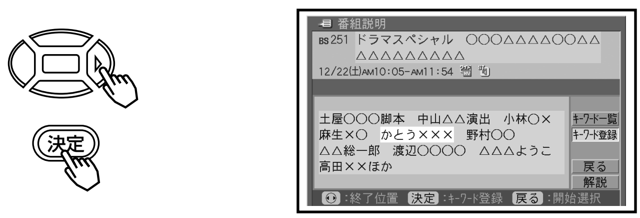
登録するキーワードの先頭が確定します。



番組名部分の文字も選択することができます。

3 でキーワードの末尾の文字を選び、決定ボタンを押す

キーワード一覧画面が表示されます。



・キーワードの先頭を変えるときは、戻るボタンを押します。
・先頭の文字より左側にある文字を選択することはできません。
・末尾の位置はで修正することができます。

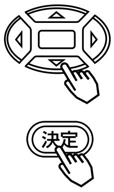
お知らせ

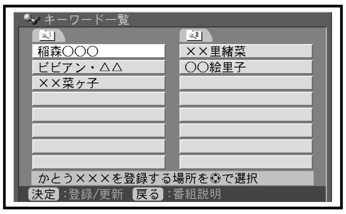
●それぞれのタグに登録してあるキーワードのいずれかが含まれている番組が検索されます。

●登録できるキーワードは、全角で10文字までです。

4 で登録する場所を選び、決定ボタンを押す

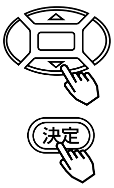
登録確認が表示されます。





5 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

キーワードが登録されます。





6 戻るボタンを押す

番組説明画面が表示されます。

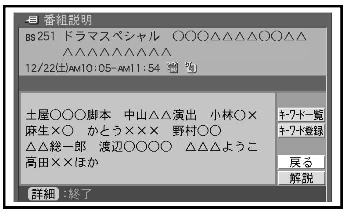




7 詳細ボタンを押す

終了します。

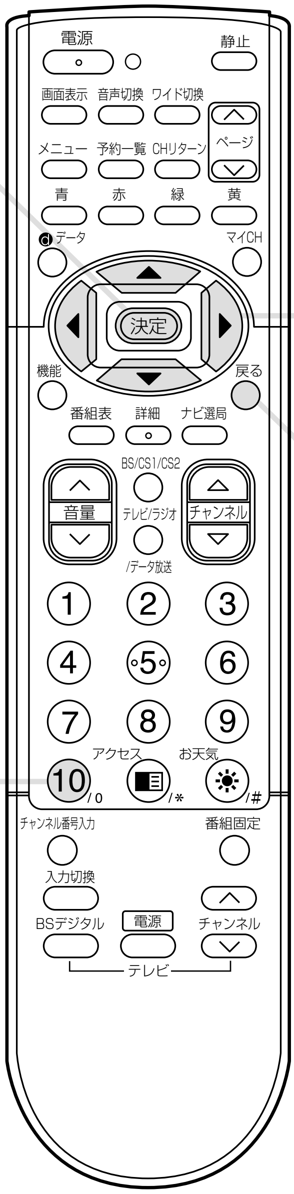




応用操作

キーワードを削除する

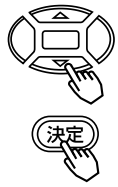
登録したキーワードを確認し、削除ができます。

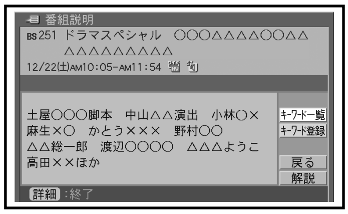


番組説明画面 61 を表示させます。

1 で「キーワード一覧」を選び、決定ボタンを押す

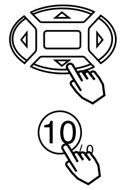
キーワード一覧画面が表示されます。





2 で削除するキーワードを選び、10/0ボタンを押す

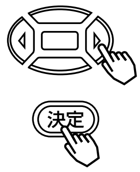
変更確認が表示されます。





3 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

キーワードが削除されます。





4 戻るボタンを押す

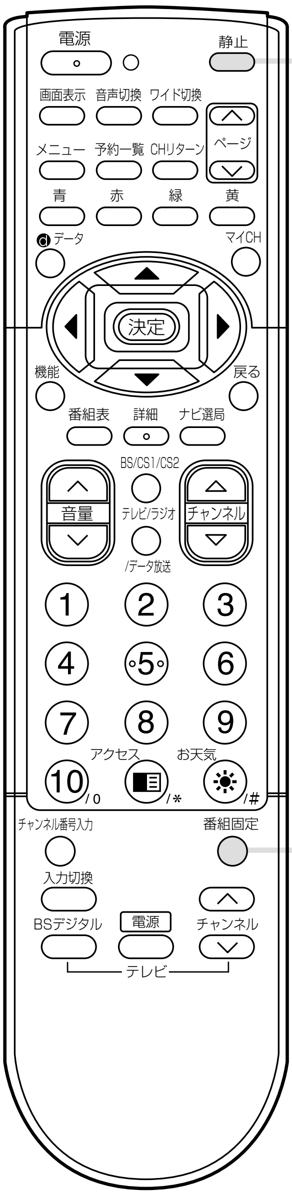
番組説明画面が表示されます。





その他の機能

テレビ放送の映像を一時的に止めて見たいときに便利な静止機能や、ビデオに録画しているときに、間違えてチャンネルを切り換えないように操作を限定する番組固定機能があります。



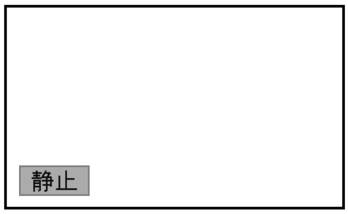
1・2

映像を止めたいとき

1 静止ボタンを押す

映像が静止します。





2 もう一度静止ボタンを押す

静止状態が解除されます。



リモコンのどのボタンを押しても、静止状態を解除できます。

1・2

ビデオに録画するとき

1 番組固定ボタンを押す

番組固定状態になります。
番組固定ボタン（本体のボタンも含む）以外の操作ができなくなります。
表示窓ライトが橙色（オレンジ）に変わり、番組固定表示が点灯します。
（他の設定の表示窓ライトの点灯が「連動」のとき 100 ）



2 もう一度番組固定ボタンを押す

番組固定状態が解除されます。



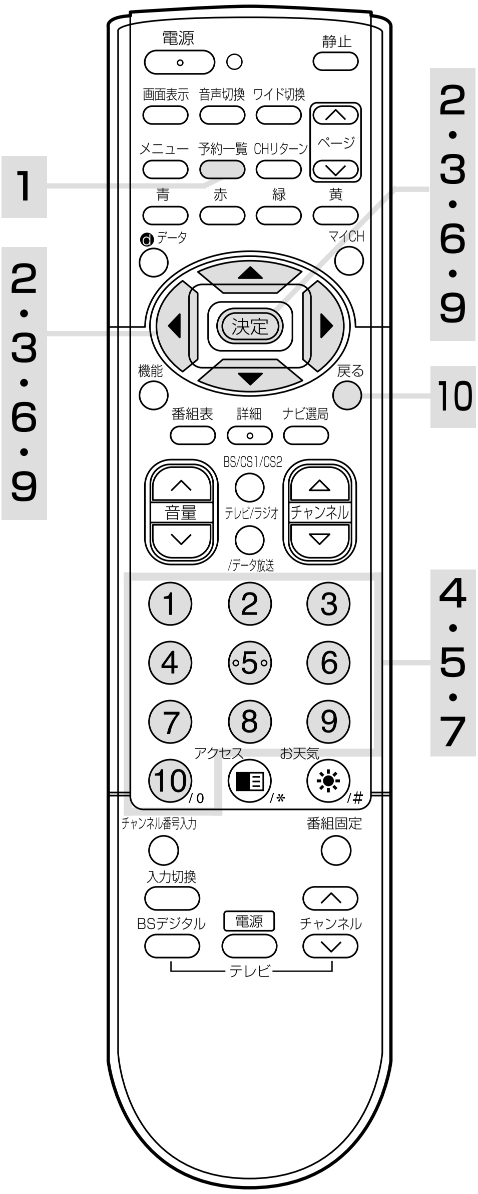
お知らせ

- データ放送で映像を縮小している時や、ラジオ放送やデータ放送の時は静止画にはできません。
- 録画予約を実行中は、番組固定状態になります。

マニュアル予約する

予約したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などを直接指定して予約します。現在より1年先までの番組を予約することができます。

重要 マニュアル予約では、ペイ・パー・ビュー番組や視聴制限の対象になる番組は、ご覧になることができません。



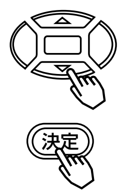
1 予約一覧ボタンを押す

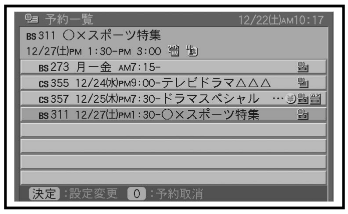


予約一覧画面が表示されます。

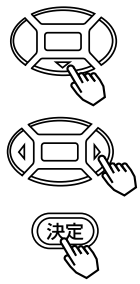
2 で登録したい番号を選び、決定ボタンを押す

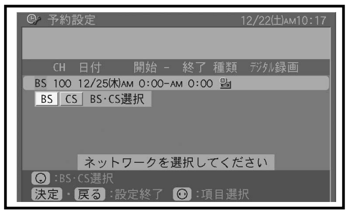
予約設定画面が表示されます。





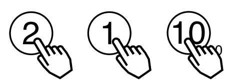
3 を押し、で「BS」または「CS」を選び、決定ボタンを押す

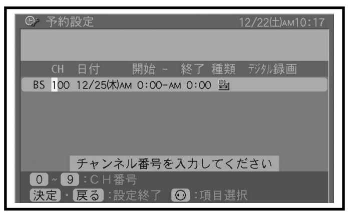




4 チャンネル番号を数字ボタンで押す

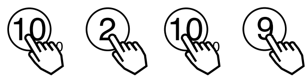
例）210チャンネルのとき

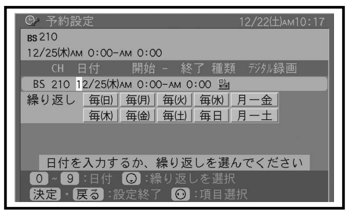




5 日付を数字ボタンで押す

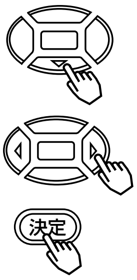
例）2月9日のとき

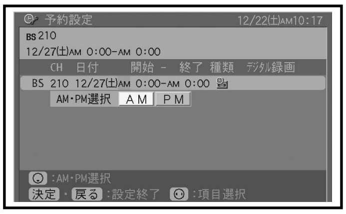




- 日付を合わせると曜日は自動的に表示されます。
- 繰り返しを設定するときは、を押し、で選び、決定ボタンを押します。

6 を押し、で「AM」または「PM」を選び、決定ボタンを押す

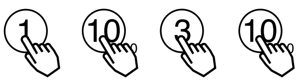


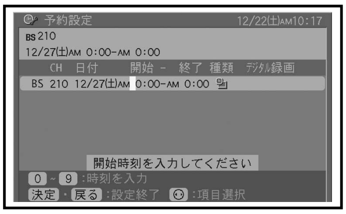


変更しない場合はを押します。

7 開始時刻を数字ボタンで押す

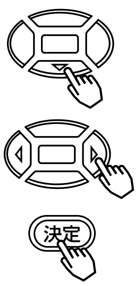
例）10時30分のとき

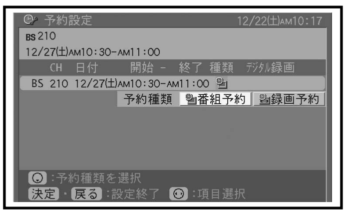




8 手順6、7と同様に終了時刻を設定する

9 を押し、で予約種類を選び、決定ボタンを押す





「番組予約」を設定すると、終了時刻の指定はできません。

10 設定が終了したら、戻るボタンを押す



予約内容を登録し、予約一覧画面に戻ります。

・本体の表示窓に「予約」と、番組予約の場合は「番」が、録画予約の場合は「録」がそれぞれ点灯します。

お知らせ

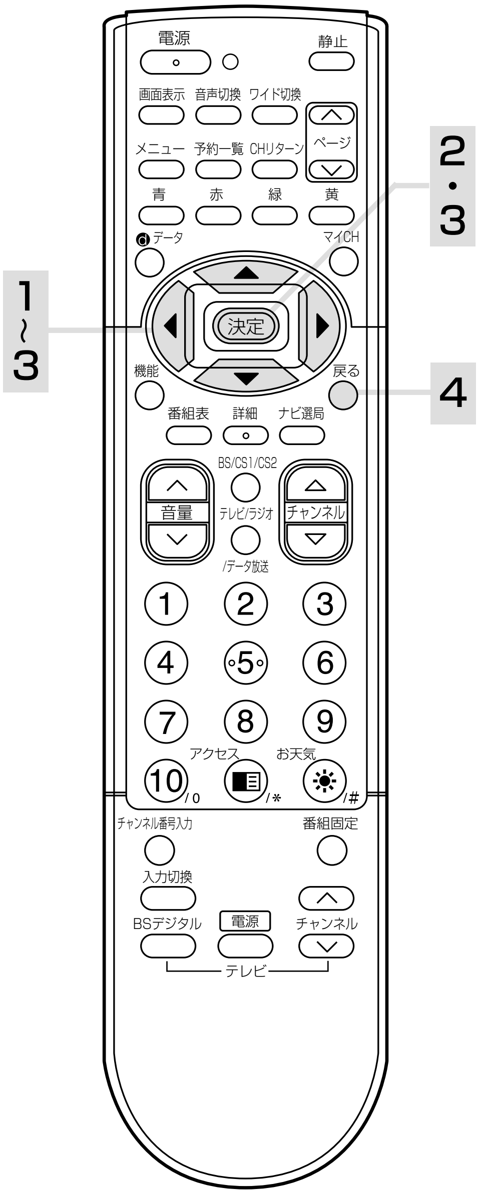
- 録画予約を設定するには、ビデオ設定する 88 、またはD-VHSビデオを登録する 85 をご覧になり、録画機器の設定をしてください。
- 予約している途中で修正するときは、ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで戻して行ってください。
- 昼の12時は「PM00:00」、夜の12時は「AM00:00」に合わせてください。
- ひとけたの数字を合わせるときは、初めに「0」ボタンを押してください。
- i.LINK接続したD-VHSの設定については 85 をご覧ください。

予約実行について

- 予約開始時刻の10秒前に、予約開始のメッセージが画面下側に表示されます。
- 録画予約の場合、開始時刻の約20秒前から番組固定状態 77 になります。
- 録画予約実行中に番組固定ボタンを押すと、予約が解除されます。予約を解除しても、ビデオは録画状態のままで終了時刻になっても停止しません。
- 電源スタンバイ状態から予約実行される場合、開始時刻の約20秒前に電源が入ります。番組終了後、電源スタンバイ状態に戻ります。
- 録画予約した番組が登録してある場合、i.LINK待機を「しない」に設定していても、「する」と同じ動作になります。
- 録画予約の場合、接続しているビデオによっては、開始と終了部分が数秒録画できない場合があります。

マニュアル予約する（つづき）

i.LINK接続したD-VHSビデオで録画予約する場合、操作パネルに登録した機器を選択することができます。

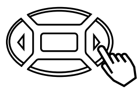


D-VHSビデオを選択する

予約設定画面 78 を表示させます。

1 でデジタル録画の項目を選ぶ

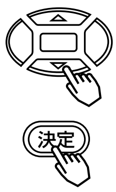
録画機器が表示されます。





2 で使用する機器を選び、決定ボタンを押す

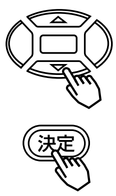
録画機器が設定されます。





3 で録画モードを選び、決定ボタンを押す

録画モードが設定されます。





番組を選んで予約した場合、録画モードの設定はできません。

4 設定が終了したら、戻るボタンを押す

予約内容を登録し、予約一覧画面に戻ります。



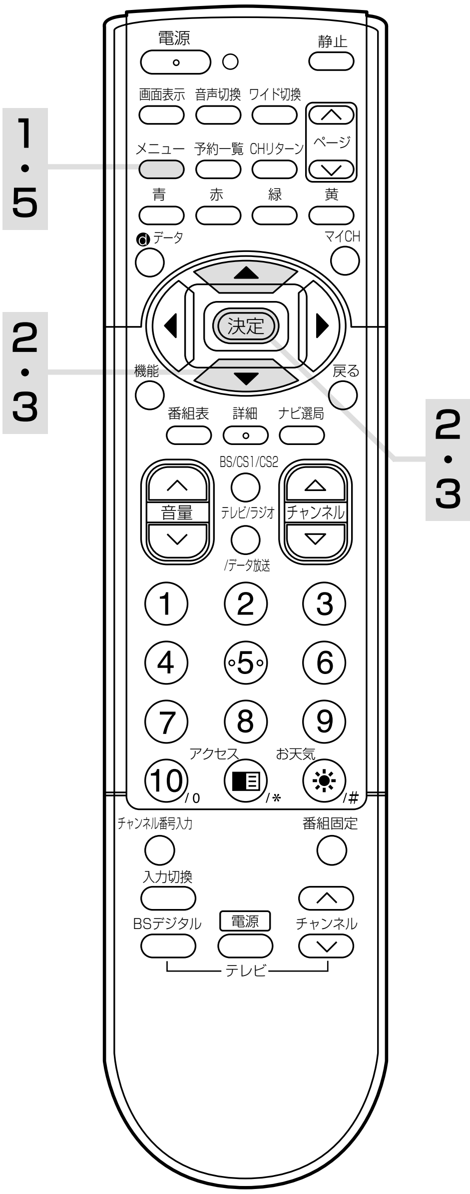
お知らせ

- アナログ録画する場合は、録画機器の「なし」を設定してください。
- 予約実行時にi.LINK接続した他の機器で録画していた場合、録画予約は実行されません。
- マニュアル予約した場合、録画モードの設定が正しくないと録画できない場合があります。

メール・ボードを見る

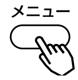
メールは放送局からお客さまへ送られるメッセージです。内容を見ていないメールがあるときは、本体の表示窓に✉が点灯します。メールには、電話回線の接続異常やソフトウェアを書き換えるためのダウンロード情報など、重要なものもあります。メール内容は必ず確認してください。
ボードは、CS放送での「放送局からのお知らせ」です。メールと同じ操作でご覧になれます。

お守りください
B-CASカードが挿入されていないとメールは受信できません。



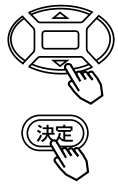
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



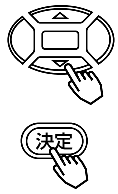
2 ◎で「メール・ボード」を選び、決定ボタンを押す

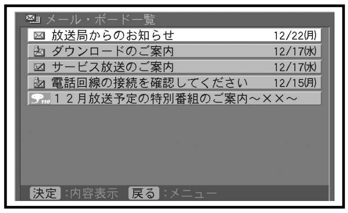
メール一覧画面が表示されます。





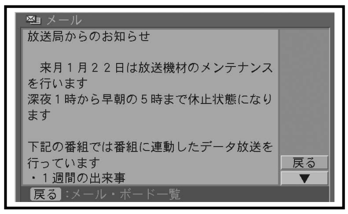
3 ◎で見たい項目を選び、決定ボタンを押す





・メールの種類については 107 をご覧ください。
・ボードの場合は、CS放送サービスのロゴが表示されます。

4 内容を確認する



続きの内容を見るときは、［▼］を選び、決定ボタンを押します。

5 メニューボタンを2回押す

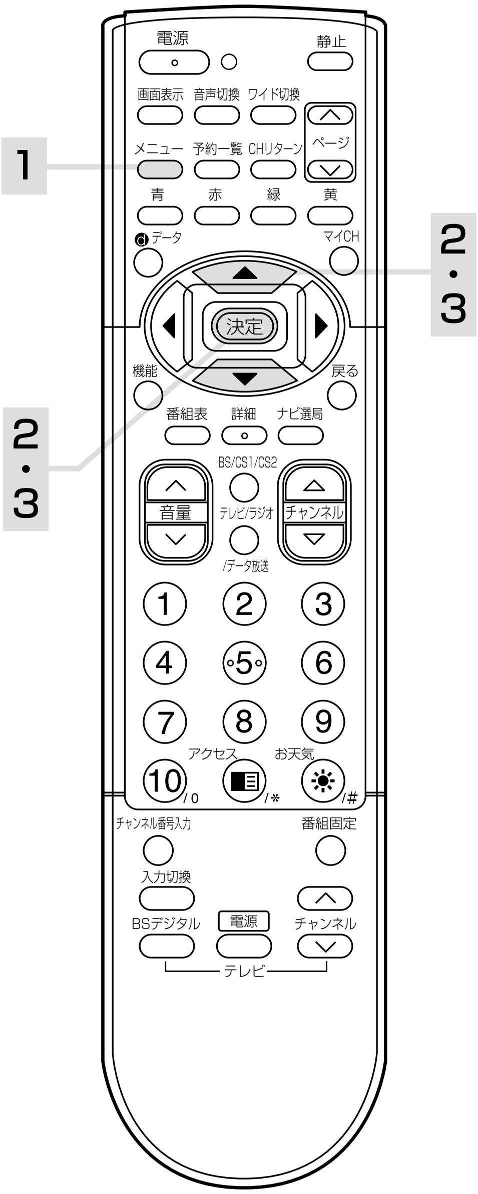
終了します。



お知らせ
放送局から送られてくるメールは24通まで記録されます。24通を超えた場合、古いメールから自動的に削除されます。

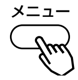
D-VHSビデオを操作する

i.LINKケーブルでつないだi.LINK対応D-VHSビデオを本機で操作したり、映像や音声などのデータをやりとりするには、必ず操作したい機器をリンクしてください。



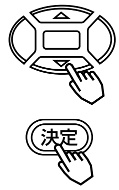
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 （上下ボタン）で「操作パネル」を選び、決定ボタンを押す

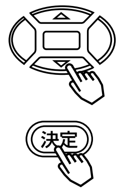
操作パネル画面が表示されます。





3 （上下ボタン）で操作したい機器を選び、決定ボタンを押す

接続名の前に✔が表示され、本体前面の表示窓にリンク表示が点灯します。





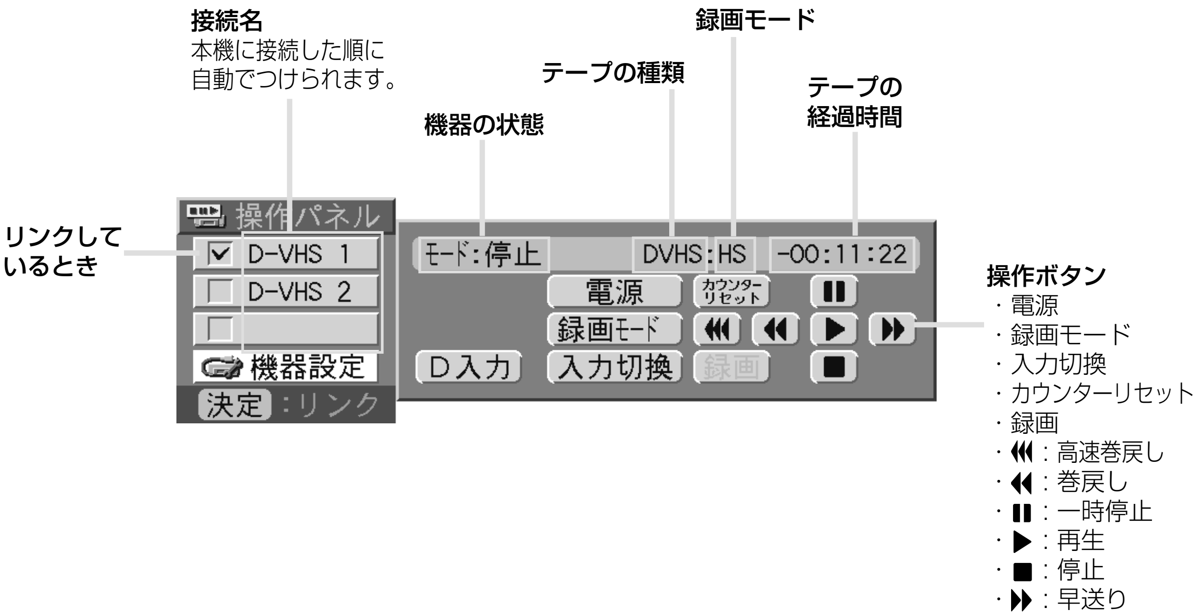
- ●登録した機器が3台までのときは、自動的に操作パネルに登録されます。操作パネルに表示される名称（接続名）は、本機に接続した順に自動でつけられます。
- ●操作パネルに表示されている機器がリンクできない場合、機器設定画面 85 で実際に接続されているかをご確認ください。

お知らせ

3台以上の機器が接続されている状態でも、機器設定画面 85 で操作パネルへの登録を解除していて、登録台数が3台に満たないときは、新たに接続した機器が自動的に登録されます。

●操作パネルの見かた

操作ボタンは で選び、決定ボタンを押すと、操作が始まります。

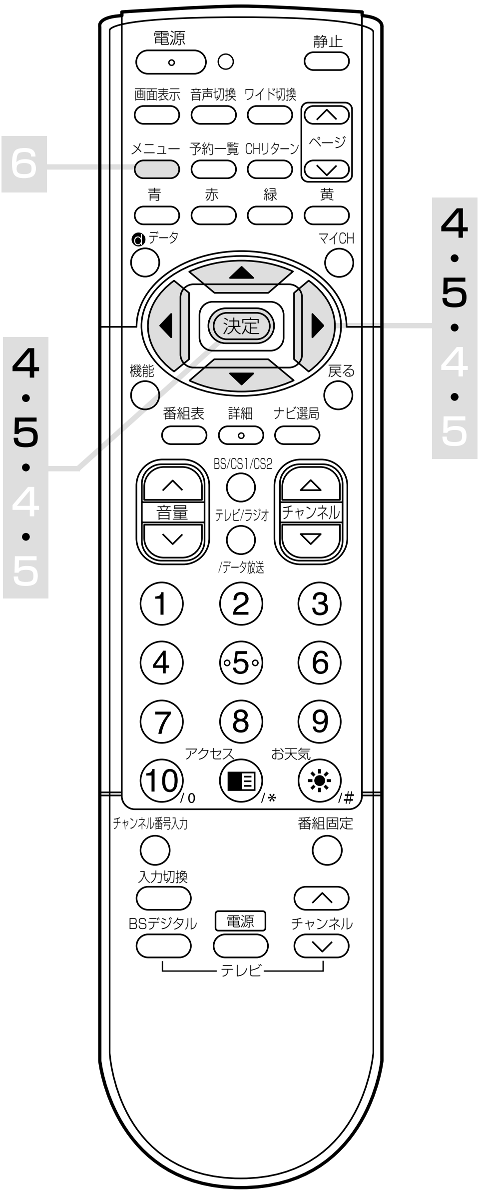


応用操作

お知らせ

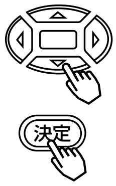
●接続する機器によっては、接続する機器の電源が入っていないと正しく接続できない場合があります。そのような時は、接続機器の電源を入れてから接続してください。
●リンクしている機器が再生中の場合は、録画モードを変更することはできません。
●操作ボタンを選んで決定ボタンを押してから、実際に表示が変わるまでに数秒かかる場合があります。
●操作ボタンを使用して操作する場合と、ビデオのリモコンで操作する場合とで、動作が異なる場合があります。
●デジタル録画モード（HS／STDなど）以外の録画モード（標準／3倍など）は＊＊＊と表示されます。
●登録機器がないときは、操作ボタンなどが表示されている部分は表示されません。
●リンクしている機器がないときは、操作ボタンなどは選択できません。操作したい機器は、必ずリンクしてください。
●リンクしているD-VHSビデオを、ビデオのリモコンなどで直接操作した場合、操作内容に応じて表示が変わります。ただし、操作パネルにないものは、正しく機器の状態が表示されないことがあります。
●録画モードはリンクしている機器が再生中のときは、テープに録画された録画モードを示し、停止や録画中などの場合は、録画時に使用する録画モードを示します。
●高速巻戻しは、接続するビデオによっては、操作できない場合があります。
●本機で設定できるi.LINK対応機器は、D-VHSビデオ3台です。
●リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。
●リンクしていない機器を操作することはできません。
●操作する機器の取扱説明書をよくお読みください。

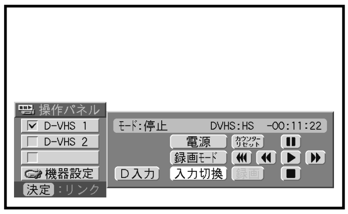
D-VHSビデオを操作する（つづき）



録画する場合

4 で「入力切換」を選び、決定ボタンを押す

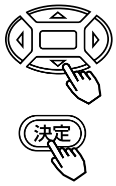




録画したい番組に合わせて、録画モードを選択してください。

5 で「録画」を選び、決定ボタンを押す

録画が開始されます。

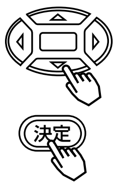




録画した番組を見る場合

4 で「D入力」を選び、決定ボタンを押す

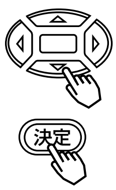
表示窓のチャンネル番号表示が「d」と表示されます。





5 で「▶」を選び、決定ボタンを押す

録画した番組が再生されます。





6 メニューボタンを2回押す

操作パネル画面が終了します。

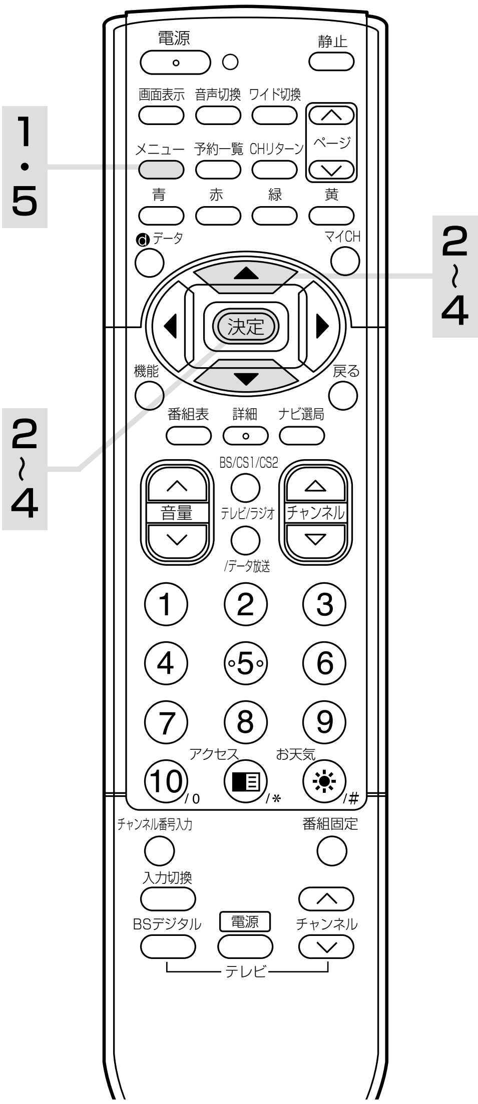


お知らせ

リンクしている機器が、本機からの信号を録画できる状態になっているかは、D-VHSビデオの取扱説明書をご確認ください。

D-VHSビデオを登録する

i.LINK対応D-VHSビデオを操作したり、録画予約を行うには操作パネルに登録されている必要があります。登録できるi.LINK対応D-VHSビデオは3台です。（操作する場合はリンクする必要があります。）



お知らせ

- メーカー名や機種名が表示されないときや正しく接続できないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続した機器によってはメーカー名や機種名を表示できないときがあります。
- リンクしている機器は解除できません。
- 前に接続したことがある機器は、接続していない場合、背景が暗く表示されます。
- D-VHSビデオ以外は表示されません。
- 機器設定に表示されるD-VHSは7台までです。

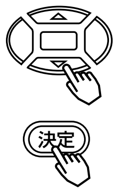
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「操作パネル」を選び、決定ボタンを押す

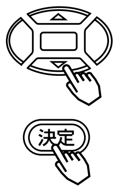
操作パネル画面が表示されます。





3 で「機器設定」を選び、決定ボタンを押す

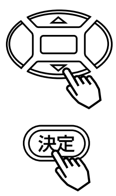
機器設定画面が表示されます。

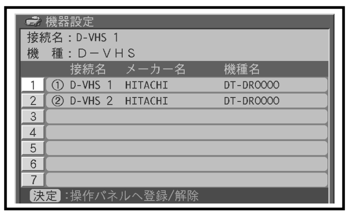




4 で番号を選び、決定ボタンを押す

操作パネルに登録されます。





・操作パネルに登録されている機器には①～③が表示されます。
・リンク中の機器には、 が表示されます。
・登録されている機器を選び、決定ボタンを押すと、登録解除され数字が消えます。
・3台登録されているときは、4台目は登録できません。登録されている機器を、解除すれば登録できます。

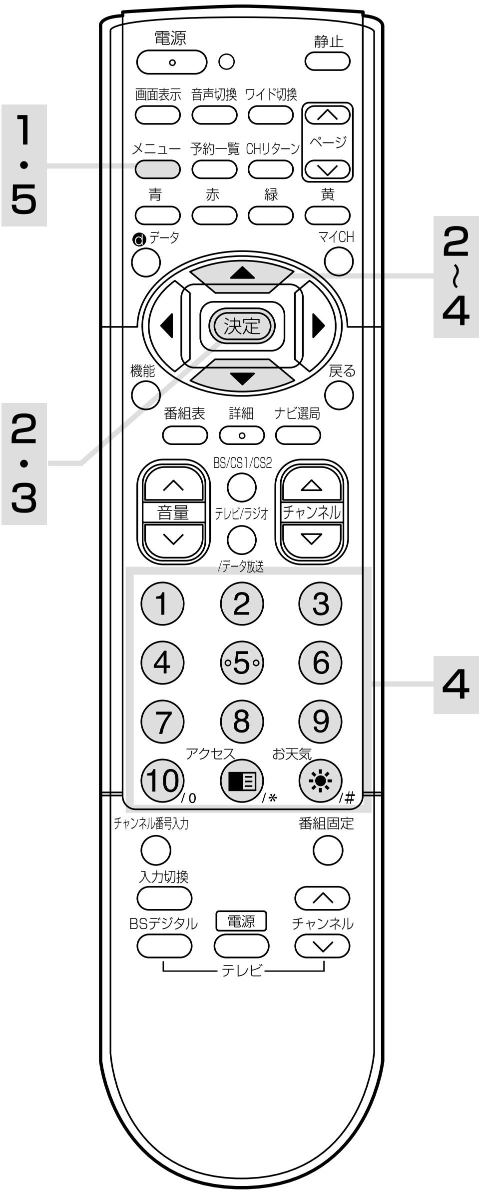
5 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。



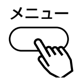
ワンタッチ選局を設定する

数字ボタンで選局するチャンネルをお好みのチャンネルに設定することができます。



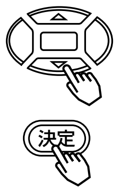
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 ◎で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

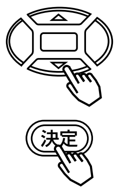
初期設定のメニュー画面が表示されます。





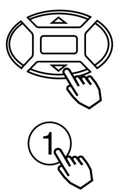
3 ◎で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル設定画面が表示されます。





4 ◎でチャンネルを選び、設定するリモコンの数字ボタンを押す





変更確認が表示されますので、設定を変更するときは「はい」を選び、決定ボタンを押します。

5 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。

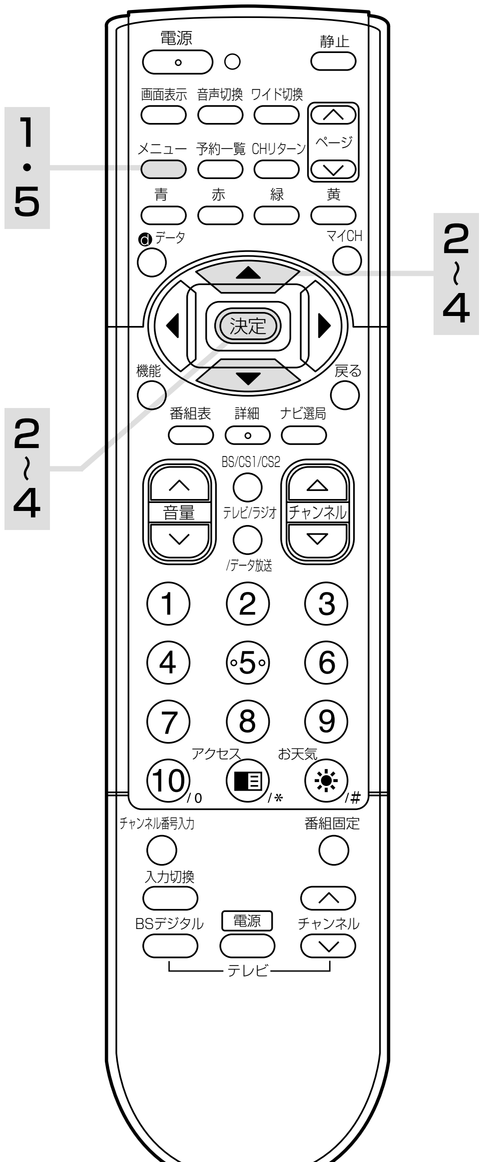


お知らせ

- すでに設定してあるリモコンの数字ボタンを押すと、前の設定は自動的に削除されます。
- 表示されているチャンネルは、受信している放送サービスごとになります。他の放送サービスのチャンネルを表示したいときは、BS/CS1/CS2ボタンで受信する放送サービスを切り換えてから行ってください。

スキップを設定する

アップダウン選局するとき、選局しないチャンネルを設定することができます。スキップ設定したチャンネルは、番組表やナビ選局の画面にも表示されません。



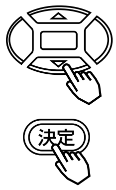
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

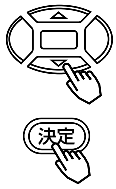
初期設定のメニュー画面が表示されます。





3 で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

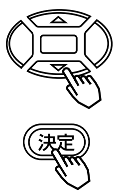
チャンネル設定画面が表示されます。





4 でチャンネルを選び、決定ボタンを押す

スキップの欄に ✔ が表示されます。





もう一度、決定ボタンを押すと設定が解除されます。

5 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。



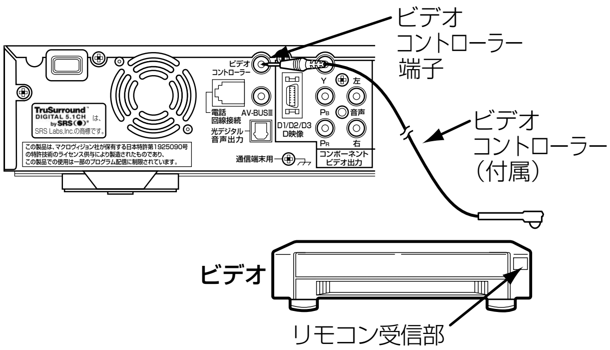
各種設定

ビデオを設定する

予約に連動して本機からビデオの録画操作をするための設定をします。
本機から行う録画操作は、登録された手順通りにビデオのリモコン信号を接続されたビデオコントローラーから送信するものです。
予約開始の1分前には、ビデオの電源を切っておく必要があります。

ビデオコントローラーを設置する

1 ビデオコントローラー（付属）のプラグを本体後面のビデオコントローラー端子に接続する

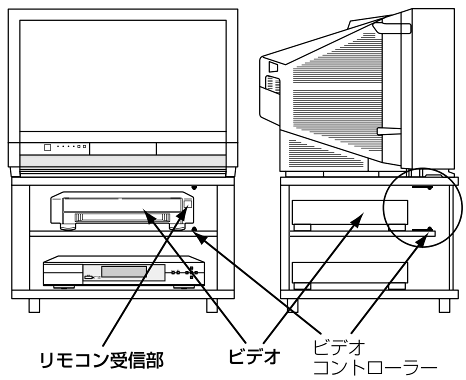


お知らせ

- 日立製ビデオをご使用になる場合、AV-BUSⅢ端子があるビデオでは、ビデオコントローラーではなくAV-BUS接続することをおすすめします。
  AV-BUS接続は、リモコン信号の影響を受けないので、安定した録画ができます。
- AV-BUSⅡ端子では、ご使用になれません。

2 ビデオコントローラーをビデオのリモコン受信部の近くに設置する

ビデオのリモコン受信部の近く（20cm以内）で、ビデオコントローラーが取り付けられそうな場所を選んで設置します。ビデオコントローラーの両面テープがついていない側の半球状の部分からリモコン信号が送信されます。

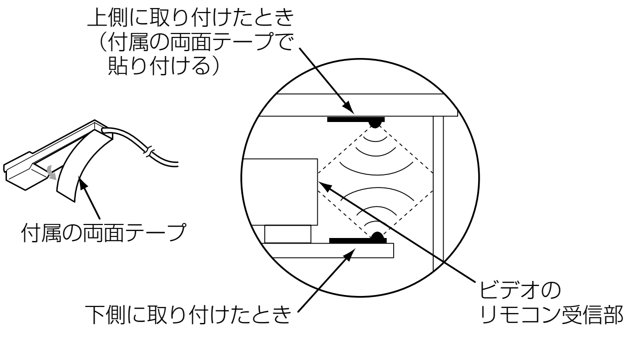


お守りください

ガラスとびらなどの開閉でビデオコントローラーにとびらが当ったり、コードを挟みこんだりしないように設置してください。

3 ビデオコントローラーを固定する

89 ～ 93 の設定と確認が終わり、ビデオが正しく動作したら、ビデオコントローラーを本体の両面テープで固定してください。（両面テープを一度貼りつけると、はがす際にテレビラックなどの表面を傷付ける場合がありますのでご注意ください。）



お守りください

ビデオコントローラーに直接日光などの強い光が当たると、動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにビデオコントローラーを設置してください。

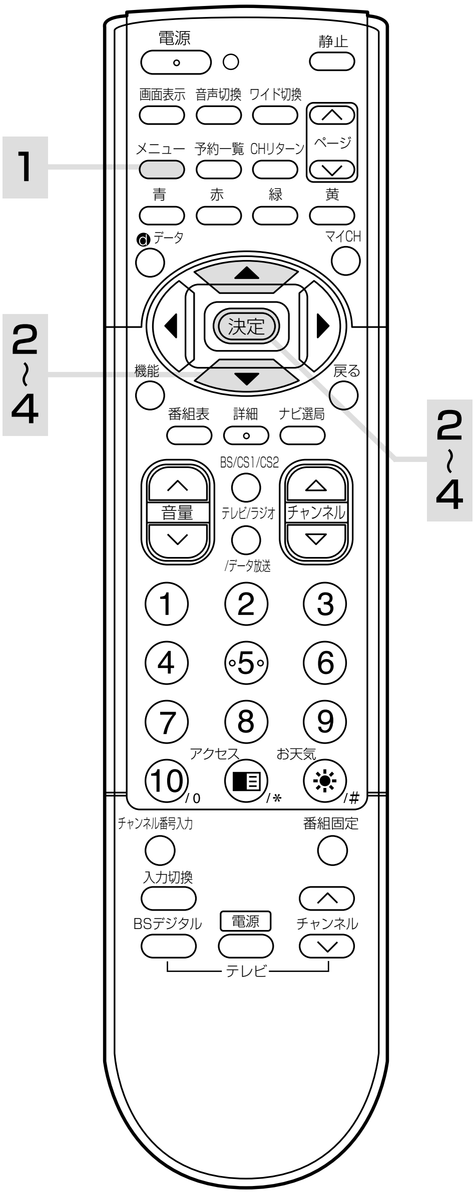
お守りください

ビデオコントローラーによる録画操作は、リモコン信号にて行っているので、録画予約が開始するときや終了するときには、本機を含め、他の機器をリモコンで操作しないでください。リモコンでの操作を行うと、ビデオコントローラーのリモコン信号と干渉して正しく動作しないことがあります。

お守りください

ビデオによって正しく動作する条件が異なります。テストをくり返し行って十分にご確認ください。特に、次のような場合も正しく動作するかご確認ください。

- ●BS内蔵ビデオで、BSチャンネルで電源を切った場合
- ●ビデオを外部入力にした状態で、電源を切った場合
- ●ビデオ本体の予約が設定されている場合、または予約実行中の場合



ビデオ設定を設定する

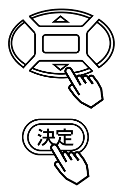
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 （カーソルボタン）で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

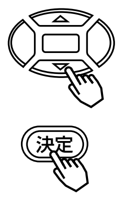
初期設定のメニュー画面が表示されます。

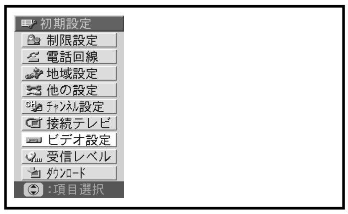




3 （カーソルボタン）で「ビデオ設定」を選び、決定ボタンを押す

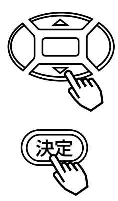
ビデオ設定画面が表示されます。

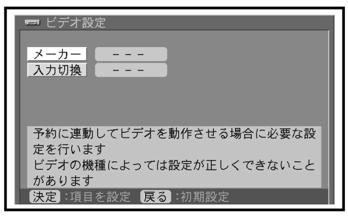




4 （カーソルボタン）で「メーカー」を選び、決定ボタンを押す

メーカー一覧が表示されます。



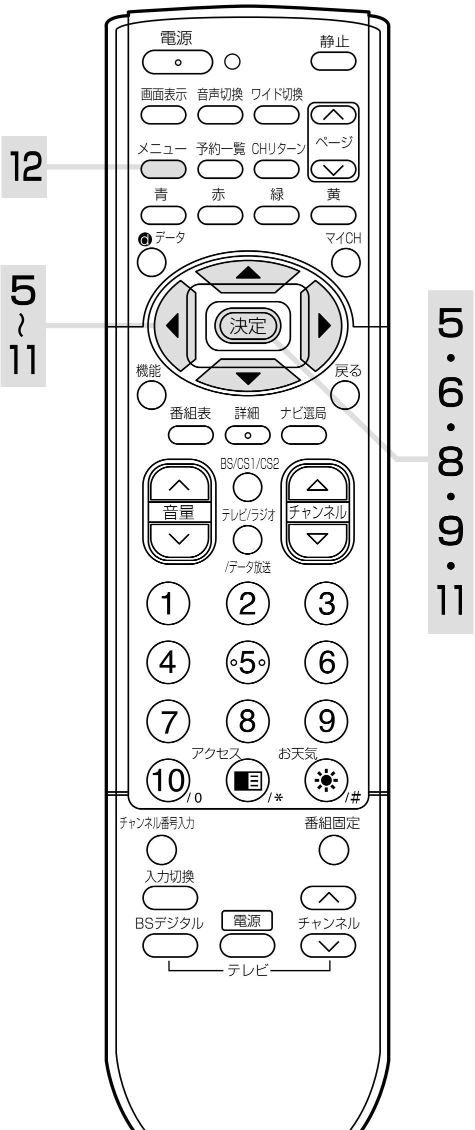


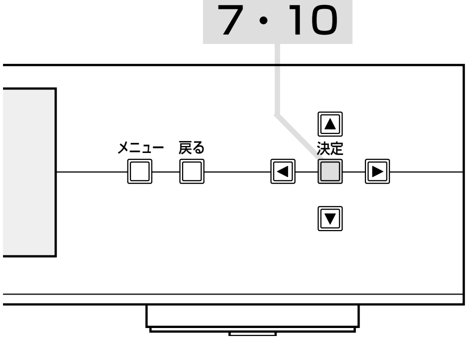
お知らせ

- ●ビデオ内蔵テレビの場合、本機からのリモコン信号で操作できない場合があります。
- ●DVDレコーダーやハードディスクレコーダーには対応していません。

次ページにつづく

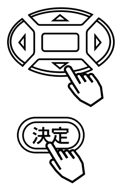
ビデオを設定する（つづき）

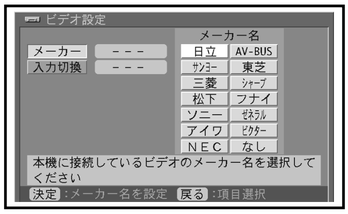




5 でビデオのメーカー名を選び、決定ボタンを押す

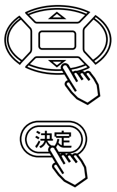
コード番号が表示されます。

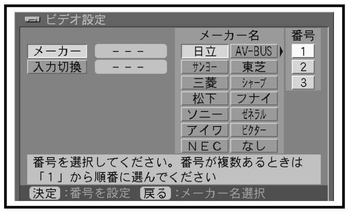




AV-BUS接続しているときは「AV-BUS」を選択します。

6 で「番号」を選び、決定ボタンを押す

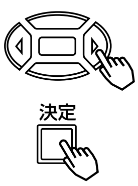


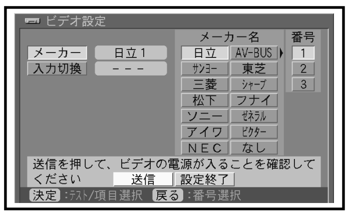


表示される番号は、メーカーによって数が変わります。番号が複数あるときは、「1」から順番に選び、正しく動作するものを設定してください。「AV-BUS」の場合は、「L1」、「L2」、「L3」から選びます。

7 で「送信」を選び、本体の決定ボタンを押す

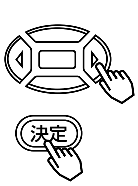
送信前にビデオの電源を切っておきます。





ビデオコントローラーから信号が1回送信されます。

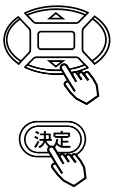
8 ビデオの電源が入ったら、 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

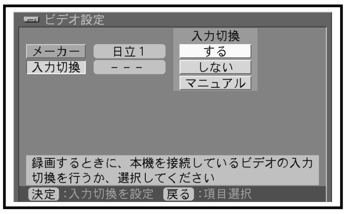




電源が入らないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。手順6に戻ります。

9 で設定する項目を選び、決定ボタンを押す





する　　　：予約を開始するときに、ビデオの入力切換をするリモコン信号を送信します。

しない　　：ビデオの入力切換をしないで、録画を始めます。予約開始前にビデオを外部入力に切り換えておいてください。

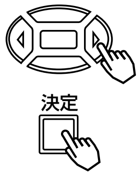
マニュアル：設定した操作手順にあるリモコン信号を送信します。
マニュアル設定する 92 をご覧ください。

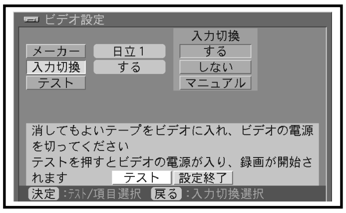
お知らせ

- ●手順6、7で電源が入らないときは、ビデオコントローラーの取り付け場所を変えて行ってみてください。何度かくり返しても電源が入らない場合は、対応できないビデオと思われますので、メニューボタンを2回押して設定を中止してください。
- ●テストでは実際に録画予約した場合に、ビデオに対して行う操作を約1分に短縮して行います。
- ●テスト中に戻るボタンでテストを中断した場合、ビデオの電源は切れません。
- ●AV-BUSを設定した場合、「マニュアル」は表示されません。

10 で「テスト」を選び、本体の決定ボタンを押す

テスト前にビデオの電源を切っておきます。



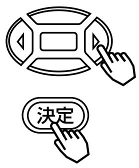


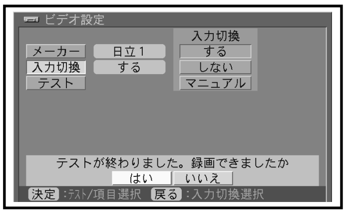
テストが開始されます。

お守りください

手順7、10で送信やテストを行うときは、本体の決定ボタンを押してください。
リモコンの決定ボタンを押すとリモコン信号が干渉して正しく動作しないことがあります。また、テスト中は他の機器のリモコン操作も行わないでください。

11 正しく録画できたら、で「はい」を選び、決定ボタンを押す





正しく録画できないときは、「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。手順9に戻ります。

12 メニューボタンを2回押す

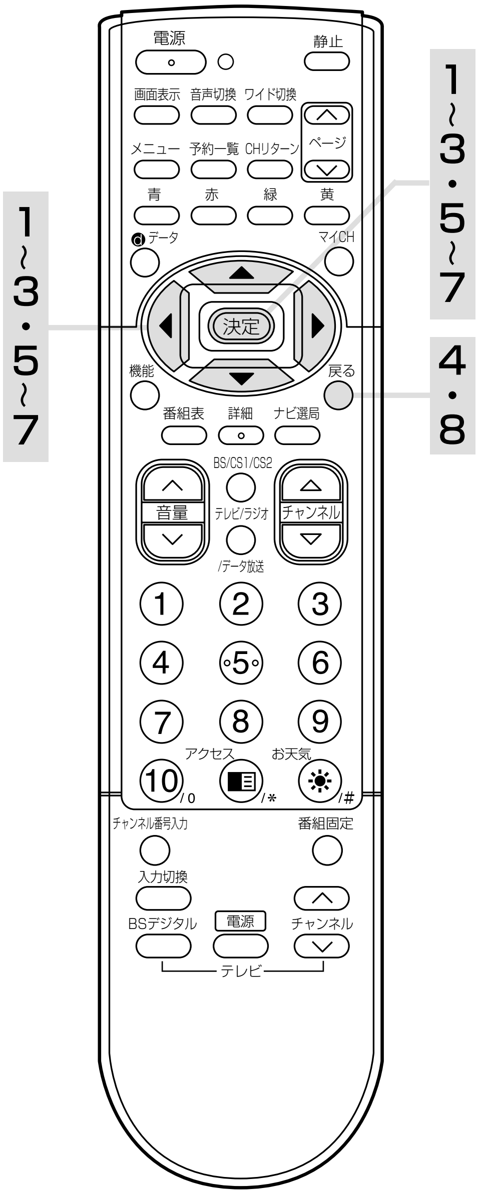
設定を終了します。



各種設定

ビデオを設定する（つづき）

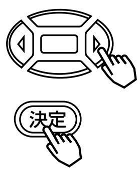
入力切換「する」の設定で、ビデオの入力切換がうまく切り換えられない場合は、マニュアル設定することもできます。
予約を開始・終了するときの操作手順を設定することができます。
ここでは、テレビの1chからチャンネルダウンすると外部入力に切り換わるビデオを例に説明します。



マニュアル設定する

1 で「開始」を選び、決定ボタンを押す

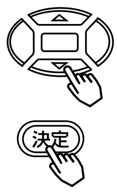
操作手順の番号が選択できるようになります。





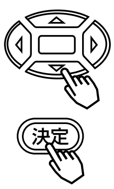
2 で「1」を選び、決定ボタンを押す

操作内容が選択できるようになります。





3 で「0」を選び、決定ボタンを押す





設定した操作手順を取り消すときは、「番号」を選び、⑩ボタンを押します。

4 手順2、3をくり返して、例にある操作手順を設定したら、戻るボタンを押す

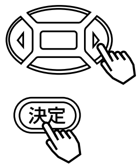


例）



5 で「終了」を選び、決定ボタンを押す

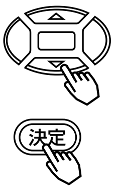
操作手順の番号が選択できるようになります。





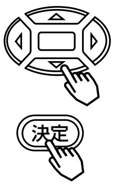
6 で「1」を選び、決定ボタンを押す

操作内容が選択できるようになります。





7 で「停止」を選び、決定ボタンを押す





8 戻るボタンを2回押す





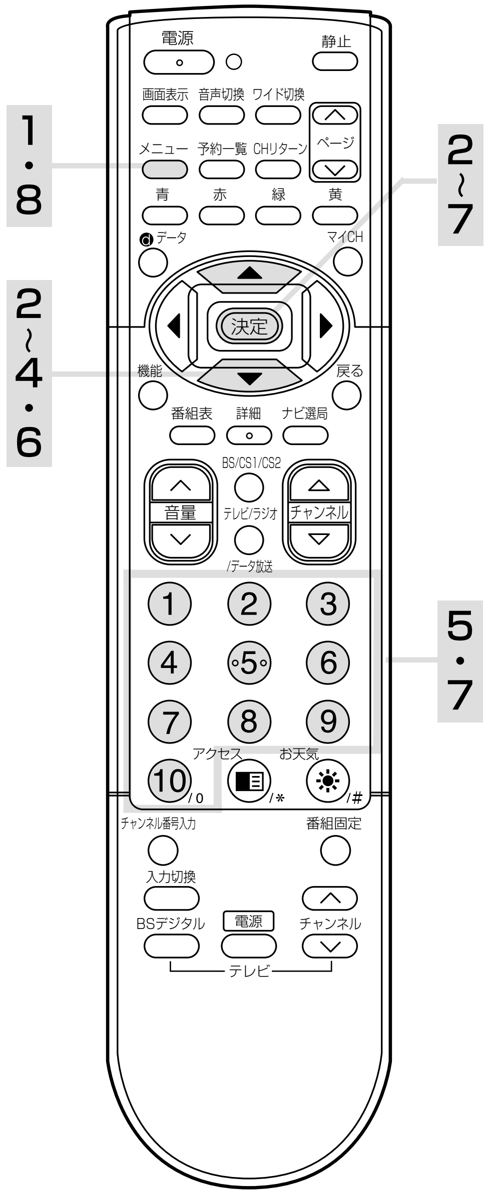
83 の手順10に戻ります。

お知らせ

- 操作内容の信号に対してビデオがどのような動作をするかは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。
- マニュアル設定内容について
  「0」、「1」と送信しなくても1chが選局できるときは、「0」を設定する必要はありません。
  1chにチャンネルを設定していない場合、外部入力に切り換わる前のch番号を設定してください。
  操作手順に登録したリモコン信号を、ビデオが受信していない場合は登録したいリモコン信号の前に「※」を設定すると受信できる場合があります。「※」を設定すると操作に間隔があけられます。
- マニュアル設定の場合、電源のリモコン信号は、開始20秒前と終了10秒後に自動で送信されますが、録画、停止は自動で送信されないので、設定する必要があります。
  終了に設定した内容よっては、10秒より後に電源のリモコン信号が送られることがあります。
- ビデオによっては、マニュアル設定を行っても、入力切換が正しく動作しないことがあります。その場合は、入力切換を「しない」にしてご使用ください。
- 1台のビデオにアナログ録画とデジタル録画の両方を設定した場合、正しく動作しないことがあります。

地域設定を設定する

地域設定を行うと、設定された地域に関する緊急放送やデータ放送を受信することができます。



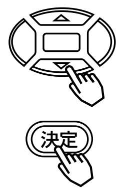
1 メニューボタンを押す



メニュー画面が表示されます。

2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

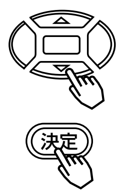
初期設定のメニュー画面が表示されます。

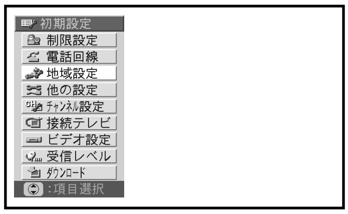




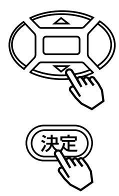
3 で「地域設定」を選び、決定ボタンを押す

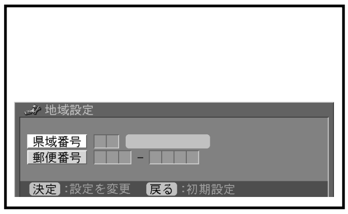
地域設定画面が表示されます。





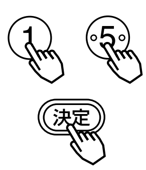
4 で「県域番号」を選び、決定ボタンを押す

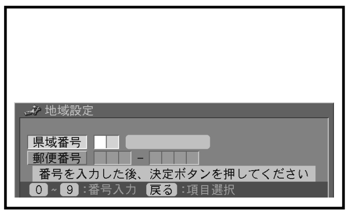




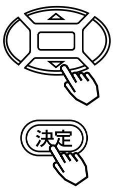
5 〔県域番号一覧表〕を参照して、県域番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

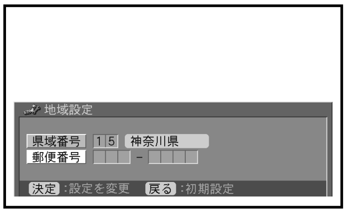
例）神奈川県





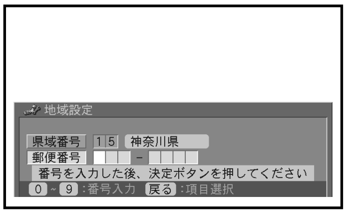
6 で「郵便番号」を選び、決定ボタンを押す





7 郵便番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す





8 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。



お知らせ

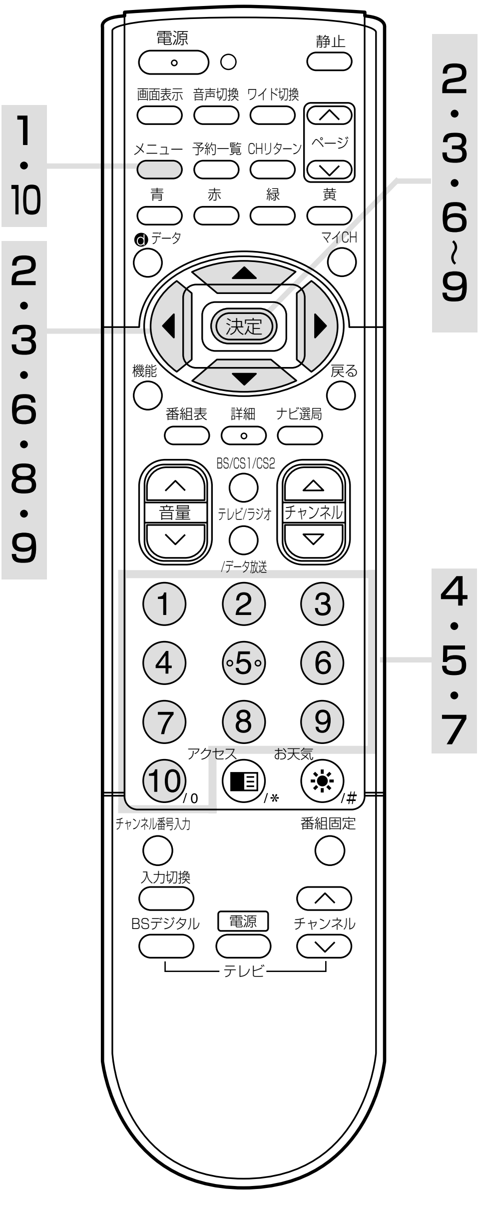
- ●県域番号、郵便番号を消去する場合は全て「0」を設定し、決定ボタンを押します。
- ●番号を入力している途中で修正するときは、ボタンをくり返し押して、修正したいところまで戻って行ってください。

〔県域番号一覧表〕

県域名	県域番号
東北海道	01
西北海道	02
青森県	03
岩手県	04
宮城県	05
秋田県	06
山形県	07
福島県	08
茨城県	09
栃木県	10
群馬県	11
埼玉県	12
千葉県	13
東京都	14
東京都島部	49
神奈川県	15
新潟県	16
富山県	17
石川県	18
福井県	19
山梨県	20
長野県	21
岐阜県	22
愛知県	24
三重県	25
静岡県	23
滋賀県	26
京都府	27
大阪府	28
兵庫県	29
奈良県	30
和歌山県	31
鳥取県	32
島根県	33
岡山県	34
香川県	38
広島県	35
山口県	36
徳島県	37
愛媛県	39
高知県	40
福岡県	41
佐賀県	42
長崎県	43
熊本県	44
大分県	45
宮崎県	46
鹿児島県	47
鹿児島県島部	50
沖縄県	48

視聴制限を設定する

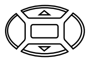
番組に対して視聴制限をかけることができます。視聴制限をご使用になるには、暗証番号の登録が必要です。視聴制限を設定すると、番組が視聴制限（年齢制限・購入上限）の対象になるときは、暗証番号を入力しないと視聴したり購入したりできません。
お買い上げ時は、視聴制限は「切」に設定されています。



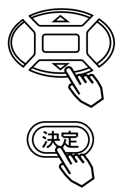
1 メニューボタンを押す



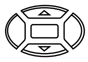
メニュー画面が表示されます。

2  で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

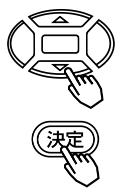
初期設定のメニュー画面が表示されます。





3  で「制限設定」を選び、決定ボタンを押す

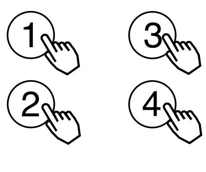
制限設定画面が表示されます。





4 設定する暗証番号を数字ボタンで押す

例：1234のとき

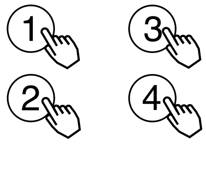




数字ボタンを押しても画面には「＊」と表示されます。

5 もう一度、暗証番号を数字ボタンで押す

視聴制限が「入」になります。

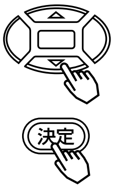


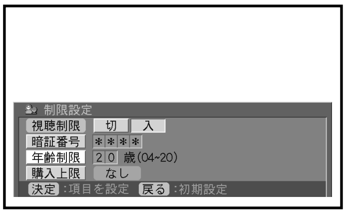


お知らせ

登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておいてください。
万一忘れてしまった場合は、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

6 で「年齢制限」を選び、決定ボタンを押す



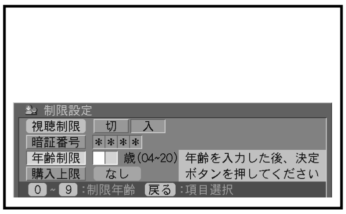


お知らせ
- 年齢制限は4～20まで1才単位に設定できます。
- 「20」に設定すると番組の対象年齢に関係なく、そのまま視聴できます。
- お買い上げ時は「20」に設定されています。
- 番号を入力している途中で修正するときは、ボタンをくり返し押して、修正したいところまで戻って行ってください。

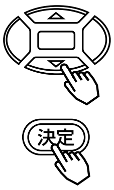
7 設定する年齢を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

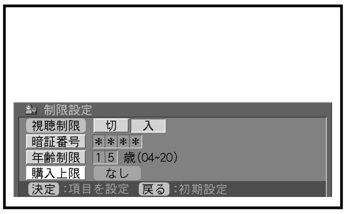
例：15のとき





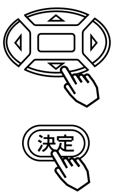
8 で「購入上限」を選び、決定ボタンを押す





お知らせ
- 購入上限は、有料番組などを購入するとき、暗証番号による確認なしに購入できる上限金額を設定するものです。
- 購入上限を「なし」に設定すると番組の料金に関係なく、そのまま購入できます。
- お買い上げ時は「なし」に設定されています。

9 で金額を選び、決定ボタンを押す





10 メニューボタンを2回押す

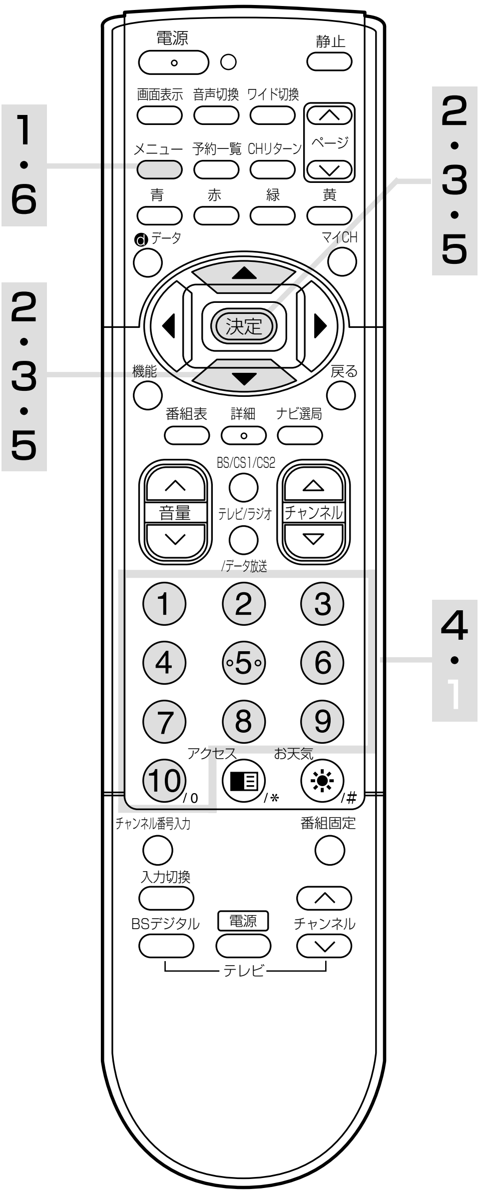
設定を終了します。



各種設定

視聴制限を変更する

視聴制限を変更するには、暗証番号の入力が必要です。



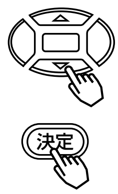
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

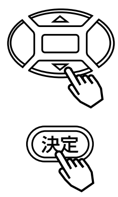
初期設定のメニュー画面が表示されます。





3 で「制限設定」を選び、決定ボタンを押す

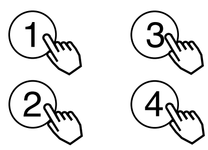
制限設定画面が表示されます。

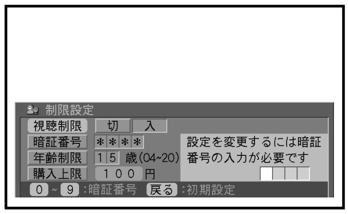




4 暗証番号を数字ボタンで押す

例：1234のとき





数字ボタンを押しても画面には「＊」と表示されます。

5 （上下左右ボタン）で変更する項目を選び、決定ボタンを押す

[96]、[97] の手順4～9に従い設定を変更します。



お知らせ

（上下左右ボタン）で「切」を選び、決定ボタンを押すと、視聴制限が解除になり、メニュー画面へ自動的に戻ります。
視聴制限を解除しても、年齢制限、購入上限の設定は保存されます。

6 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。



視聴制限の対象になる番組を選んだ場合

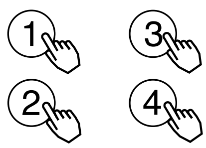
視聴制限の対象になる番組を選んだ場合、制限解除画面が表示されます。
暗証番号を入力して、視聴制限を一時的に解除する必要があります。

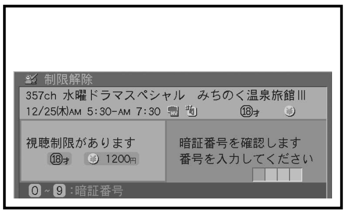
お知らせ

暗証番号を間違えると、もう一度、制限解除画面が表示されます。3回間違えると、制限解除画面は表示されません。始めから操作をやり直してください。

1 暗証番号を数字ボタンで押す

例：1234のとき



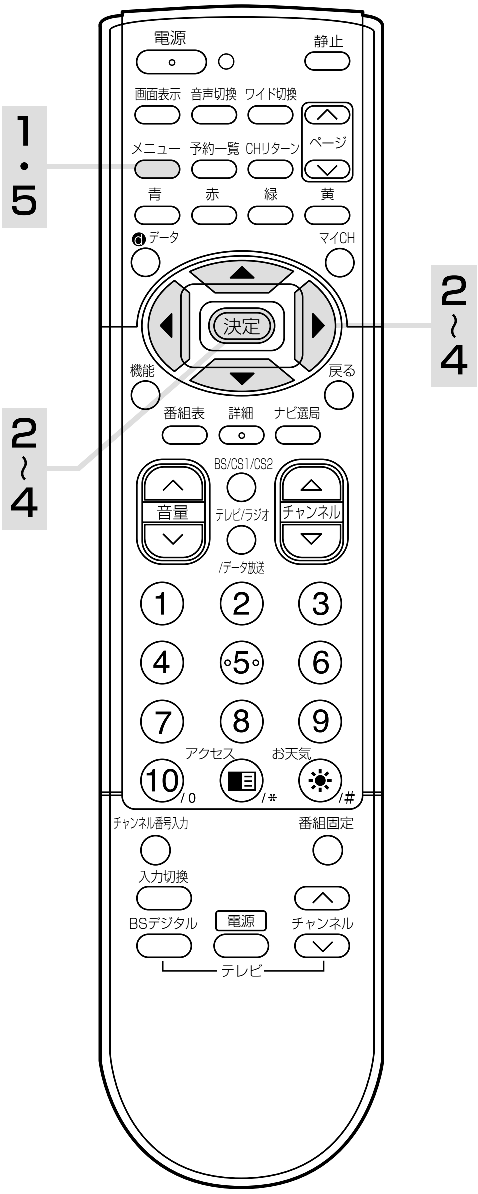


視聴制限は一時解除されますが、チャンネルを切り換えると制限状態に戻ります。

各種設定

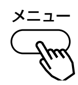
他の設定を設定する

字幕や文字スーパー、映像・音声などについて設定できます。



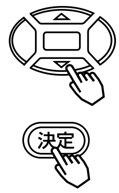
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

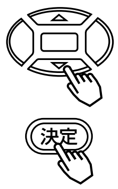
初期設定のメニュー画面が表示されます。

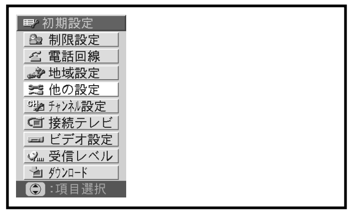




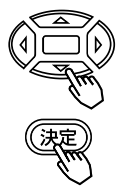
3 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

他の設定画面が表示されます。





4 で設定する項目を選び、決定ボタンを押す





5 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。



設定項目について

文字スーパー表示

する	文字スーパーを表示します。ただし、表示地域が指定されたときは、「地域設定」の県域番号に従い表示します。
しない	文字スーパーを表示しません。ただし、強制的に表示するよう指定されたときは、この設定は無効になります。

表示窓ライトの点灯

本体の表示窓ライトをどのように点灯するかを設定します。

連動	本機の電源を入れると点灯します。
しない	本機の電源を入れても点灯しません。

マルチビュー録画

i.LINK端子から出力される信号を設定します。

する	マルチビュー放送の場合、主番組と副番組が一緒に出力されます。
しない	マルチビュー放送の場合でも、ご覧になっている内容だけが出力されます。

デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子から出力される信号を設定します。

AAC	MPEG-2 AAC対応のオーディオ機器に接続する場合に設定します。
PCM	MPEG-2 AACに対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただし、サンプリングコンバーターを内蔵している必要があります。

字幕表示

日本語	日本語の字幕を表示します。
英語	英語の字幕を表示します。
しない	字幕を表示しません。ただし、強制的に表示するよう指定されたときは、この設定は無効になります。

i.LINK待機

i.LINK接続していない場合は、電源スタンバイ時に消費電力を少なくするかを設定します。

する	電源をスタンバイにすると、映像・音声などの信号は停止しますが、i.LINK接続された機器からの制御やデータの中継ができます。
しない	電源をスタンバイにすると、映像・音声などの信号は停止し、i.LINK接続された機器からの制御を受けません。ただし、データの中継はできます。

ビデオ出力画質補正

出力1と出力2の映像信号のフリッカ（テレビの走査線のちらつき）補正量を設定します。

強	補正量を弱めにして、メリハリをつけた画質に設定します。
標準	本機の標準の画質設定にします。
弱	補正量が強めのチラツキを抑えた画質に設定します。

TruSurround TruSurround DIGITAL 5.1CH by SRS(●) 出力

TruSurroundは、映画などで、より自然な臨場感で音声をお楽しみいただける機能です。

する	サラウンド効果のある音声が出力されます。
しない	サラウンド効果のない、そのままの音声が出力されます。

終了時間延長

野球中継などで放送終了時刻が延長された場合、自動的に予約終了時刻を延長します。

する	終了時刻にあわせて予約時間を延長します。
しない	予約登録した時刻で終了します。

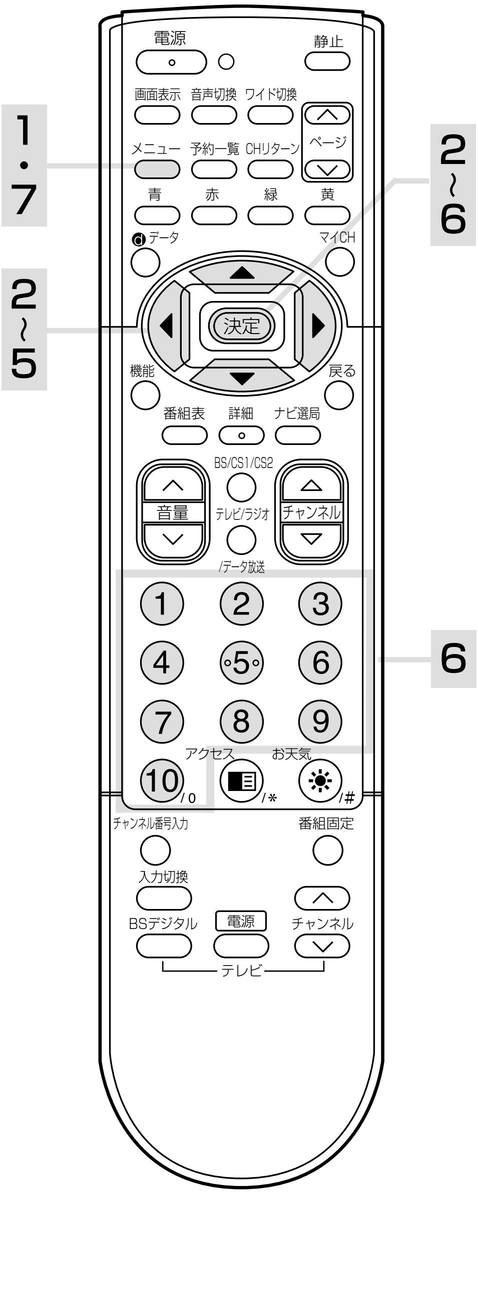
お知らせ

- i.LINK待機について
  - ・録画予約した番組が登録してある場合、i.LINK待機を「しない」に設定していても、「する」と同じ動作になります。
- ビデオ出力の画質補正について
  - ・接続するテレビやビデオに応じて、お好みで設定してください。
  - ・設定を切り換えても、接続するテレビやビデオによっては効果の差が少ない場合があります。
  - ・ご覧になっている番組の映像内容によっては、設定切換による効果の差が少ない場合があります。
- 光デジタル音声出力について
  - ・デジタル音声出力の設定は、本体前面とびら内および本体後面のいずれの出力にも反映されます。
- TruSurroundについて
  - ・サラウンド効果は、放送されている音声モードによって異なります。番組がモノラル放送の場合などでは、サラウンド効果が得られない場合もあります。
  - ・光デジタル音声出力端子からの信号には、サラウンド効果は得られません。
  - ・出力2の音声出力端子からの信号は、接続テレビ画面 38 で、ビデオ出力2設定を「ワイド」、「ノーマル」に設定した場合は、サラウンド効果は得られません。
- TruSurroundと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスにより製品化されています。

受信設定を変更する

お守りください

衛星の故障などによって、受信する周波数を変更する必要がある場合に行います。放送から変更の指示がないときは行わないでください。



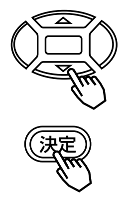
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

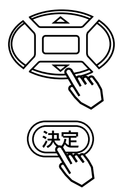
初期設定のメニュー画面が表示されます。

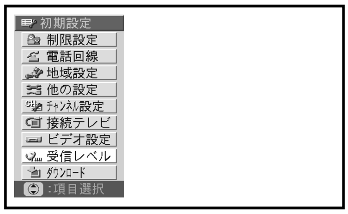




3 で「受信レベル」を選び、決定ボタンを押す

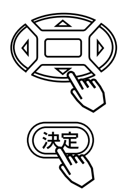
受信レベル画面が表示されます。





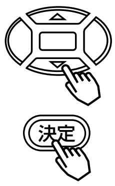
4 で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

受信設定画面が表示されます。





5 で「衛星周波数」を選び、決定ボタンを押す





6 設定する周波数を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

受信レベル画面に戻ります。





7 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。



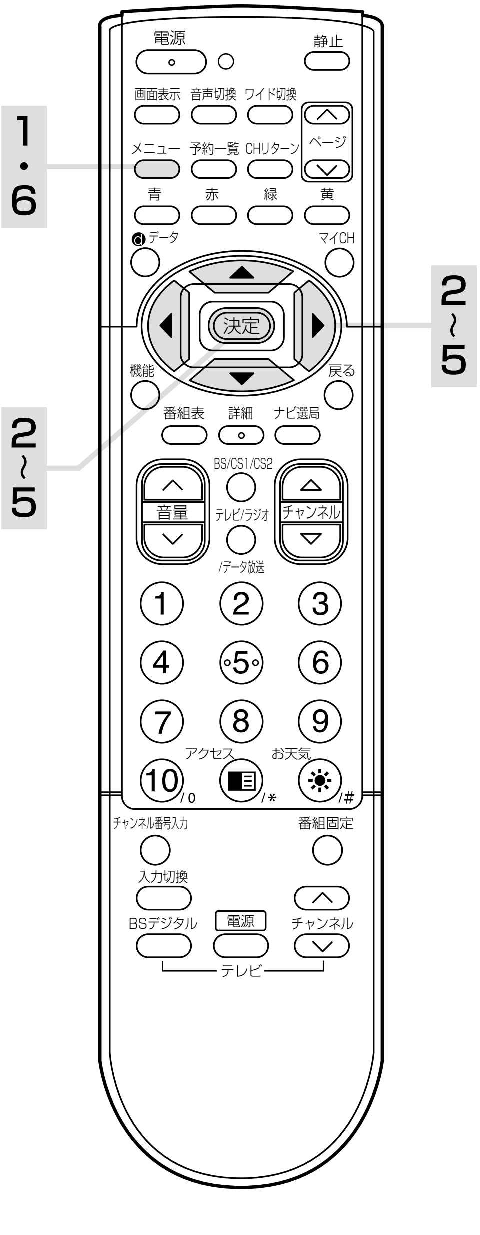
お知らせ

- 誤って設定した場合、で「出荷状態」を選び、決定ボタンを押すとお買い上げ時の衛星周波数に戻ります。
  衛星周波数以外の設定項目は、お買い上げ時の設定には戻りません。
- 正しくない周波数を設定した場合は、設定が無効になります。

各種設定

ダウンロードを設定する

本機は放送で送られるダウンロード信号を受信することにより、内部のソフトウェアを書き換えることができます。
ダウンロードは電源スタンバイ状態のときに自動で行われます。



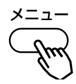
ダウンロード選択について

ダウンロードには、機能向上などの重要なダウンロードとお客様がダウンロードするかしないかを選択するダウンロードの 2 種類があります。お客様がダウンロードを選択する場合は、ダウンロード選択を「手動」に設定します。
お買い上げ時は、ダウンロード選択は「自動」に設定されています。

ダウンロードを手動で選択する

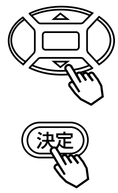
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

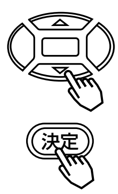
初期設定のメニュー画面が表示されます。

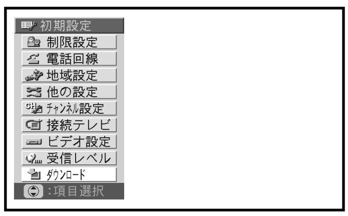




3 で「ダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

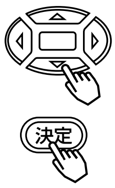
ダウンロード画面が表示されます。

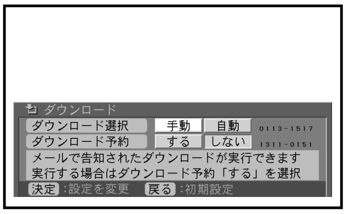




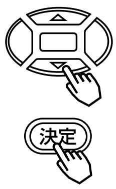
4 で「手動」を選び、決定ボタンを押す

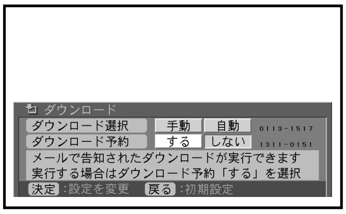
ダウンロード信号が送られる場合、事前にダウンロードについてのメールが届きます。





5 で「する」、「しない」を選び、決定ボタンを押す





する　：電源スタンバイ状態のときに、自動でダウンロードが行われます。

しない　：ダウンロードを行いません。

6 メニューボタンを2回押す

ダウンロード予約を終了します。



お知らせ

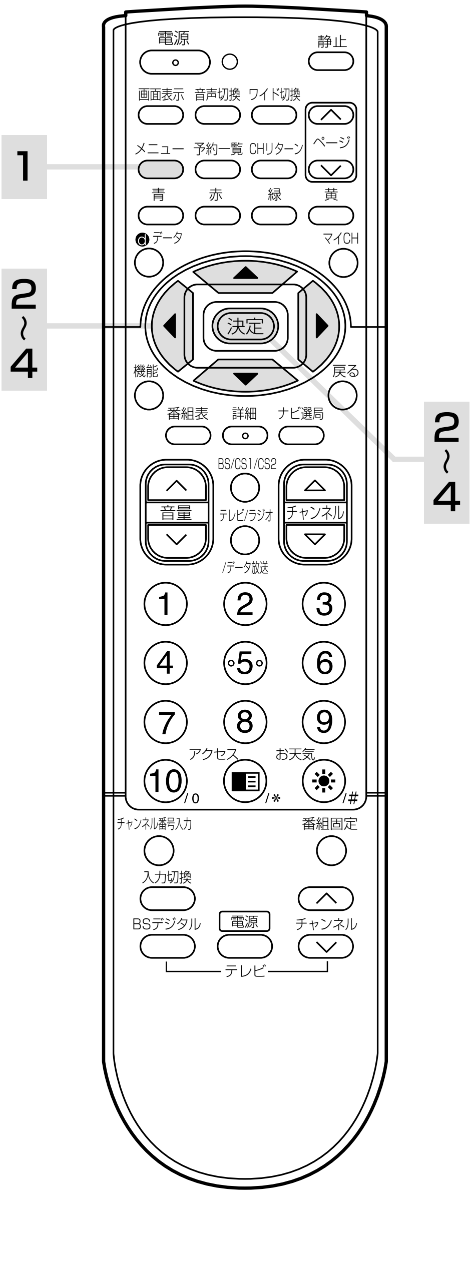
- ダウンロードは、悪天候や電源プラグを抜いていると失敗することがあります。
- ダウンロード中に予約実行された場合や電源を入れた場合、ダウンロードは自動的に取り消されます。
- ダウンロード選択を「手動」にした場合、ダウンロード予約を「する」に設定すると、本体の表示窓に予約表示が点灯します。
  ダウンロードが正常に終了すると、ダウンロードのメールは自動的に削除されます。
  ダウンロードが終了すると、ダウンロード結果をお知らせするメールが届きます。

視聴履歴を送信する

通常、購入情報は電話回線を通じて自動的にご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ送信されます。何らかの理由で自動送信できなかった場合、お客様の操作により購入情報を送信することができます。

お守りください

B-CASカードが挿入されていないと履歴送信はできません。



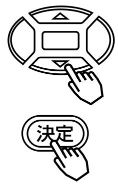
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

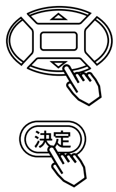
初期設定のメニュー画面が表示されます。





3 で「電話回線」を選び、決定ボタンを押す

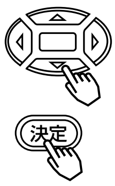
電話回線画面が表示されます。

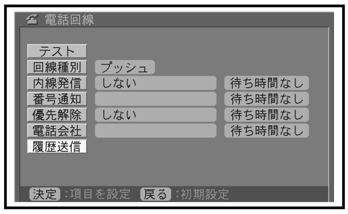




4 で「履歴送信」を選び、決定ボタンを押す

購入情報が送信されます。送信が終了するまで約1分かかります。





送信を開始すると、メニュー画面に自動的に戻ります。

5 メニューボタンを2回押す

終了します。

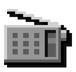
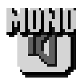
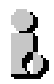
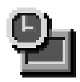
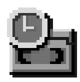
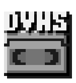
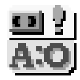
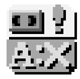


お知らせ

購入情報の送信が終わると、メールが発行されますので内容をご確認ください。

各種アイコンについて

本機では、番組に関する情報などをアイコン（絵文字）にてお知らせします。主なアイコンとその内容は次の通りです。

アイコン	内　　容	アイコン	内　　容
	デジタルハイビジョン放送（ワイド）		デジタルハイビジョン放送（4：3）
	デジタル標準テレビ放送（ワイド）		デジタル標準テレビ放送（4：3）
	BSラジオ		BSデータ放送
	番組に合わせたデータ放送が行われている場合		番組とは独立したデータ放送が行われている場合
	ステレオ音声の番組		二重音声の番組
	モノラル音声の番組		サラウンドステレオ音声の番組
	字幕情報がふくまれている番組		ペイ・パー・ビューや有料番組
	BSデジタル放送からのメール（未読）		BSデジタル放送からのメール（既読）
	受信機からのメール（未読）		受信機からのメール（既読）
	メールを受信したお知らせ		リンク（LINC）している機器
	番組予約している番組		録画予約している番組
	i.LINK接続した機器（D-VHS）で録画予約している番組		デジタルコピーガードされている番組
	デジタルとアナログ両方がコピーガードされている番組		1回だけデジタルコピーできる番組
	i.LINK端子から信号が出力されない番組		i.LINK端子から信号が出力されない番組でコピーガードされている番組
	i.LINK接続した機器で再生され、解像度制限された番組		i.LINK接続した機器で再生され、解像度制限された番組でコピーガードされている番組

メッセージ一覧

本機では、状況に合わせてメッセージが表示されます。主なメッセージと内容または対処のしかたは下記の通りです。

メッセージ	内容または対処のしかた
選局中です。しばらくお待ちください	選局動作に少し時間のかかる場合もあります。
このチャンネルはありません コード：E204	選局したチャンネルでは、放送が行われていません。
現在、この放送は休止しています コード：E203	選局したチャンネルでは、現在、番組を放送していません。他のチャンネルをご覧ください。
アンテナ接続か放送電波に不具合があるため 現在、ご覧になれません コード：E202	・アンテナの調整が正しくできているか、アンテナ線は正しく接続されているか、「アンテナ線を接続する」26 と「アンテナを設定する」40 をご覧になり確認してください。 ・放送局の整備などで電波が停止していることもあります。 ・雷雨や豪雨のような気象条件により、受信できなくなることがあります。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。
コンバーター電源の保護が働いています 電源プラグを抜きアンテナ線を外して、アンテナ線とアンテナが異常ないか確認ください コード：E209	アンテナのコンバーター電源がショートしています。「アンテナ線を接続する」26 をご覧になり、アンテナやアンテナ線に問題がないか確認してください。
降雨対応放送を受信中 コード：E201	雨などの影響で衛星からの電波が弱くなり、降雨対応放送に切り換わりました。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。
お客様が居住されている地域では ご覧になれません	視聴できる地域が限定されている番組です。
ICカードを正しく挿入してください	B-CASカードが本体に正しく挿入されているか、「ICカードを入れる」33 をご覧になり確認してください。
このICカードは使用できません 正しいICカードを挿入してください	B-CASカード以外のICカードが挿入されているか、カードが逆に挿入されています。B-CASカードを正しく挿入してください。
ご購入できる時間は終了しています コード：8108	番組によっては、購入できる時間が限られていることがあります。他の時間帯で放送される番組をお選びください。
電話回線の接続をご確認のうえ、 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：8109	視聴履歴が正しく送信されていません。電話回線の接続と設定をご確認のうえ、「視聴履歴を送信する」106 をご覧になり、履歴送信を行ってください。
このチャンネルはご契約されていません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご契約しているチャンネルかお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
契約期限が切れています ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご覧のチャンネルの契約内容をお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
このチャンネルはご覧いただけません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご契約しているチャンネルかお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
ICカードの交換が必要です ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	B-CASカードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
このICカードは使用できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	B-CASカードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。

＊＊＊＊には英数字が表示されます。

故障かな？と思ったら

電源プラグや接続ケーブルがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりしているとチューナーの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

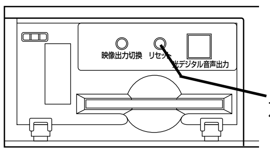
⚠ 注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

⚠ 警告
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
画像が出ない 音も出ない 映像の映りが悪い 画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	①アンテナに障害物などが、かぶさっていませんか。 ②アンテナの方位角、仰角が受信場所の角度に合っていますか。 ③同軸ケーブルは正しく接続されていますか。 F形接栓が正しく加工されていますか。 ④コンバーター電源の設定は正しいですか。 ⑤B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ⑥雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。 ⑦ご覧になろうとしているチャンネルを契約していますか。 ⑧アンテナは110度CS対応アンテナになっていますか。	①障害物を取り除いてください。 ②方位角、仰角を調整してください。 ③正しく接続してください。 ④「受信レベル」で、設定を確認してください。 ⑤B-CASカードの裏表、挿入する方向を確認してください。 ⑥気象条件によるもので故障ではありません。（天候が回復すれば自動的に戻ります。） 雪を取り除いてください。 ⑦視聴契約手続きをしてください。 ⑧110度CS対応BSデジタルアンテナに交換してください。	26 40 40 33 13
画像だけが出ない または、乱れる	①本機とテレビ間の映像用コードは正しく接続されていますか。 ②D端子ケーブルまたは、コンポーネントビデオコードで接続の場合、コンポーネント出力は正しく設定されていますか。	①正しく接続してください。 ②接続されたテレビに合わせて、「コンポーネント出力を設定する」を行ってください。	27 28 36 37
横長映像や縦長映像になる 画面の上下に映像のない部分ができる	①「初期設定」での「接続テレビ」が、接続されているテレビに合っていますか。 ②ワイドテレビの場合、映像に合った画面モードに設定されていますか。	①接続されたテレビに合わせて「接続テレビを設定する」を行なってください。 ②接続されているワイドテレビの画面モードは映像の横縦比が正常に合うモードを選択してください。 映像ソフトによっては画面の上下に映像のない部分が出るものもあります。	38
画面にノイズが出る	①UHF/VHFのアンテナ線が本機や本機のケーブル線と接近していませんか。 また、UHF/VHFのアンテナ線にフィーダー線を使用していませんか。	①UHF/VHFのアンテナ線はできるだけ本機や本機のケーブル線と離してください。 また、UHF/VHFのアンテナ線は75Ω同軸ケーブルをお使いください。	26
字幕や文字スーパーが出ない	①メニュー画面などが表示されていませんか。 ②他の設定の「字幕表示」や「文字スーパー表示」が「しない」に設定されていませんか。 ③字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。	①メニュー画面などを消してください。 ②他の設定の「字幕表示」や「文字スーパー表示」を設定してください。 ③字幕の場合、字幕のアイコンが表示された番組を視聴してください。	63 100

故障かな？と思ったら（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
音声だけが出ない	①本機とテレビ（オーディオシステム）間の音声用コードは正しく接続されていますか。	①正しく接続してください。	27 28
光デジタル音声が出ない	①本機とオーディオ機器の光ファイバーケーブルは正しく接続されていますか。 ②デジタル音声出力の設定は、接続されているオーディオ機器に合っていますか。	①正しく接続してください。 ②接続されているオーディオ機器に合わせて「他の設定」の「デジタル音声出力」を設定してください。	31 100
ペイ・パー・ビュー番組が購入できない	①B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ②電話回線が正しく接続されていますか。 ③回線の設定は正しいですか ④「電話回線」で「履歴送信」が表示されていませんか。	①B-CASカードを正しく挿入してください。 ②正しく接続してください。 ③「電話回線」で設定を確認してください。 ④履歴送信を行なった後、もう一度、購入操作を行なってください。	33 42 106
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	①本機とアンテナを接続するとき、110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。	①110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよい衛星放送用同軸ケーブルや機器をご使用ください。	26
急に画質や音質が少し悪くなった	①降雨対応放送になっていませんか。	①雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	
本機から通信を行なうと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	①一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	①付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	32
電話機にノイズ（雑音）が入る	①一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	①市販されている自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	32

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
ビデオコントローラーで録画機器の録画予約ができない	①ビデオコントローラーは正しく設置できていますか。 ②「ビデオ設定」の設定は正しいですか。 ③録画機器は正しく準備できていますか。 ④対応していない機器で録画しようとしている。	①ビデオコントローラーを正しく接続、設置してください。 ②「ビデオ設定」の設定を正しく行ってください。 ③録画機器の電源や、ビデオカセットなどは必ず確認してください。 ④本機の予約にあわせて、ビデオのタイマー予約を設定してください。	88 89
i.LINK対応機器が操作できない	①本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか。	①本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキ3台です。	14 82
リモコンで操作できない	①リモコン送信機の乾電池の⊕、⊖が逆に入っている。 ②リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。 ③番組固定ボタンが押されている。録画予約実行中のため、番組固定が自動的に設定された状態になっている。	①乾電池を正しく入れてください。 ②乾電池を新しいものに交換してください。 ③本体前面の表示窓ライトが橙色に点灯しているか、番組固定表示が点灯していたら、番組固定ボタンを押し番組固定を解除します。	34 77
リモコンでメーカー設定したテレビが操作できない	①内蔵マイコンが誤動作している	①もう一度、メーカー設定をやり直してください。それでも、操作できないときは、乾電池を交換してください。	35
本体の表示窓が誤表示したり、操作ボタンを受け付けない	①内蔵マイコンが誤動作している	①本体のとびら内にあるリセットボタンを押してください。  リセットボタン 本体のとびら内 ②電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくしてから再度コンセントに差し込んでください。	
本機の天面に手を触れると少し熱い	①放熱温度のため、少し熱くなります。 品質、性能には異常はありません。	①風通しのよい所に設置してください。 テーブルクロスなどをかぶせて内部温度の放熱を妨げる使いかたはしないでください。	

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間…お買い上げ日から1年間

補修用性能部品の保有期間

デジタルチューナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

109～111ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	デジタルチューナー
形　　名	(本　　体)BCS-DH2200 (リモコン)C-RK8
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　　）	年　　月　　日

長年ご使用のデジタルチューナーの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

このような症状はありませんか

- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音声が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

➡

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	０１１―８３３―５０８８	札幌市白石区東札幌２条４―１―１０
東北地区	０２２―２３２―５０８８	仙台市宮城野区扇町1―1―45
関東・甲信越地区	０３―３８３４―８５８８	台東区東上野２―７―５（日立家電上野ビル）
中部地区	０５２―７９５―５０８８	名古屋市守山区川宮町５５（日立家電守山ビル）
関西地区	０７８―４３１―５０８８	神戸市東灘区甲南町１―３―８
中国地区	０８２―２３１―５０８８	広島市西区観音新町１―７―１７
四国地区	０８７７―４７―１０８８	坂出市林田町４２８５―１４３
九州・沖縄地区	０９２―２８１―５０８８	福岡市博多区店屋町７―１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

用語の解説

AAC（Advanced Audio Coding）

音声符号化の規格の一つです。AACは、CD（コンパクトディスク）並の音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5チャンネル＋低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

D-VHSビデオデッキ

VHS方式のビデオデッキを基盤にした新しいVHS方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。また、従来のVHS方式での録画・再生も行えます。

525i(480i),525p(480p), 1125i(1080i),750P(720P)

放送される映像信号の走査線数、有効走査線数と走査方式の略称です。

1125i：走査線数1125本（有効走査線数1080本）、飛び越し走査方式（インターレース）
525p ：走査線数525本（有効走査線数480本）、順次走査方式（プログレッシブ）
525i ：走査線数525本（有効走査線数480本）、飛び越し走査方式（インターレース）
750P ：走査線数750本（有効走査線数720本）、順次走査方式（プログレッシブ）

D端子

デジタルチューナーなどのデジタル機器とテレビを接続するためのものです。コンポーネント映像信号を1本のケーブルで簡単に接続でき、走査線数、アスペクト比の制御信号も伝送することができます。入力または出力できる信号の走査線数によりD1～D5に分類されます。本機はD3（525i, 525p, 1125i ）に対応しています。

デジタルハイビジョン放送

2000年12月に本放送を開始したBSデジタル放送で行われる高精細度ハイビジョン放送です。現行のアナログハイビジョン放送と同等の高画質映像を楽しむことができます。

降雨対応放送

激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で番組を送るものです。
本機では、降雨対応放送に自動的に切り換えるように設定されています。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。本機では、字幕を入／切したり、字幕の言語を切り換えたりできます。

索引

仕　様

- 本仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

形名	BCS-DH2200
電源	AC100V 50/60Hz共用
消費電力	19W（コンバーター電源の供給なし時）
受信放送方式	BS/広帯域CSデジタル放送方式（日本）
受信周波数範囲	1,032MHz ～2,072MHz（右旋円偏波）
BS/CS-IF入力端子	1端子（コンバーター電源供給15V　最大4W）、75Ω不平衡型（F型）
映像入力端子	1端子（S2入力対応）
音声入力端子	1端子
映像出力端子	2系統2端子（S2出力対応）
D映像端子	1端子、D3／D2／D1対応
コンポーネントビデオ出力端子	1端子（Y、P_B、P_R）
音声出力端子	2系統3端子
光デジタル音声出力端子	2端子（前面1端子、後面1端子）
i.LINK端子	2端子（IEEE1394準拠、4ピン　S200対応、MPEG-TS信号）
電話回線接続端子	1端子（モジュラージャック方式）
ビデオコントローラー端子	1端子
AV-BUSⅢ端子	1端子
許容動作温度	0℃～40℃
外形寸法	幅43.0×高さ7.0×奥行21.3（cm）
質量	2.8kg
付属品	リモコン送信機……1個 単３形乾電池……2個 R６P（またはSUM-３） ビデオコントローラー……1個 モジュラー分配器……1個 モジュラーケーブル（10m）……1本 映像・音声コード（1.5m）……1本 S映像コード（1.5m）……1本 B-CASカード……1枚 取扱説明書……1冊 保証書……1枚

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

日本国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料放送契約上禁止されています。
(It is strictry prohibited , as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this tuner in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

株式会社 日立製作所

〒105-8430　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

QR52291Ⓐ

Printed in Japan H-T（S）